2026年（令和8年）1月1日（木）　第7884号

建設新報

昭和41年10月18日第3種郵便物認可

写真：京奈和自動車道

大和御所道路の御所方面から橿原北IC方面を望む。
今春の開通に向けて工事が進む（仮称）橿原JCT
（大阪方面接続ランプ）
【国土交通省奈良国道事務所提供】

三和建設株式会社

代表取締役社長　小林伸嘉

本　社　奈良市西大寺栄町３番１２－６号
TEL.0742-36-1138㈹　FAX.0742-33-9496
大阪支店　大阪市中央区南本町４丁目５番７号東亜ビル１０階
TEL.06-6281-1838㈹　FAX.06-6281-1836

https://www.sanwa-kk.co.jp

ISO 9001 ISO 14001 JAB JTCCM

環境・景観を創造・提案するイノベンチャーグループ

Koei・Group

宏栄商事株式会社

代表取締役　榮林正起

本　社　和歌山県橋本市隅田町垂井２３－１
〒648-0018　TEL0736-33-1678　FAX0736-32-9765
五條営業所　奈良県五條市三在町１４２１　五條生コン㈱内
〒637-0002　TEL0747-24-2525　FAX0747-24-4910

緑と水を守る環境に貢献する

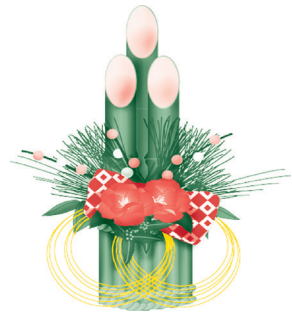
JIS表示認証工場

五條生コン株式会社

代表取締役　榮林裕記

本　社　五條市三在町１４２１
TEL０７４７－２４－２５２５㈹
FAX０７４７－２４－４９１０

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

年輪を重ね、技を重ねて心を尽くす

総　合　建　設　業
ISO 9001/14001認証取得

松塚建設株式会社

代表取締役会長　松　塚　幾　善
代表取締役社長　井　上　清　利

2025年度 優 近畿地方整備局
工事成績優秀企業 12年連続認定

本　　社　奈良県宇陀市榛原福地610－1
☎（0745）㉜1371
三重営業所　三重県伊賀市長田3034
☎（0595）㉖4115

こころを象る ～こころへ、そして未来へ～

2025年度 優 国土交通省
工事成績優秀企業 近畿地方整備局

株式会社 森下組

代表取締役社長　森下　秀城

〒638-0812　奈良県吉野郡大淀町桧垣本1589
TEL 0747-52-3535　　FAX 0747-54-2200
E-mail：info@morishitagumi.com
https://www.morishitagumi.com

総　合　建　設　業
奈良県知事許可（特－4）第15473号
土木・建築・注文住宅・増改築・分譲マンション事業

YESS建築 ビルダー加盟店

藤本建設(株)

代表取締役会長　藤　本　正　義
代表取締役社長　藤　本　正　成

GCC Certified Organisation　JAS-ANZ

本　社　〒639-1123 大和郡山市筒井町51番地3
TEL.0743-59-1281㈹　FAX.0743-59-1284
http://www.fujimotokensetu.co.jp

《地域から信頼され、地域から求められる企業を目指します》

YONESUGI

株式会社 米杉建設

〈建築・土木・住宅・リフォーム・太陽光ソーラー販売〉

代表取締役　米　杉　伸　喜

2025年度 優 国土交通省
工事成績優秀企業 近畿地方整備局

本　　社　〒632-0006 奈良県天理市蔵之庄町49番地1
TEL　0743－65－3151
住宅営業所　〒632-0004 奈良県天理市櫟本町299-1
〈e Style Box〉　TEL　0743－65－1185

総　合　建　設　業
国土交通大臣許可（特－3）第13850号

KITAMURA

株式会社 キタムラ

代表取締役社長　北　村　宏　人

ISO 9001品質マネジメントシステム審査登録
ISO14001環境マネジメントシステム審査登録

2025年度 優 国土交通省
工事成績優秀企業 近畿地方整備局

本　　店／五條市五條1丁目4－19
TEL.0747(24)3330
大阪支店／大阪市浪速区元町2丁目3番1号
難波ユニオンビル東館5階

総　合　建　設　業

KAMIMURA

株式会社 上村組

代表取締役　上村　智津子

ISO 9001 14001

本　　社　奈良県香芝市旭ケ丘一丁目31番地の1
〒639-0266　TEL 0745－76－6623
FAX 0745－77－1288
支　　店　上牧支店・三郷支店
E－mail　kami-1@smile.ocn.ne.jp

限りある資源を大切に
環境事業に取り組んでいます

コンクリート、アスコンがら、その他がれき類受入、中間処理、再生砕石RC40製造・販売

ISO14001:2015認証取得　奈良県リサイクル認定製品（RC-40）

賀正

旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く
御礼申し上げます
本年も倍旧のご指導とご鞭撻の程
宜しくお願い申し上げます
令和８年　元旦

株式会社 上田建設
光リサイクルセンター

建設業許可（特−7）第7923号・産業廃棄物処分業許可第02922033375号
〒639−2244　御所市柏原１４８５−４
TEL(0745)65−1600　FAX(0745)65−1603

迎春

旧年中は格別のご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます
本年も倍旧のご指導とご鞭撻の程
宜しくお願い申し上げます
令和８年　元旦

総合建設業
大臣許可（特−７）第９３４４号
山土販売・土地造成・不動産

株式会社 ゴセケン
GOSEKEN

代表取締役　西本正昭

本　社　奈良県御所市室１１９３−１
☎(0745)62−1256㈹ FAX(0745)65−1374
大阪支店　大阪市天王寺区上汐３丁目１番６号 上本町ビル２階
☎(06)4392−7458 FAX(06)4392−7459
E-mail.info@goseken.co.jp
https://www.goseken.co.jp/

謹賀新年

旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます
本年も倍旧のご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます
令和８年１月１日

TECHNOLOGY & QUALITY
「お客様の夢を最高の技術で実現する」

認証取得
ISO 9001
ISO 14001
ISO 45001

特定電気工事業（奈良県知事許可 特−6 第8118号）
高圧・低圧受変電設備工事／太陽光発電設備設置工事
新築・改築電気設備設計・施工／空調設備工事

株式会社 太子電機
TAISHI DENKI

代表取締役　青木智子

本　社　〒636−0113　奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺南２−５−２０
TEL（０７４５）７４−２９０１
FAX（０７４５）７４−５１０７
幸前出張所　奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺東２−３７−１
E−mail info@taisi.co.jp
URL https://www.taisi.co.jp

賀正

旧年中は格別のご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます
本年も倍旧のご指導とご鞭撻の程
宜しくお願い申し上げます
令和８年　元旦

我々は“より安全に、より確実に、よりスピーディに”
建設工事現場のセキュリティをガードいたします。

常駐警備　巡回警備　交通警備
保安警備　イベントの巡視　その他警備全般

奈良県指令商第59号
企業の成長 発展を護る
奈良S・P KUMIAI
奈良セキュリティ協同組合
奈良県天理市守目堂町54番地1（三宝ビル）

TEL (0743) 63−0111　FAX (0743) 63−8339

警備の依頼は当組合へ!!（優秀なスタッフを派遣します）
●半日・1日から5年・10年契約 OK//1ヶ月以上常駐警備の場合割引有 //

誇れる仕事を次の世代へ!飛躍する奈良県建設業

地域インフラ維持の主力として

一般社団法人 奈良県建設業協会
会長 山辺元康

年頭所感

令和８年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素は、当協会の事業活動並びに運営に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、改正建設業法等が全面施行となり地域建設業界にも多くの課題と変革の波が押し寄せました。人手不足、資材価格の高騰、頻発する自然災害への対応、技術革新が求められる施工現場の在り方など、これらの課題に真正面から向き合い、継続的な対応を全力で進めてまいります。

まず、従事者の高齢化が他産業に比較しても進行していることから、若手人材の確保と技術継承は喫緊の課題です。若者に選ばれる産業となるため、働きやすい職場づくりを進めなければなりません。そのためには、生産性向上と働き方改革の同時進行が求められ、ＩＣＴ施工やデジタル化の活用が一層重要性を増しています。

女性の活躍・定着促進を進めることも重要課題です。人材確保の観点はもちろんですが、すべての人が働きやすく働きがいのある魅力ある建設産業を実現していくため、昨年、青年部会が主体となって建設業女子会を初めて開催しました。本年は「女性部会」立ち上げに向けて進めてまいります。

さらに国政においては、奈良県から初の女性総理・高市早苗総理が誕生したことは歴史的快挙であり、私たちにとっても大変励みとなります。

地域建設業は今、地域の守り手として県民の安全・安心を確かなものにするという揺るぎない責務があります。また、次世代へ持続可能な社会を引き継ぐという極めて重要な使命を担っています。その中核となるのが政府が進める「第一次国土強靭化実施中期計画」です。地震や台風、線状降水帯をはじめとする自然災害が頻発化・激甚化しており、南海トラフ巨大地震も切迫している状況下にあります。また、埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえたインフラの老朽化対策等の事前防災や減災の計画的な事業の推進には大いに期待するところであり、現場を支える私たちにとっても極めて重要な計画となっています。

奈良県の道路整備の遅れは深刻です。全国最下位級といわれ県土の発展を阻む大きな課題となっています。京奈和自動車道や紀伊半島アンカールートの一翼を担う国道１６８号・１６９号、県を横断する西名阪道路・名阪国道、国道１６３号、１６５号は企業立地や道の駅の利用者など地域活性化の核として、また命の道の確保として整備効果が高く、整備箇所も多く存在します。また、河川整備についても必要性が高まっております。引き続き県内のインフラ整備の事業費確保と重点的な整備促進を訴えてまいります。

そんな中、京奈和自動車道・大和御所道路の(仮称)橿原ジャンクション(大阪方面接続ランプ)が今春の開通を迎えることは明るいニュースです。その他、リニア中央新幹線の奈良市附近駅の設置と関連する事業、強靭な県土の構築に向けた公共投資や着実な建設産業の担い手確保が促進されるものと期待いたしております。また、２０３１年には第85回国民スポーツ大会・第30回全国パラスポーツ大会の開催が奈良県で予定されています。我々がこれらのビッグイベントに対応するためには山積する課題を克服する必要があります。

また、奈良県を中心とした建設産業の魅力を発信する協議会等の立ち上げに協力していきたいと考えています。

協会では、実業系高校生を対象とした就業体験や合同出前講座を実施するほか、合同企業説明会を開催するなど関係機関と連携しながら新規入職者の確保に向けた取り組みを積極的に行っております。

皆様には、引き続きご支援、ご協力のほどお願い申し上げますとともに、本年も皆様にとって良き年となりますようご祈念申し上げまして、年頭の挨拶といたします。

新建設新報

発行所　建設新報社
〒634-0006
橿原市新賀町２０１－２
電 話 0744-23-2507
FAX 0744-23-2934

謹賀新年
Nara Ryokka Group
官公需適格組合
近畿経済産業局近畿第３０号
奈良県知事許可(特－5)第18353号
ISO9001・ISO14001認証取得
奈良県緑化土木協同組合
組合員一同
〒630-8305
奈良市東紀寺町２丁目８番８号
TEL：０７４２（２４）４１２８
FAX：０７４２（２６）０１３８
http://www.ryokka.or.jp

新春特集号の主な紙面構成

◇**1面**　山辺奈良県建設業協会会長の年頭所感
◇**2～12・14・16・18面**　山下奈良県知事など県関係部署、仲川奈良市長など県内市町村長、齋藤近畿地方整備局長や奈良県内の国関係、出先機関、奈良県内関係団体・民間等のトップの年頭所感
◇**19面**　高取バイパス全線開通へ
◇**20～24面**　国道１６９号上池原トンネル他工事は鹿島建設と契約締結、中登美第三団地環境整備基本検討はＤＡＮ・ＧＫ-ＤＳＨで、医大新駅周辺まちづくりＰＦＩアドバイザリー、医大新駅の設置等に関する基本協定、県立医大附属病院新Ａ棟基本・実施設計、新西和医療センター移転整備は長大で開設支援、運転免許センター新庁舎整備はオオバで造成工事設計、三宅町県有地活用基本計画等策定は日本総合研究所で、川西町県有地活用基本計画等策定で日本工営都市空間で、県営競輪場再整備、富雄川で茶の前井堰と籠池取水井堰を統合予備設計
◇**30～34面**　桜井市認定子ども園設計業務、生駒市セイセイビル整備事業、奈良市高の原駅周辺マネジメント構築支援、大和高田市幼保再編計画策定支援、天理市地域福祉・福祉活動計画策定支援、香芝市複合施設整備基本計画策定、五條市（仮称）市民交流施設整備アドバイザリー等、御所市認定こども園整備基本計画策定、宇陀市企業誘致促進業務、大和郡山市公営住宅長寿命化計画策定、生駒市生駒駅周辺の公共空間整備に向けた骨子案策定支援、橿原市小・中学校トイレ洋式化改修、葛城市(仮称)當麻複合施設周辺エリアの活用、御所市健康増進スポーツ施設整備、田原本町学校給食Ｃ設計施工監理、桜井市まちづくり基本構想策定支援、奈良市１００年会館改修基本計画策定支援、明日香村飛鳥駅前整備計画策定、王寺町小学校跡地活用及び体育館指定避難所活用検討、桜井市駅南口広場再整備基本計画策定支援、五條市クリーン・オアシス等包括業務
【表紙】　京奈和自動車道「(仮称)橿原ＪＣＴ」
◇**カラー紙面**　団体・企業イメージ広告
◇**13・15・17・19面、25～29面、35～40面**　企業・各種団体イメージ広告

近畿地方整備局と意見交換会を開催（ホテル日航奈良）

昨年９月30日、山辺会長は①奈良県のインフラ整備の促進について②地元建設企業に対する受注機会の拡大について③入札・契約制度等について④設計・積算について⑤地方公共団体への指導等について⑥工事施工について⑦事務の簡素化について⑧営繕（建築）について－など8項目を要望した。

謹賀新年

建設業労働災害防止協会
奈良県支部

独立行政法人　勤労者退職金共済機構
建退共奈良県支部

奈良県火薬類保安協会

謹賀新年
一般社団法人 奈良県建設業協会
会長　山　辺　元　康
奈良市高天町5-1　TEL：0742-22-3338（代）　FAX：0742-23-9121

一般社団法人 奈良県北和建設業協会　会長　中村光良
一般社団法人 郡山建設業協会　会長　木村隆男
一般社団法人 奈良県中南和建設業協会　会長　吉井久尚
一般社団法人 奈良県中和建設業協会　会長　中尾隆成
一般社団法人 奈良県宇陀建設業協会　会長　佐々岡均
一般社団法人 吉野建設業協会　会長　植田洋一
一般社団法人 奈良県五條建設業協会　会長　檜尾洋希
一般社団法人 奈良県十津川建設業協会　会長　田野上辰也

奈良の可能性を拓く一年に

奈良県知事
山下　真

明けましておめでとうございます。昨年は、大阪・関西万博の成功や奈良県出身の高市総理の誕生など、本県にとっては明るい話題が多かったように思います。一方で、非常に暑く長い夏など地球温暖化の問題やウクライナでの戦争など深刻な問題も継続しています。

奈良県に目を転じますと、私が知事就任後、県の発展に向けて蒔いてきた様々な種が少しだけ芽を出しはじめました。教育や子育て支援の分野で様々な政策に取り組んできた効果もあったのか、令和6年の奈良県の合計特殊出生率は1・19で前年比0・02の減少となりましたが、この減少幅は全国で3番目に少なく、同出生率の全国順位も35位から30位へと上昇しました。

不足する保育士を増やすための民間の園への給与加算制度も令和6年度から県が新たに補助をはじめたことにより、制度を導入した市町村が5市から対象の全25市町村となり、県内就職率も5・5ポイント増えています。高校授業料の実質無償化は、国の支援もあり、令和7年4月から所得の高い世帯への支援も拡充されました。

産業や観光の分野でも良い兆しが出ています。令和6年の県内への新規の工場立地件数は46件で前年比18件の増加。全国順位も11位から6位に上昇しました。また、万博を訪れた外国人が万博と併せて訪問した場所で最も多かったのは、奈良公園がUSJ、大阪城、清水寺をおさえての堂々のトップでした。

こうした政策を進めるため、県職員の皆様に頑張っていただくことが必要なので、知事就任直後から働き方や職場環境の改善を進めた結果、県職員の長期病休者の割合は令和5年度まで全国でワースト2位でしたが、令和6年度は新規の病休者の数が前年度比3割減となりました。

知事就任以来、奈良県が持つ限りない可能性を最大限に引き出し、県民の皆様に暮らしの豊かさを実感していただくための取り組みを続けてきました。皆様のご理解とご支援により、少しはその成果が出てきたのかもしれません。しかし、少子高齢化、過疎化と東京一極集中、人と人との繋がりの希薄化、地球温暖化など、現代の日本が直面する問題は深刻になる一方だと言わざるを得ません。引き続き、県職員と一丸となって粘り強い努力を続けてまいりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。今年が関係者の皆様にとって素晴らしい年となることを強く祈念します。

誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを推進

奈良県まちづくり推進局
局長　竹林義之

新年を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

奈良県は人口減少や高齢化など大きな転換点に直面していますが、課題に対応できるよう、まちづくり推進局は、本年も「誰もが安心して快適に暮らせるまちづくり」に取り組んでまいります。

県では市町村と連携し、地域の特色を活かした広域的なまちづくりを進めています。中でも、(仮称)医大新駅(令和12年度供用予定)周辺では、新駅の整備を契機に学術・医療拠点としての魅力を高め、民間活力の導入によりスポーツの拠点となる新たなアリーナの整備など「賑わい」と「健康増進」を柱とするまちづくりを地元市と連携して進めてまいります。

まほろば健康パークでは全ての人が楽しく利用できる「インクルーシブ公園」への整備を進め、平城宮跡歴史公園をはじめとする県営都市公園では民間活力の導入などにより、さらに魅力ある公園づくりを推進します。

近鉄大福駅周辺では桜井市と協力し、多世代が安心して暮らせるよう、地域住民向け支援施設を併設した県営住宅の集約建替を進めています。

また県南部・東部においては、地域の実情に応じた土地利用制度の運用を図り、持続的な地域振興を目指します。

さらに、地震から命と財産を守るため「奈良県耐震改修促進計画」を改定し、住宅・建築物の耐震化を一層強化してまいります。

本年も「奈良に住んで良かった」と感じていただけるまちづくりに局一丸で取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

親和性のある一体的な整備を推進

奈良県食農部
部長　中野泰寿

令和8年の新年を迎えるに当たり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

本県の食と農の振興については、令和3年4月に策定した、食と農に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画「奈良県豊かな食と農の振興計画」に基づき「奈良の食の魅力づくり」「食を通じた健康増進と子どもの健全育成」「戦略的な販売の推進」「生産振興」の四つを柱として、各施策を推進しております。本年は第1期計画の実績を踏まえ、令和8年4月からの第2期計画の策定に向けて検討を進めています。

主な施策の一例として、農地の有効活用と農業の生産性向上を図るため、農業振興施策を集中的・優先的に推進する区域として、本県独自の取組である特定農業振興ゾーンを3市3町の9地区で設定し、それぞれの地区で、高収益作物の導入や担い手の効率的な農地利用の支援として、農地の大区画化・かんがい施設の整備等を進めています。

また、中央卸売市場の再整備については、食の流通拠点としての機能を強化し、奈良県民の食の安全・安心を確保する「市場エリア」と、本市場の機能や立地を活かし、地域の賑わいを創出する「賑わいエリア」について、親和性のある一体的な整備を目指しています。

今後とも、本県の食と農の振興に当たり、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって、実り多い年になりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

砂防堰堤などの老朽化対策を着実に推進

奈良県県土マネジメント部
部長　安井広之

新年明けましておめでとうございます。

昨年、奈良県にとって大きな歴史的出来事がありました。女性初、そして奈良県出身として初めて高市早苗内閣総理大臣が誕生しました。今後「強い経済」の実現に向け、国土強靱化の取り組みがさらに加速し、インフラ整備や地域の安全・安心を支える基盤づくりのより一層の進展が期待されています。

奈良県においても、道路分野の取り組みについては、第一次国土強靱化実施中期計画の一環として、地震や豪雨などの自然災害に備えるため、幹線道路等の耐震補強や改良工事を着実に進めます。今春には、京奈和自動車道の(仮称)橿原ジャンクション(大阪方面接続ランプ)の開通が予定されています。

流域治水対策については、河川改修や直轄遊水地の整備促進、奈良県平成緊急内水対策事業や全国初となる貯留機能保全区域を奈良県内で指定するなどの先進的な流域治水にも取り組んでおり、引き続き対策を推進してまいります。

土砂災害対策については、土砂災害特別警戒区域に立地する避難所や緊急輸送道路など、県民の命とくらしを守る施設の優先的な保全対策を進めるとともに、砂防堰堤などの老朽化対策を着実に推進してまいります。

流域下水道については、民間企業との連携によるウォーターPPP導入を推進し、効率的な施設の更新や維持管理による持続可能な運営を目指してまいります。

今年も引き続き、県民の皆様とともに、奈良県の未来を築いていくために、県政の重要課題に対して、全力で取り組んでまいりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。

奈良県フォレスターの順次配置を

奈良県環境森林部
部長　三宅　浩

令和8年の新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

本県では令和2年4月に施行した「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」に基づき、施策を効果的に推進するために策定した「奈良県森林環境の維持向上及び県産材の利用促進に関する指針」のもと、森林の有する防災、生産、生物多様性、レクリエーションの四つの機能を高度に発揮させることを目的とした新たな森林環境管理制度の導入を進めております。昨年までの3年間に、この制度の中核を担う人材である奈良県フォレスター15名を13市町村に配置しました。本年以降も順次市町村への配置を進め、森林環境管理の更なる推進を図ってまいります。

一方、近年の気候変動により激化する集中豪雨等に伴う山地災害が毎年のように国内各地で発生しております。県においては、梅雨前線や台風豪雨による山地の被災箇所について、治山事業により復旧を図るとともに、昨年6月に閣議決定された国土強靱化実施中期計画を踏まえ、山地災害の予防・軽減にも取り組んでまいります。

また、来年の令和9年に第77回全国植樹祭が本県で開催されることとなっております。全国植樹祭は天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、公益社団法人国土緑化推進機構と、開催都道府県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事です。全国植樹祭の開催が、本県の豊かな森林の恵みを次代に引き継ぐための県民の意識の醸成や、本県の更なる魅力を発信する機会となるよう引き続き準備を進めてまいります。

本年も、森林環境の適正な管理に努め、災害に強い森林づくりを進めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

道路舗装の修繕等を加速化

奈良県高田土木事務所
所長 **松田拓士**

昨年に開催された大阪・関西万博が盛況に終わり、この期間、多くの方が大阪だけでなく、この奈良の地にも訪れられ、活気のある一年でありました。令和8年についてもこの活気を一過性のものとせず、今後の奈良が継続的に発展していけるようインフラや防災・減災対策の取組をさらに推進していきたいと考えています。

昨年6月に、国において「第一次国土強靱化実施中期計画」が策定され、その事業規模は令和8年度から令和12年度の5年間でおおむね20兆円強程度を目途とし、今後の資材価格・人件費高騰等の影響については予算編成過程で適切に反映し、各年度の取扱いについては、今後の災害の発生状況や事業の進捗状況、経済情勢・財政事情等を踏まえ、機動的・弾力的に対応すると明記されました。高田土木事務所管内においても道路・河川の強靱化に向けた整備をより一層推進していかなければなりません。

道路では、本県の道路ネットワークの骨格を担う幹線道路である国道168号王寺道路・香芝王寺道路の4車線化や国道169号御所高取バイパス等において、引き続き、地権者や地域の皆様のご理解、ご協力をいただきながら、着実に事業用地の確保に取り組むとともに、工事を実施していきたいと考えています。

また、令和6年度から快適な道路空間を道路利用者に提供できるよう取り組んでいます「ならの道リフレッシュプロジェクト」については、道路舗装の修繕等を加速化していきます。

一方、河川では、管内地域の課題である広瀬川や葛下川等の治水対策を推進するとともに河川堤防の維持補修にも取り組んでいきます。

県西部地域の4市4町の社会インフラ整備を担う事務所として、引き続き、事業推進に取り組んでまいりますので、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年、建設業が大きく飛躍する一年となりますよう心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

治山事業による荒廃林地の整備・復旧にも注力

奈良県南部農林振興事務所
所長 **岩倉章久**

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より、南部農林振興事務所の取り組みに対し格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当事務所は全国的に名高い吉野林業地域や国内屈指の柿の生産量を誇る五條市など、五條・吉野地域の1市3町8村の広大な地域を管轄しており、この地域の農林業の振興とその基盤整備、山地災害防止等を業務としております。

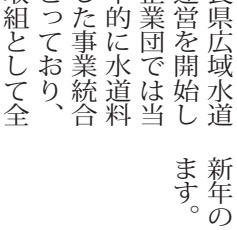
農業では意欲ある担い手の育成・確保や集落営農組織への支援、カキ・ウメ・ナシ等の果樹、イチゴ等の野菜、ハナモモ・コウヤマキ等の花木などの生産振興に取り組み、その基盤整備として農道の開設、ほ場整備、用水供給用のパイプライン整備等の事業を行っています。

林業では森林の多面的機能の持続的発揮のために、間伐の推進と県産木材の生産促進、林道・森林作業道の路網整備等を実施し、さらに、スギ・ヒノキの人工林を立木伐採と広葉樹植栽を組み合わせて、針葉樹と広葉樹が混じり合った森林へ誘導する針広混交林誘導整備事業も推進しています。また、近年は異常気象による集中豪雨が頻発し山地災害の危険も高まっています。

そのため、治山事業による荒廃林地の整備・復旧にも力を入れ取り組んでいるところです。

今年もこれらの取り組みにより、南部地域の活性化と山地災害の未然防止に力を尽くしてまいりますので、引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



安全・安心を第一に、奈良に相応しい文化財保存活用を

奈良県奈良公園事務所
所長 **岡　憲司**

令和8年の新春を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。また、平素より奈良公園事務所の事業に、ご理解とご協力を賜り、暑く御礼申し上げます。

奈良県を代表する都市公園である県営「奈良公園」の業務内容は、平坦と山林各園地や若草山・春日山原始林合わせ約511ヘクタールを、一部駐車場等を除き、365日直営で、保安巡視、トイレ・登大路駐車場・奥山道路等管理、倒木・剪定や公園施設維持補修、老朽施設更新と多岐に渡ります。事務所は、景観を考慮しW造で、業務時間中はトイレも開放しています。また、吉城園と瑜伽山園地では、宿泊施設やレストラン、茶室など便益施設を誘致しております。事務所は、観光局所管となり、増加するインバウンド含む観光客へのおもてなし対応や、長寿命化計画による照明更新や園路舗装補修「ぬくもりあふれる公園プロジェクト」のトイレ・授乳施設、駐車場などリニューアル整備も進めるべく設計中です。伝統行事「若草山焼き」も毎年職員が松明を制作し、当日は消防とともに、火の管理など総出で取り組んでいます。奈良市宿泊客数は、コロナ禍前を大きく上回り、観光入り込客数も増加し、公園内・周辺社寺等は多くの観光客で混雑しますが、夜間の観光施設が少ないとの課題も発生しています。新たな魅力として、若草山の夜景なども人気を集めつつあります。今後も来園者の安全・安心を第一に、世界遺産「古都奈良の文化財」である春日山原始林をはじめ、名勝奈良公園の周辺関係者とも連携し、奈良に相応しい文化財保存活用を図りたいと考えています。最後に皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、念頭のご挨拶とさせていただきます。

吉野室生寺針線・上笠間八幡名張線等の早期供用開始へ

奈良県宇陀土木事務所
所長 **吉田知弘**

年頭に当たり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様には日頃より、宇陀土木事務所が取り組んでおります事業の推進に多大なるご理解、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

当事務所の管内にあたります宇陀・東吉野地域は深い山々と和やかな里山、清流が織りなす自然と、先人らが長い年月をかけて築いてきました歴史、文化が融合したすばらしい地であります。

ただ、中山間地域の例にもれず少子高齢化の進行、人口減少、地域間連携による地域経済活性化の遅れ等々の課題が多いのも事実であります。

奈良県では国道、県道を合わせた一般道路の整備が遅れており、奈良県の経済発展の基本となる道路インフラ整備を積極的に進めていくことが求められています。そんな中、宇陀土木事務所では、吉野室生寺針線や上笠間八幡名張線等に早期の供用開始に向けて取り組んでおります。

さらに、中山間での安全・安心を支える取り組みでは、自然災害に伴う道路災害防除・砂防・急傾斜地崩壊対策事業を重点課題として事業を行っています。

宇陀土木事務所は、地域の発展、人々の暮らしの安全・安心向上のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

公共事業用地取得業務の着実な推進

奈良県土地開発公社
理事長 **山下保典**

新春のご挨拶を申し上げます。日頃より当公社の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当公社では、国・県からの受託に基づき、公共事業用地の取得業務を継続的に推進しております。これらの業務は、奈良県の地域整備の基盤づくりを担うものであり、業務の遂行を通じて、国・県の下支えをしっかりと行ってまいります。

国からの受託事業では、国道163号清滝生駒道路（生駒区間）について、先行取得業務を継続的に推進しており、着実に成果を収めてきております。

県からの受託事業では、道路改良、河川整備及び都市計画事業に係る資金代行業務のほか、国道169号下北山村災害復旧事業、中央卸売市場再整備事業は令和7年度に全対象地の取得を終え、国道168号香芝王寺道路、御所IC工業団地周辺アクセス道路の用地交渉業務を継続的かつ着実に進めております。令和7年度からは、新たに結崎田原本線及び御所高取バイパスに係る用地交渉業務を受託しています。御所高取バイパスについては、用地交渉の準備段階から参画し、県事業の円滑な推進を支援しています。

奈良県の地域整備の基盤づくりに貢献できるよう既存事業の着実な遂行及び新規案件への的確な対応を常に意識しながら、職員一同が誠実に業務に取り組んでまいります。

本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

安全、安心な水道水の持続的供給を

奈良県広域水道企業団
事務局長 **岡田伸一郎**

新年明けましておめでとうございます。

平素より、奈良県広域水道企業団水道事業の推進にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、関係各位のご尽力により安全で安心な水道水の供給が行えていますことに、深く感謝申し上げます。

奈良県では、水需要の減少に伴う給水収益の減少、水道施設の老朽化による更新需要の増加、職員の減少による技術力の低下など直面する課題に対応するために、昨年4月から奈良県、26市町村で構成する奈良県広域水道企業団が運営を開始しました。企業団では当初から基本的に水道料金を統一した事業統合の形態をとっており、先進的な取組として全国的にも評価されているところです。

このように充実した体制のもと、企業団においては引き続き、安全、安心な水道水の持続的供給のため取り組んでまいりますので、住民の皆様には、奈良県広域水道企業団水道事業への一層のご理解とご協力をお願いいたします。

本年が皆様にとりまして、ご健勝で幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

安全・安心な社会資本整備等に取組

奈良県奈良土木事務所
所長 **岸田　宰**

新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。また、平素より奈良土木事務所の業務に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当事務所の管轄区域は、奈良市、天理市及び山添村の2市1村で、県人口の約3割が生活を営む地域であり、また世界遺産「古都奈良の文化財」など、豊かな自然と多くの史跡・名勝を含む範囲です。

現在、県では「ならの道リフレッシュプロジェクト」を推進しており、当事務所としましても、観光客が多く訪れる奈良公園を含む管内の主要路線を中心に舗装修繕などを重点的に進めており、奈良公園のメインルートである大宮通りの歩道についてもリフレッシュを進めています。

完了後には、より通行しやすい道路を提供できると考えております。

また、管内においては、骨格幹線道路ネットワークに位置づけられている国道369号大保道路及び枚方大和郡山線中町工区、天理市のまちづくりに寄与する天理環状線九条バイパスなどの道路事業をはじめ、近年頻発する台風や集中豪雨などの対策として秋篠川（西ノ京・中山町）、などの河川改修事業や砂防・急傾斜地崩壊対策事業など地域の安全・安心を支える事業を推進しています。

加えて、老朽化が進むインフラの長寿命化対策や通学路等の交通安全対策についても、引き続き鋭意努めてまいります。

本年も、奈良土木事務所職員一丸となって、安全・安心な社会資本整備等に取り組んでまいりますので、地域の皆様をはじめ、関係各位におかれましてはご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

フルランプ化の早期着工に向けて準備を

奈良県郡山土木事務所
所長 **辻井伸治**

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。

日頃より郡山土木事務所が推進する事業に対し、皆様からのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博、高市内閣発足など活気に満ち溢れた年となりました。一方で八潮市での道路陥没、異常な猛暑、米価格の高騰等不安に直面した一年でもありました。

当事務所管内では、4月に王寺三郷斑鳩線（三郷町）での地すべりによる道路陥没が発生、現在も通行止めが続いており多くの方々にご不便とご心配をお掛けしています。現在、早期復旧に向けて取り組んでいます。

郡山土木事務所では、このような自然災害から地域の方々の生命や暮らしを守り、生活の利便性を向上させるためのさまざまな事業を推進しています。

道路では、城廻り線（大和郡山市）、小平尾バイパス（生駒市）、椿井王寺線（三郷町～平群町）の早期供用に向けて取り組んでおり、また、辻町ＩＣ（生駒市）のフルランプ化についても、早期に着工できるよう準備を進めているところです。

河川では、富雄川（斑鳩町）、竜田川（生駒市）、地蔵院川（大和郡山市）、三代川（斑鳩町）で水害から守る河川改修を実施しており、その他災害防除事業や橋梁や舗装等の老朽化対策、耐震補強、砂防事業などの事業も着実に進行中です。

今年は「丙午（ひのえうま）」の年で「エネルギーに満ち溢れ、これまで停滞していた物事が一気に動き出す年」とされているようです。私たちも引き続き努力を重ね、事業を加速させ、地域の安全と発展を目指して取り組んでまいります。皆様の変わらぬご支援を賜りますようお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。

地域の特性を活かし安全・安心なまちづくりを支える基盤整備を推進

奈良県中和土木事務所
所長 **渡邉義明**

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。また、平素より中和土木事務所の業務に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

中和土木事務所は、橿原市、桜井市、川西町、三宅町、田原本町、高取町、明日香村の2市4町1村のエリアを管内としております。

安全・安心で快適なまちづくりを進めるため、市町村と連携して、様々な事業に取り組んでいます。

京奈和自動車道へのアクセス向上のため、御所ＩＣと吉野地域を連結する高取バイパス及び御所高取バイパスの整備、三宅ＩＣへのアクセス道路として結崎田原本線の整備を進めるとともに、県道三輪山線などまちづくりに資する道路整備を推進しています。

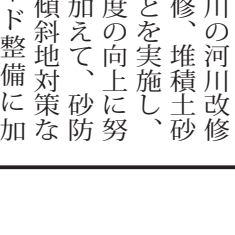
安全・安心な地域づくりのため、大和川、寺川、飛鳥川、曽我川などにおいて河川改修や堆積土砂の撤去を進めるとともに、土砂災害対策として石ヶ谷地区での施設整備や土砂災害警戒区域の見直しなどのソフト対策も進めています。

この地域では「飛鳥・藤原の宮都」を本年、世界遺産に登録すべく取り組みが進められています。奈良県ではこれまでに世界遺産は三つ登録されており、今回登録されると県内に四つ目の世界遺産が登録されることになります。

本年も地域の安全・安心、利便性向上のため、事務所一丸となって取り組んでまいりますので、地域の皆様をはじめ、関係各位におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

地域の皆様方・訪れていただく方々の安全・安心を支える事業を



奈良県五條土木事務所
所長 **木戸正二**

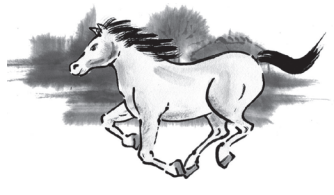
新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より五條土木事務所の各事業に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当事務所は、五條市、野迫川村、十津川村の1市2村を所管し、その面積は県土の約3割を占めています。しかし、その大半は山間地域であり、公共交通機関が乏しいことから、道路は地域の方々の日常生活に加え、地域活性化に欠かせないものとなっています。また近年災害が激甚化、頻発化し、近い将来発生が危惧される南海トラフ地震などの大規模災害への対応も急務となっております。このような中、県南部地域の防災力を向上し、住民の皆様が安心して暮らせるためのインフラ整備は大変重要なことと考えています。

管内では紀伊半島アンカールートの一部である国道168号の早期整備に国と連携して取り組んでいます。当事務所では、現在「新天辻工区」で事業を進めており、今年度は進入路仮橋工事や終点側切土工事を実施しています。また、その他、国道425号や高野天川線などの整備も鋭意進めているところです。さらに、道路の災害を防ぐための法面対策工事や、地域の方々を土砂災害から守る砂防事業、老朽化した橋梁やトンネルの補修工事などにも取り組んでいます。

今後とも、地域の皆様方をはじめ、訪れていただく方々の安全・安心を支える事業を推進してまいりたいと考えております。関係各位のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様方にとりまして良き年となりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



管内道路の適切な維持管理を一層推進

奈良県吉野土木事務所
所長 **植田芳弘**

新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。平素より吉野土木事務所の各事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は午（うま）年に当たり、古来より午は「勢いよく前へ進む」「道を切り拓く」象徴とされております。この干支にあやかり、地域の発展と安全確保に向けた取り組みを、より一層力強く推進してまいる所存です。

当管内は、風光明媚な大自然と、世界遺産をはじめとする豊かな歴史文化に恵まれた地域です。一方で、険しい地形ゆえに自然災害が発生しやすく、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害へ備えた国土強靱化の推進が重要な課題となっています。

地域生活や経済活動を支える「命の道」である国道169号をはじめ、道路の安全確保に向け、落石等に対する災害防除対策、橋梁・トンネルのメンテナンス、舗装補修に着実に取り組んでまいります。老朽化が進む国道169号の前鬼橋（下北山村）については、補修ではなく架け替えに向けた新橋設計を進めております。また、崩土等により通行止めが発生した際には、速やかな復旧に向け全力で対応いたします。

道路改良事業では、主要地方道五條吉野線の阿知賀バイパス、高野天川線・赤滝五條線の整備を継続するとともに、令和8年度供用予定の大峯山公園線（蛇之倉工区）、上池原下桑原線（深瀬工区）の整備を着実に進めてまいります。

さらに水害対策として、紀の川の河川改修や護岸補修、堆積土砂の除去などを実施し、治水安全度の向上に努めます。加えて、砂防堰堤や急傾斜地対策などのハード整備に加え、土砂災害警戒区域の見直し等のソフト対策も一体的に推進いたします。

本年も職員一同、地域の安全・安心と持続的な発展のため、全力で取り組んでまいります。皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げるとともに、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

未来に向けたインフラ整備と地域活性化の推進

奈良県幹線街路整備事務所
所長 **川口滑也**

新年あけましておめでとうございます。皆様が健やかに新春を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。日頃より奈良県幹線街路整備事務所の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の大阪・関西万博は総来場者数2500万人を超える大盛況となり、その効果は関西全体に広がりました。訪日外国人旅行者数も増加し、奈良県内の観光地や宿泊施設にも多くの来訪者が見られるなど、地域経済への貢献を実感できる一年でした。

当事務所では、奈良市中心部と京奈和自動車道（仮称）奈良インターチェンジを結ぶ都市計画道路「西九条佐保線」や「大安寺柏木線」の整備を進めるとともに、JR関西本線の高架化事業や京奈和自動車道と連携し、交通結節点を活かした奈良の新たな玄関口づくりを推進しています。昨年は、西九条佐保線の本体工事に加え、JR高架橋梁や新駅建設も大きく進展し、事業の進捗が目に見える段階にはいりました。

本年も高架化工事や道路整備に向けた用地取得・文化財調査を着実に進め、地域の声を伺いながらスピード感を持って工事を推進してまいります。

これらのインフラ整備は、アクセス向上や渋滞緩和、防災機能の強化などを通じ、県内の活力を支える将来の重要な都市基盤となります。職員一同、奈良県の未来を見据え、安心で豊かなまちづくりに邁進してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

未来へつなぐ下水道の安全と安心

奈良県流域下水道センター
所長 **松並喜代治**

令和8年の新春を迎え、謹んでお喜びを申し上げます。また、平素より奈良県の下水道事業にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

奈良県の下水道普及率は令和6年度末で83・8％となり、河川の水質改善や快適な暮らしの実現に大きく貢献しています。これまでの施設整備は概ね完了し、これからは安全で安定した運営がますます重要になります。

昨年1月、埼玉県八潮市で下水道管の破損が起因とされる道路陥没事故が発生し、尊い命が失われるという痛ましい出来事がありました。これを受け、国では対策検討委員会が設置され、全国的な重点調査の実施や地下空間の管理の高度化などが提言されました。

また、6月には「国土強靱化実施中期計画」が決定され、下水道の老朽化対策や災害時の機能確保が盛り込まれました。奈良県としても、これらを重要な課題と捉え、地域の安全を守る取り組みを進めてまいります。

さらに、物価高騰、施設の改築更新に伴う費用増加に対応するためウォーターPPPの導入など官民連携による経営の効率化を図り、持続可能な下水道事業を目指し、汚泥のリサイクルやエネルギー利用にも力を入れ、環境への配慮も忘れず取り組んでまいります。引き続き、奈良県の下水道事業にお力添えいただきますように、よろしくお願いいたします。

結びに、新しい年が皆様にとって幸多き年となりますようお祈り申し上げて新年のご挨拶とさせていただきます。

安心して活躍できる職場環境の改善を

奈良労働局
局長 **石崎琢也**

新年明けましておめでとうございます。

旧年中、建設業関係者の皆様には、奈良労働局の行政運営に格別のご理解・ご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年5月に、労働安全衛生法及び作業環境測定法が改正され、令和8年1月1日から段階的に施行されることとなりました。

本改正では、混在作業場所における元方事業者等への措置義務対象が個人事業者等を含む作業従事者に拡大されるほか、高年齢労働者の労働災害防止措置が事業者の努力義務となるなど、建設業事業者の皆様にも関係する内容が含まれておりますので、円滑な施行に向けて周知等を進めてまいりますので、皆様におかれましてもご準備のほどよろしくお願いいたします。

また、昨年6月から改正労働安全衛生規則が施行され、熱中症の重篤化防止のための措置が事業者の義務となりました。

近年、夏季の高温傾向が著しくなっておりますので、今年も早い段階から熱中症対策を徹底いただきますようお願いいたします。

現在、奈良労働局では「働きやすい奈良」を最重点施策に掲げ、人材確保への支援、多様な人材がその能力を最大限活かして安心して活躍できる職場環境の改善等を目指した取組を進めております。本年も奈良労働局の施策にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとって輝かしい繁栄の年でありますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

「地域に寄り添う事務所」を目指して

近畿地方整備局
大和川河川事務所
所長 **細川　晋**

新年明けましておめでとうございます。

大和川（奈良県域）では、川西町の保田遊水地が昨年6月1日より運用開始となり、地域の治水安全度が大きく向上するとともに、インラインスケートを核とした上面利用による地域活性化にも期待しております。引き続き安堵町の窪田遊水地をはじめとした他の遊水地や河道掘削についても工事や設計等を継続してまいります。

また、流域治水関連法案改正後、全国で初めて「特定都市河川」への指定及び「流域水害対策計画」の策定を実施し、一昨年7月には、水害リスクを踏まえたまちづくりを進めるために、全国初となる貯留機能保全区域を川西町唐院地区と田原本町西代地区にて指定し、続いて大和郡山市番条地区にて指定しました。今後は他の地域にも広める予定です。

亀の瀬地すべり地では、一昨年3月に歴史資料室がリニューアルし、昨年8月に累計3万人の来場者数を達成しました。資料室ではボランティア団体による案内や地元事業者による物販を行うなど、官民連携で運営を実施しております。

また、住民の方々には水害に対する事前準備をしていただくため、マイタイムラインの作成講習会や要配慮者支援施設における避難訓練の支援などを進めてまいります。

今年も大和川河川事務所が「地域に寄り添う事務所」を目指して職員一丸となって頑張ってまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

地域を守り、未来を拓くインフラ整備の推進

近畿地方整備局
局長 **齋藤博之**

新年あけましておめでとうございます。

近畿地方整備局では、国民の皆様の安全・安心の確保に向けて、本年も引き続き「流域治水」「道路ネットワーク整備」上下水道施設などのインフラの「老朽化対策」など必要な事前防災や減災等の取組を計画的かつ機動的に推進してまいります。

近畿地方においては、昨年4月から開催された大阪・関西万博は10月13日に成功裏に閉幕しましたが、万博以降もなにわ筋線、北陸新幹線の延伸やリニア中央線など、民間主導のビッグプロジェクトが多くあり、経済活性化の大きなチャンスであります。現在、近畿地方整備局が事務局となり関西の長期的な将来ビジョンを定める「関西広域地方計画」の策定作業に取り組んでおりますが、これにはしっかりと近畿の明るい未来をお示ししたいと考えています。

奈良県の道路関係では、生産性の高い物流ネットワークを構築するため、京奈和自動車道のミッシングリンク解消に取り組んでいます。そのうち、大和御所道路の（仮称）橿原JCT（大阪方面接続ランプ）では、令和8年春の開通に向けて事業を推進しています。

大和川では、保田遊水地が昨年6月1日より運用開始となり、地域の治水安全度が大きく向上するとともに、インラインスケートを核とした上面利用による地域活性化にも期待しております。引き続き窪田遊水地をはじめとした他の遊水地につきましても工事や設計等を継続して進めてまいります。

このような防災・減災対策や経済の活性化を支えるインフラ整備を着実に実施するためには、建設産業の持続的な発展も不可欠です。建設産業は、自ら手がけたものが後世へ目に見える形で残せる魅力的なものであり、地域の雇用を支えると同時に、人々の生活を支え、豊かにすることや、地方経済の活性化にも寄与する存在と思っており、様々な取組により、担い手の確保・育成に取り組んでまいります。

地域防災力を向上するための啓発活動も実施

近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所
所長 **竹下　航**

新年明けましておめでとうございます。

当事務所では平成23年9月の紀伊半島大水害による大規模土砂災害で甚大な被害が発生した箇所を中心として、紀伊山系と木津川水系において国による直轄砂防事業を実施しております。

紀伊半島大水害では多くの河道閉塞が発生しており、重大な土砂災害につながる土石流の恐れがあった地区において対策工事を実施しています。このうち奈良県五條市赤谷地区については令和6年に対策工事が完了するなど、災害復旧の対策工事を着実に進めています。木津川水系では、土砂災害から人家に加え道路、鉄道などを守るための砂防堰堤などの整備を進めています。

近年、土砂災害の発生件数は増加傾向となっており、災害復旧の対策工事だけでなく、将来生じうる災害に備えた対策も講じていく必要があります。当事務所では、災害の前から備える事前防災のための砂防施設の整備を進めるとともに、大規模土砂災害発生時の迅速な状況把握のためのドローン活用や新型観測機器の配備など、災害対応の体制強化にも取り組んでいます。また、土砂災害に関するパネル展や防災学習など地域防災力を向上するための啓発活動にも地域と連携しながら実施しています。

引き続き、砂防施設の整備推進とともに、災害対応能力の向上に向けた啓発活動等の取組も積極的に実施し、地域の安全・安心の確保に貢献してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

奈良県の地域経済活性化と安全・安心に寄与する幹線道路ネットワーク整備を目指して

近畿地方整備局
奈良国道事務所
所長　河本　敦

令和8年の新年を迎えるに当たり、謹んでお慶びを申し上げます。また、平素より道路行政をはじめとする国土交通行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当事務所では、地域経済の活性化に寄与するとともに、災害時の安全・安心の備えとして、奈良県の屋台骨となる幹線道路ネットワーク整備に取り組んでいます。

県内の幹線交通の骨格を担う京奈和自動車道の「大和北道路」では、有料道路事業と一体となって整備を進めるとともに「大和御所道路」の（仮称）橿原ＪＣＴ（大阪方面接続ランプ）では、今春の開通に向け、最終工程となる舗装工事等を推進しています。

県南部では、災害への対応を高める紀伊半島アンカールートとして、国道１６８号の長殿道路、五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）、十津川道路（Ⅱ期）及び国道１６９号の伯母峯峠道路の整備を直轄権限代行により推進しています。

更に、国道１６９号奈良県吉野郡下北山村前鬼～上池原において、直轄権限代行による災害復旧事業を推進しています。

また、奈良県には世界遺産をはじめとした多くの観光資源があり、近年のインバウンド回復基調の中、人と物の流れを活性化する道路の重要性を改めて意識しながら整備を推進していく所存です。

最後になりますが、本年も地域の皆様方からのご支援とご協力を頂きながら、幹線道路ネットワークの早期整備を目指して事業を推進してまいります。

関係各位の益々のご健勝とご発展を祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

高松塚周辺地区の再整備をはじめとした公園整備

近畿地方整備局
国営飛鳥歴史公園事務所
所長　栁澤秋介

謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、平素より、国営飛鳥歴史公園事務所が行う事業の推進に当たり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当事務所は、現在、飛鳥区域（明日香村）及び平城宮跡区域（奈良市）の2カ所において、国民のかけがえのない財産である文化的資産の保存及び活用を図るため、国営公園事業を行っております。

本年は、飛鳥区域においては、地域で目指している「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録の取り組みに引き続き協力する一方、高松塚周辺地区の再整備をはじめ、世界に誇る飛鳥の歴史的風土を守り育てる公園整備を引き続き進めてまいります。

また平城宮跡区域においては、第一次大極殿院の復原を引き続き進めてまいりますが、大極門に続き整備中の東楼についてこの春に完成予定であり、往時を体感いただける空間づくりが大きく一歩前進します。

歴史・文化を活かした公園の整備・管理・運営を通じ、地域に最大限の貢献ができるよう、職員一丸となって力を尽くす所存でありますので、本年も、引き続き皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「きれいな水」「豊かな土地」「美しいふる里」を次世代に

近畿農政局
南近畿土地改良調査管理事務所
所長　一阪郁久

謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素から農林水産関係の各施策の推進にご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

当事務所は、大迫、津風呂ダム及び下渕頭首工の運用管理とともに、奈良、和歌山県の農業水利施設の保全管理、土地改良事業を実施するための調査計画等を担当しております。

近年、気候変動等により、高温化や降雨などの変化を肌で感じることが多くなりました。昨年、近畿地方では、統計開始以来、最も早い梅雨明けとなり、全国的にも高温や渇水に関するニュースが連日流れました。県内でもまとまった雨も少なく、各地のため池でも貯水位が低下し、米の生育、収穫を心配する農家の声も新聞に掲載されました。当方が管理するダム貯水位も低下、河川管理者や利水者との綿密な調整の下、かんがい期を終えた年となりました。

私共としても利水調整の難しさを痛感する年となるとともに、戦後、総合開発計画に基づき整備されたダムなどの農業水利施設、農業用水の重要性や価値を再認識する年となりました。このような環境変化にも適切に対応できるよう引き続き各施設の運用管理に努めてまいります。

ところで、本年11月17日に第48回全国土地改良大会が「『きれいな水』『豊かな土地』『美しいふる里』水土里が育てるまほろばの奈良」をテーマとして、初めて奈良県で開催され「農業・農村の重要性」と「農業農村整備が果たす役割」を改めて認識し、農業の将来を見据えた土地改良の大切さを発信する大会となります。私共としても水源となる源流地域への感謝の気持ちを大切にし、歴史的な財産である吉野川分水の安定供給と次世代への継承、奈良県の持続的な農業農村の振興に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

治山事業・森林整備事業を適切に実施し、安心・安全確保を

近畿中国森林管理局
奈良森林管理事務所
所長　川上吉伸

新年あけましておめでとうございます。

旧年中、建設業関係の皆様には奈良森林管理事務所の業務運営に対しまして格別のご理解とご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

さて、当事務所では効果的な治山対策や林業の低コスト化・省力化及び木材の安定供給などによる「森林・林業施策推進への貢献」天然林等の保護による生物多様性の保全や国民の森として森林資源を活用した地域振興などによる「公益重視の管理経営」国有林のフィールドを活用した現地検討会や森林環境教育などによる「民国連携・民有林支援」の三つの大きな柱を設定して地域における安心・安全、林業・林産業の発展への寄与に取り組んでいるところでです。

また、近年気候変動の影響により短時間強雨や線状降水帯等の発生が頻発化し激甚な山地災害が発生しています。

このような中、紀伊半島大水害での大規模崩壊地の早期復旧に向け、関係機関や被災自治体との連携を図りながら国直轄の民有林治山事業の実施や森林の維持・造成を通じて山地災害から国民の生命・財産を守る森林整備等についても全力で進めているところです。

引き続き治山事業・森林整備事業を適切に実施し地域の皆様の安心・安全のため各種事業を実施してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、建設業界の皆様の益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

死亡災害の撲滅、労働災害の防止

大淀労働基準監督署
署長　羽山暁弘

新年あけましておめでとうございます。

皆様には日頃より、大淀労働基準監督署の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和7年を振り返りますと命の危険を及ぼすような記録的な暑さが続きました。建設業の皆様におかれましては、新たに労働安全衛生法で定められた熱中症対策を講じて頂き、労働者の健康管理にご尽力いただいたことと存じます。

また、第14次労働災害防止対策では、建設業における死亡災害を防止するため、特に墜落災害防止、転倒災害防止等の徹底が求められており、こちらについても積極的に取り組んでいただいていることと存じます。

昨年の当署管内の建設業における労働災害を見てみますと昨年10月末時点で18件、前年同期比ではやや増加に転じているものの、死亡災害は1件も発生しておりません。これは皆様の積極的な労働災害防止活動の成果の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当署管内における建設業は、五條、吉野方面における道路や治山治水など社会的基盤の維持・管理を担っていただいているとともに、地域の雇用を創出していただいている極めて重要な産業になりますので、引き続き、労働災害防止に向けた取り組みをお願いいたします。

私どもといたしましても、新春を迎え、心新たに死亡災害の撲滅、労働災害の防止に向け積極的に取り組んでいく所存です。

結びに、建設業で働く人のご安全とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。どうぞ、ご安全に。

地域に愛される木津川、名張川の整備を目指して

近畿地方整備局
木津川上流河川事務所
所長　臼井義幸

新年明けましておめでとうございます。

平素より木津川上流河川事務所が担当する木津川上流域の河川事業の推進に当たり、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

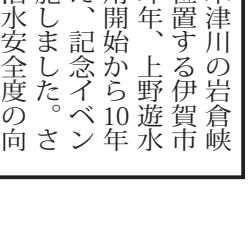
当事務所では、淀川の支川である木津川上流域の河川整備や維持管理を行っており、流域全体で水害を軽減させる流域治水プロジェクトに基づき、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を推進しています。

現在、名張川では「名張かわまちづくり一体型浸水対策事業」により、安全で賑わいある川づくりを目指して工事を進めております。

今年は、引堤工事と旧堤防の撤去、さらに黒田橋の架け替え工事、名張大橋の延伸工事を進めていく予定です。

また、木津川の岩倉峡上流に位置する伊賀市では、昨年、上野遊水地の運用開始から10年目を迎え、記念イベントを実施しました。さらなる治水安全度の向上を図るため、服部川・柘植川の堤防整備や河道掘削、伊賀上野橋の延伸工事などを引き続き実施してまいります。

また、想定される浸水深をまちなかに標識として設置する「まるごとまちごとハザードマップ」やマイ・タイムライン講座の開催など、地域の方々と共に職員一同一丸となって取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



「リスクアセスメントの実施」「メンタルヘルス対策」に取り組み

奈良労働基準監督署
署長　**今西昭男**

新年あけましておめでとうございます。奈良監督署の今西でございます。

皆様には、日頃より、奈良労働基準監督署の行政運営に格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、関西に取りまして、大阪万博の開催、京大・阪大の先生のノーベル賞受賞、阪神のリーグ優勝等、とても良き出来事が続きました。

奈良署管内におきましても、今年も正倉院展が開催されましたが、ものすごい人気でした。今回は、蘭奢待（ランジャタイ）が出展されておりましたので、それも人気の理由かも知れません。引き続き、観光客に人気があるこの状況が続くことを祈ります。

一方、全国的にみますと、熊の被害が大きな話題になっております。

熊といえば、何年か前に、島根局に赴任していたころ、熊被害による労働災害が発生していたことを思い出します。今のところ、奈良では、熊の出没は少ないですが、油断は出来ません。

安全で働きやすい社会の実現には、全方位に目を向ける必要があると感じます。

奈良労働基準監督署では、本年も引き続き「死亡災害の撲滅」そのための「墜落災害防止の徹底」「過重労働の抑制」「リスクアセスメントの実施」「メンタルヘルス対策」に取り組み、全方位体制で望む所存でございます。

皆様方のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

私個人の年始の抱負としましては、健康と安全のため「飲み方改革」を進める予定です。何の飲み方なのかは、聞かないでください。

それでは、結びに、本年が、皆様方にとりまして、輝かしい繁栄の年になりますよう、心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願い申し上げます。

ダムを活用した地域の活性化貢献に

近畿地方整備局
紀の川ダム統合管理事務所
所長　**小長谷　健**

令和8年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

平素より紀の川ダム統合管理事務所所管の大滝ダム、猿谷ダムの管理・運用にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

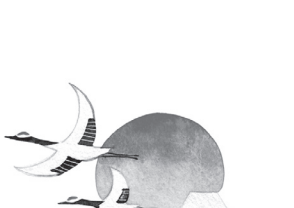
紀の川ダム統合管理事務所は、紀の川（吉野川）上流の川上村に建設された「大滝ダム」と熊野川（十津川）上流の五條市大塔町に建設された「猿谷ダム」の運用及び維持・管理を目的に平成15年に設置されました。

「大滝ダム」は、昭和34年の伊勢湾台風による甚大な被害を受けたことを契機に計画され、平成25年3月に完成。洪水調節、水道・工業用水の供給、発電、流水の正常な機能維持の役割を持っています。

「猿谷ダム」は「十津川・紀の川総合開発事業」の一環として、昭和33年3月に完成。発電と紀伊平野への不特定かんがい用水の供給の他、流水の正常な機能維持の役割を持っています。

気候変動の影響による水害の激甚化を踏まえ、両ダムでは利水者の協力を得つつ、洪水調節機能の強化を図るため予測降雨量を踏まえた事前放流を行うこととしています。また、大滝ダムにおいては洪水後の水位操作による増電の取り組みを昨年から試行運用しておりカーボンニュートラルにも寄与しているところです。

今後も両ダムを適切に管理・運用し、治水・利水とも地域の安全・安心の確保を行うとともに、ダムを活用した地域の活性化にも貢献できるよう、職員一同一丸となり取り組んでまいります。本年も、よろしくお願い申し上げます。



建設業における労働災害防止に向けて

葛城労働基準監督署
署長　**梅澤正史**

新年あけましておめでとうございます。平素より、労働基準行政の運営、とりわけ建設業の労働災害防止に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

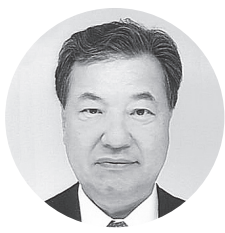
さて、建設業では、令和6年4月1日より時間外労働に関する規制が強化されており、労働災害や過労死の原因となる時間外労働の削減は重要なミッションとなります。

また、建設業の労働災害は長期的には減少しているものの、その減少傾向は鈍化しています。労働災害が減少しているとはいえ、建設現場には常に大きなリスクが潜んでおり、さらなる安全水準の向上への取組みが必要です。

なお、昨年、高年齢労働者の労働災害の防止、労働者と同一の場所で作業する個人事業者等に関する労働安全衛生法令の適用等を盛り込んだ改正労働安全衛生法が成立したところです。主な改正内容は①個人事業者等の労働災害防止のための措置強化②労働者50人未満の事業場へのストレスチェック義務付け③高年齢労働者の労働災害防止措置の努力義務化等です。これらは早いもので今年1月から段階的に施行され、令和9年4月には一部を除き全面施行されることから、円滑な施行に向けた準備を進めているところです。

最後になりますが、葛城労働基準監督署は、事業者や労働者、発注者等の幅広い関係者が、職場における安全衛生を形成する当事者であるという意識を持ち、ともに安全衛生活動に取り組む文化の醸成のため尽力してまいります。本年もよろしくお願いいたします。

まちづくり活動を産官学民連携で推進



一般社団法人 奈良県建築士会
会長　**中尾七隆**

令和8年の新年を迎え、ご挨拶申し上げます。昨年11月に大分市で大規模火災が発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。お亡くなりになられた方がおられたことは残念ですが、日頃からコミュニティが形成されていたことで多くの命を守れたことも今後の防災に取り組むうえで参考になると思いました。

我々建築士は、過去の災害を検証し、京町家などの先進事例も参考に、同様な集落・町家における防災対策、空き家対策、ヒートショック防止となる断熱改修と同時にすべき耐震改修等、多種多様な課題の解決に向け、前向きかつ具体的に実行していかなくてはなりません。また、脱炭素社会に貢献するため、地元の木（住宅用サイズの県産材）を使い、地元の手（設計者・ゼネコン・大工さん）でデザイン性の高い非住宅木造建築物がつくれるよう自らのスキルをあげ、発注者（民間・公共）に働きかけていきます。

以上を踏まえ、左記の通り、今年予定している主な活動をご紹介させていただきます。

・行政と当会とで歴史的建造物保存活用に向けた条例づくりを目指し継続的な勉強会を実施

・近畿建築祭奈良大会(11月28日)を「三輪山会館」で開催し、平和な国づくりを再認識

・前記大会に向け、地域文化遺産のガイドブック人材育成講座、活動紹介（防災の取組や調査状況）

・将来の建築士増と県内雇用を目指し、当会員所属企業と連携し、インターンシップ事業実施

・士業（弁護士・社会福祉士・司法書士・行政書士・建築士）等による災害対応体制の強化

・全国植樹祭（R9年5月予定）で天皇陛下が着座される木造ステージを当会メンバーで提案

・県産材でつくる非住宅木造講習の実施及び公民の発注者へ公共建築木造化推進を要望

・近畿建築士協議会では各部会（青年・女性・まちづくり）による視察・研修・交流実施

以上、災害連携体制強化、脱炭素社会への貢献、県内雇用増、人材育成と技術向上等、様々なまちづくり活動を産官学民連携により進めてまいります。今年も、皆様方のご支援・ご指導を賜りますようにお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

建設業における「危険ゼロ」を目指して

桜井労働基準監督署
署長　**大橋光男**

新年あけましておめでとうございます。平素より、労働基準行政の運営、とりわけ建設業の労働災害防止に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の建設業界は、資材価格の高騰、作業員の高齢化や人手不足等、取り巻く環境は大変な状況にあると伺っております。そのような中、労働災害発生件数は中長期的には減少傾向にあり、これは長年にわたる業界をあげた取組の成果であると考えております。一方、死亡災害は全国で全産業の3割程度を占めており、作業現場には大きなリスクが潜み、ひとたび災害が発生すると重篤化しやすい傾向は変わっておりません。

桜井労働基準監督署では、令和5年度～9年度を計画期間とする第14次労働災害防止計画において、建設業を重点業種の一つと位置付け、足場、屋根、梁、母屋はもとよりはしごや脚立からの墜落・転落災害防止対策の徹底を目標に掲げております。また、昨年、高年齢労働者の労働災害の防止、労働者と同一の場所で作業する個人事業者等に関する労働安全衛生法令の適用、ストレスチェック実施義務を50人未満の事業場にも拡大するとした労働安全衛生法改正案が成立しましたので、今後、施行に向け準備に取り組んでまいります。

建設業に携わる皆様の安全、安心のため「危険ゼロ」を目指し、一層の労働災害防止対策に取り組む皆様を、桜井労働基準監督署は支援いたします。

本年もよろしくお願いいたします。

講習会・勉強会の積極的実施で技術力アップを

一般社団法人 奈良県建築士事務所協会
会　長　**中西治夫**

新年あけましておめでとうございます。

平素は（一社）奈良県建築士事務所協会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、高市早苗先生が総理大臣に就任されるという誠に喜ばしいニュースをいただきました。奈良県民としてまた建築人として誇りに思うとともに、今後の益々のご活躍を心より期待しております。

さて、我々建築設計事務所は、国民の安心・安全と質の高い暮らしの確保、そして持続可能な社会の構築に深く関わる専門家組織として、国民福祉の向上と建築文化の振興に貢献する責務を負うと同時に、建築設計の業務独占の権利と引き換えに、職業倫理の遵守と業務の厳正な履行、そして、最新の技術や法制度に精通し、資質・能力を高度に維持することが求められており、建築主のみならず広く社会の期待に応えていく義務があると考えております。

本年も左記三つを基本に進めてまいります。

①例年に引き続き、（一社）奈良建築士会、（公社）日本建築家協会奈良会、当協会の「設計三会」で協力し、建築業界の発展の為、市町村へのご理解を求めるべく要望活動を行ってまいります。

②建築士事務所の開設者・管理建築士の方々への情報提供、また最新技術を習得して頂く為にも引き続き当協会への入会案内を進めてまいります。

③建築技術者の技術力アップの為、講習会・勉強会を積極的に行います。特にものづくりの楽しさ・設計の魅力を若い世代に発信して、建築業界の明るい未来に繋げてまいりたいと考えています。

我々は人間生活の基本である「衣食住」のうち「住」を担っている建築の技術者集団です。ただ残念ながら、建築設計の技術者不足も他業界に同じく、大きな問題となっております。

昨今の異常気象や経年劣化による設備の改修等、設備関連の工事が大幅に増えており、設備設計者のニーズはますます高まっておりますが裏腹に、設備設計者が減少している印象は拭えません。

設備技術者のみならず、その他の分野の技術者も減少し続けている昨今、建築技術者への道を志す若者が増えることを望むばかりです。

「住」という重要な役割を担う者として、現状を捉え今何をしなければならないのか、また10年20年先またその先を見据えての活動をコツコツ実施して行きたいと考えております。

本年も引き続き当協会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

皆様のご健勝と益々の発展を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

建築文化向上を通して貢献できることを

公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部 奈良地域会
地域会長　**山本光良**

新年あけましておめでとうございます。令和8年が皆様にとってより良き年になりますよう様お祈り申し上げます。旧年中は公益社団法人日本建築家協会（ＪＩＡ）の活動への関係各位のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

昨年は、これからの地域のビジョンを考える葛城みらいのもりコンペの実施事業へのサポート、文化財建築維持保存のための協力や見学会、行政との対話等、建築文化向上のための活動をさせていただきました。

今年も、ＪＩＡは社会の急激な変化に対応すべくこれまで同様、建築設計監理の専門家による公益社団法人として奈良の建築文化発展のための活動をしてまいります。また奈良出身の女性総理大臣が誕生し今年から本格的に活動が開始されます。建築関係分野の発展にも追い風となる事でしょう。

社会の変化が進んでいます、同時に社会の新たな課題も生まれています。建築の周りでは自然環境破壊など環境問題への対応、少子化、高齢化や全国で９００万戸に達した空き家対策等の喫緊の課題解決が求められています。更に様々な災害への対応と対策、社会活動の基本となる経済問題、社会インフラの更新、維持管理体制の充実、建築工事費の高騰、奈良県産木材の利用促進、建築に関わる人材不足等、大きな課題も山積しています。これらの多くの課題に対して当協会は建築文化向上を通して貢献できることを微力ながら進めてまいります。

奈良の建築文化発展のために、皆様のご指導と応援を賜れば幸いです。

生活安全産業として、社会の安全・安心に貢献する警備業

一般社団法人 奈良県警備業協会
会　長　**若原邦弘**

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素より、奈良県警備業協会加盟社をはじめとする警備業界各社に対し、格別のご理解とご支援を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨夏は東北から九州、特に西日本を中心に大雨特別警報が連続して発せられるなど、各地では大雨による甚大な自然災害が発生し、警備業界も少なからずその影響を受けました。また、猛暑日の延べ日数は過去最多を記録し、隊員の健康管理と熱中症対策に心血を注ぎました。

中でも、大阪・関西万博においては、酷暑の中における警備業務は誠に厳しいものがありましたが、隊員の職責を完遂するという強い心で業務に集中した結果、特に大きな事件・事故の発生もなく無事に終えることができました。

これも皆様方のご指導とご協力のお陰と感謝いたしております。

このように、警備業界を取り巻く環境は誠に厳しいものでありますが、社会公共の安全・安心の確保に寄与することを目的として一層努めてまいりますので、警備のことなら当協会加盟各社にご相談・ご依頼いただきますようお願いいたします。

皆様方の益々のご健勝とご発展を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

国土の姿を適切に捉える「未来を創るはじまりの仕事」

公益社団法人 奈良県測量設計業協会
会　長　**松嶋秀典**

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、国・奈良県をはじめとする発注機関の皆様、また協会顧問の先生方、及び各関係者の方々には、公益社団法人奈良県測量設計業協会（奈測協）の運営に対しまして格別なるご理解・ご協力またご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、奈測協顧問高市早苗衆議院議員が、憲政史上初の女性内閣総理大臣にご就任されました。奈良県民として誠に光栄なことと誇らしく、安全で豊かな日本の未来を築く上で、今日までのたゆまぬご努力、懸命に取り組む姿勢に身が引き締まる思いで、心から敬意を表します。

今般、標高成果が衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果２０１４」に改定されました。測量技術は１９９０年代後半から飛躍的に進化し、今やアナログでの測量は遺物ともいえる遠い過去のものです。その時代の流れとともに、研修会や講習会を開催し、会員全体の知識・技術力の向上に取り組んでおります。また自然災害の激甚化・頻発化や老朽化が進む社会インフラにおいて、奈良県・国土交通省と締結しております「災害時における緊急対応業務に関する協定」に備え、平成23年に県内で発生した紀伊半島大水害の災害復旧での経験や全国各被災地の業界からの情報収集により知識習得し、講習会や実働訓練を重ねながら、来る災害に向けて協会全体で対応力の強化に努めております。

現在、新技術の機器が次々登場するデジタル時代の中で極めて重要とされることは、その段階ごとに技術や経験を積み重ね、高度な技術力と豊富な経験を有する「人＝測量技術者」そして測量技術への追求と言われております。

奈良県測量設計業協会は、昭和54年の設立以来、測量設計業を営む地域企業の集団として会員一同、地域に精通したインフラの守り手として「県内の仕事は県内の業者が責任を持って果たす」という強い信念を持ち、真に人しかできない測量技術の実績を生かし、新技術の追求と自己研鑽に励んでおります。喫緊の課題に取り組んでいるところではございますが、厳しい状況が続いております。経営基盤の強化と同時に、引き続きくらしを支える「未来を創るはじまりの仕事」として「女性がいきいきと活躍する建設業」を目指し、積極的に幅広い世代へと建設産業の魅力発信に取り組んでまいりたいと思います。

測量設計業および建設産業全体の健全なる発展とともに、奈良県の安心・安全な暮らしにつながる社会基盤整備の推進に貢献してまいりますので本年もどうぞよろしくお願いいたします。

皆様のご健勝とご発展を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

公共工事の適正な施工サポートで地域建設業発展の一助に

西日本建設業保証株式会社
奈良支店長　**尾木佐知夫**

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃より当社事業に多大なるご支援ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

昨年は、1月に埼玉県八潮市で起きた大規模な道路陥没事故に端を発し、インフラの老朽化対策の必要性が改めて強く認識される年となりました。また、毎年のように線状降水帯などにより記録的な豪雨が頻発していることから、災害に対する備えの重要性についても認識が広まってきております。

こうした中、建設業界がインフラ整備の担い手として、また、災害発生時には最前線に立つ「地域の守り手」としての役割を安定的に果たしていくためには、資材価格高騰や人件費の上昇を踏まえた公共事業予算・事業量の確保、働き方改革・適正な工期設定・近年の酷暑に対応した労働環境の整備とそのための費用の確保など、まだまだ課題は山積していると承知しています。

当社は「前払金保証」「中間前払金保証」「契約保証」などの保証事業、また、グループ会社の事業を通じ、公共工事の適正な施工をサポートし地域建設業発展の一助となるよう貢献してまいります。また、皆様の利便性向上・業務効率化に資するため、保証手続きの電子化（電子保証）の普及も進めてまいります。

本年も公共事業に携わる皆様とのコミュニケーションを深め、建設産業の発展に貢献させていただく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ICT・DXの導入による働き方改革など、多面的な取り組みを

一般社団法人 奈良県空調衛生工業協会
会長 **森村彰博**

新年あけましておめでとうございます。

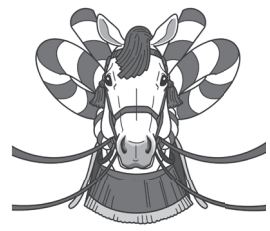
皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、奈良県出身であり、かつ女性としても初めてとなる高市早苗総理大臣が誕生し、県民に大きな誇りと希望をもたらす歴史的な幕開けとなりました。奈良から国の舵取りを行っていただけることは、地域経済の活性化や企業活動の後押しに繋がるものと期待しております。設備・建設分野においても、防災力向上、脱炭素化、省エネ推進など、国の政策と歩調を合わせながら、より良い社会基盤の整備に貢献してまいりたいと存じます。

しかしながら、私たちの業界が直面する最大の課題は依然として深刻な人手不足であります。熟練技術者の高齢化が進み、若い世代の入職も十分とは言えません。だからこそ、建設産業が社会になくてはならない「魅力ある産業」であることを積極的に発信し、若い皆さんにこの業界を選んでもらえる環境づくりが不可欠です。将来に希望を持って長く現場を支えていただけるよう、教育体制の強化、女性や未経験者が入りやすい仕組みづくり、ICT・DXの導入による働き方改革、処遇改善など、多面的な取り組みを当協会として推進してまいります。

また、行政・教育機関・地域企業との連携を深め、建設産業の価値や使命を社会全体で共有し、人材確保の機運を広げていくことが重要であります。

今後とも関係機関並びに会員皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



地域の人材育成拠点としての役割・責任を

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構　奈良支部
奈良職業能力開発促進センター(ポリテクセンター奈良)
所長 **山田裕介**

令和8年の新春を迎え、皆様には健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。旧年中は、当機構の事業運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、ポリテクセンター奈良においては、職業訓練の質の向上と地域産業への人材供給の強化を目指し、住宅リフォーム技術科などの離職者訓練の各訓練コースにおける訓練内容の充実や指導技法の向上に取り組むとともに、ポリテクセンターの訓練を受講するメリットを広く求職者の方々に知って頂けるよう広報の強化にも努めてまいりました。

また、企業の生産現場が抱える課題解決や従業員の育成を図るために実施しております在職者訓練（愛称：能力開発セミナー）においても、新規コースの企画に取り組み、建築関係では新規コースの「W造住宅の架構設計技術」の受講者満足度が100%に達するなど、多くの訓練コースで受講者の皆様から高い評価をいただくことができました。

本年は、地域産業の活性化と持続可能な社会の実現に向けて、より一層の人材育成支援を推進してまいります。特に、若年層・女性・シニア層など多様な人材の活躍を支える訓練環境の整備や、企業ニーズに即した柔軟な在職者訓練の企画と展開、そして地域との連携強化を重点施策として掲げており、地域における人材育成の拠点としての役割と責任を果たしてまいる所存です。

最後に本年が皆様にとって実りある年となるよう心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

「多様でありながらひとつ」の組織力で

奈良県広域生コンクリート協同組合
理事長 **船尾好平**

皆様、令和8年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。また平素より当協組の運営に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は国内外で様々な騒動に振り回された一年でございました。

世界では、トランプ関税による貿易戦争や限りあるエネルギー資源の争奪戦、未だ終結が見えないウクライナとロシア、緊迫が解けない中東情勢が燻っております。

国内では令和の米騒動や記録的な猛暑と少雨、クマ被害、そして石破政権から高市政権への交代で、ここ「大和の国 奈良」から日本初の女性内閣総理大臣が誕生し大きな話題を博しました。株価も一時初の5万円台を突破し、責任ある積極財政で物価高対策に取組む姿勢に国民は今度こそと大きな期待を寄せております。

一方関西では、圧巻の大屋根リングがシンボルの大阪万博が開催、多様なメッセージと共に未来への期待感を伝え大盛況を収め、また阪神タイガースのリーグ最短優勝で関西が更に盛り上がりました。

当協組は、組合員・登録販売店の両輪の潤滑油としての役割を担い、県内の防災・減災及び県民の皆様の安心・安全・快適な社会づくりに微力ながら貢献しております。相互扶助の精神で輸送問題の解消、省力化に取組み、工組と共に環境WG研究活動に勤しみ、関西広域との連携も密とし情報共有に努めた一年でございました。広域化となり5年目を迎えますが、気付けば多くの女性が活躍しており「女子会」と称して協組・両輪の垣根を越えて交流し、親睦を深めております。

本年も、需要家の皆様に品質の確保と安定供給をお約束し「多様でありながらひとつ」の組織力で盤石の体制で臨む所存でございます。

また、多様な生き方を選択できる時代に、選ばれる業界へと、より一層パワーと情熱を持って生コン産業化に向けて技術者の育成に励み、更なる経営の安定を図ってまいりたいと存じます。

結びに、建設業界の益々のご繁栄と皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

環境配慮型コンクリートの実験など取組

奈良県生コンクリート工業組合
理事長 **磯田龍治**

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新春をおむかえのこととお慶び申し上げます。

平素より奈良県生コンクリート工業組合に対しましてご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は関西において大阪万博が4月～10月の半年間で大いに賑わった中、この奈良の地においても多くの観光客が訪れたこと思います。しかし宿泊施設が少ないとか道路が混雑するなど問題が残されていると思います。

そして史上初の奈良県出身者女性総理 高市早苗総理大臣が就任されました。

奈良県のインフラ整備にも期待をしています。

生コン業界の環境におきましては昨今の原材料の高騰はとどまることがなく、業界として対策を講じております。

工業組合の技術活動としましてはCO2削減に伴う環境配慮型コンクリートの実験や戻りコン、残コンの対策を検討するワーキンググループを立ち上げております。

これからも品質管理の向上に周知徹底してまいります。

本年も皆様のお力添えをお願いし、ご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

若手従事者の確保・育成に注力

一般社団法人 奈良県設備設計事務所協会
会長 **辻　邦昭**

新年明けましておめでとうございます。

新しい年の初めを迎え、皆様には健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素は当協会活動にご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

近年、気象変動・環境問題に起因する自然災害が猛威をふるって襲いかかってきています。

建設業界とりわけ建築設備業界に携わる我々は、命を守る安心・財産を守る安全を追求し、災害に強い設備を追求して、住み良いまちづくりに努めてまいります。

昨年は、昭和45年に開催された大阪万博から55年の節目にあたり、関西万博が盛大に開催され、成功裏に終了しました。

新たな将来に向けたまちづくりが進む中、当県出身の日本初の女性首相が誕生し、新しい国づくりがスタートします。

新規事業を進めていく上で、計画・設計・施工・維持管理に携わる少子化による人材不足は、避けて通れない大きなハードルです。

人材確保の観点からも建築従事者は魅力と夢のある産業である事を引き続き発信し、若手従事者の確保・育成に努めてまいります。

今後とも関係官庁・団体・会員・賛助会の皆様のご協力を重ねてお願い申し上げるとともに皆様方の益々のご健勝とご繁栄を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

関係機関や地域社会との連携で安心・安全なまちづくりを

一般社団法人 奈良県建設コンサルタント業協会
会長 **多根井則博**

令和7年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素より（一社）奈良県建設コンサルタント業協会に格別のご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、会長就任から半年が経過し、あらためて前会長の多大なるご功績に深く敬意を表する次第です。

近年、地震や気候変動に伴う災害は年々甚大化し、さらに令和12年には建設後50年以上を経過するインフラの老朽化は、道路橋で54%、トンネルで35%、河川管理施設で42%、下水道函渠で16%と深刻な状況に直面しています。こうした中で、地域の建設コンサルタント業は、初動対応を担う「地域の守り手」として、その役割を果たし続ける責務を負っています。

これらの社会的使命を果たすためには、地域の建設コンサルタント業が健全かつ持続可能な経営を維持し、未来を担う若手技術者の確保・育成に尽力し取り組まなければなりません。そのためにも、安定的・持続的な事業量の確保を図るべく、社会資本整備の着実な推進を引き続き関係機関に訴えていくとともに、当協会が実施する各種事業を通じ、関係機関や地域社会との連携を一層深め、安心・安全なまちづくりに貢献してまいります。

結びに、皆様のますますのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げますとともに、当協会へのより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

「大阪・関西万博」に引けを取らない空間を目指して

奈良市
市　長　**仲川げん**

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より本市の建築行政に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと「大阪・関西万博」が開催され、各パビリオンにおきましては世界各地の風土や文化の特色が色鮮やかに表現されており、それぞれの国や地域が大切にしてきた暮らしや技術、自然との共生を体感できる空間に驚嘆するものばかりでした。

本市でも、国宝級とも評価される遺物が出土した富雄丸山古墳の近隣に、古墳出土遺物の展示施設、埋蔵文化財調査センター、収蔵庫、史料保存の館など（仮称）奈良市文化財センター」を建設予定です。このことにより、富雄丸山古墳の整備活用の推進や、近隣する道の駅「クロスウェイなかまち」との相互連携をとり「大阪・関西万博」に引けを取らない空間を目指します。

今後とも皆様方には、様々な角度からまちの魅力向上のために更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様にとりまして、新しい年が幸多き素晴らしい一年となりますよう心よりご祈念を申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

「暮らす価値のあるまち」という都市ブランドの確立へ

生駒市
市　長　**小紫雅史**

旧年中は本市行政にご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博が盛大に催されました。本市も4月に生駒山観光のVR体験を、5月には高山茶筌の実演を、更に7月には、お茶を通してつながった4市と連携して、展示・体験型企画「Tea（ティー）Journey（ジャーニー）～日本茶の文化と風味を楽しむ～」を開催しました。高山茶筌はクールジャパンアワードを受賞。これらを通して本市の魅力を広く世界に発信しました。

また、本市では、将来都市像の「自分らしく輝けるステージ・生駒」の実現に向けて、子育てしやすい環境をつくり、人と人とのつながりを豊かにしつつ「住む」「働く」「楽しむ」が融合し、多様な暮らし方が叶うまちへと進化する施策を進めています。

特に、まちづくりの取組としては、生駒のまちをもっと魅力的にするため、国家的プロジェクト関西文化学術研究都市高山地区第2工区や、その「玄関口」である、学研北生駒駅北地区のまちづくりが動きはじめています。その他、長年望まれていた東生駒駅のエレベーターの整備などのバリアフリー化に向けて、近畿日本鉄道㈱と協力して事業を進めています。

今後も、デジタル技術やAI、民間のサービスも積極的に活用し「暮らす価値のあるまち」という都市ブランドの確立に向けて、協創によるまちづくりを進めますので、ご支援とご協力をお願いします。

本年が、皆様にとって、すばらしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

「宇陀をもっと良くしたい」という誇りと熱量をもって

宇陀市
市　長　**金剛一智**

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成18年1月1日に大宇陀・菟田野・榛原・室生の旧4町村が理想と希望を抱き大和高原に宇陀市が誕生して20年目の春を迎えることができました。あらためて今日までご尽力いただいた皆様方に敬意と感謝を申し上げます。

「宇陀をもっと良くしたい」という誇りと熱量をもって過去からの課題を先送りせず解決へ果敢に取り組みます。そして今お住いの皆様の暮らしを第一に守ってまいります。

「公民連携」をてこにして地域活性化を進めます。国の食糧安全保障戦略の中で令和4年11月に全国初の「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。また、人材育成では国から「若者女性に選ばれるまち」に採択されるなど評価、応援していただくようになりました。

奈良、三重の6市が連携して国道165号中和津道路整備促進協議会を立ち上げ沿線地域の経済活性化、観光振興、まちづくり、国土強靭化の促進をめざしてまいります。また経産省や奈良高専、企業と連携して「中速中型自動配送ロボットの実装」へ挑戦をはじめました。

宇陀をもっと元気に！どうぞよろしくお願い申し上げます。

スポーツ公園プールと二上駅前 芝生広場からはじまる新たな街の活力

香芝市
市　長　**三橋和史**

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

香芝市では、令和8年に新たなにぎわいの拠点が2ヵ所誕生します。

一つは「香芝市スポーツ公園プール」です。本市では、市民の誰もが安全で多様なスポーツを楽しめる公園として整備を進めており、その一部であるプール施設が令和8年4月に開園します。

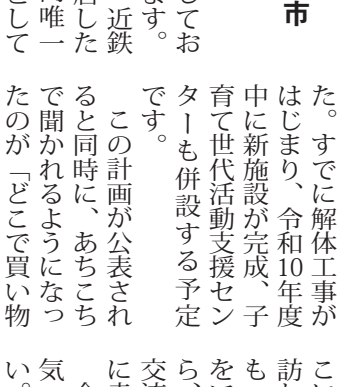
屋内にはスロープ付き25メートル温水プールとジャグジープールを、屋外には流水プール、ベビープール、キッズプール、ウォータースライダー、巨大バケツを備え、子どもから高齢者まで幅広い世代が快適に利用できる施設となります。

また、アクセス向上のためシャトルバスの運行も予定しています。

もう一つの拠点は「二上駅前芝生広場」です。同駅は、近鉄大阪線における奈良県内の急行列車停車駅以外で乗降客数が最も多く、周辺の人通りも多い場所です。こうした立地を生かし、北側駅前広場の一部を芝生化し、複合遊具等を設置して子どもたちの遊び場となるよう整備を進めています。

また、スポーツ公園プールと二上駅等を結ぶシャトルバスの運行とも連携し、市内外から子育て世代を中心として様々な世代が集まる憩いの空間として、周辺地域の更なる活性化を図ってまいります。

こうした取組を通じて、街のにぎわい創出を一層推進してまいりますので、本年も皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



市民交流施設の整備を推進

五條市
市　長　**平岡清司**

あけましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに令和8年の新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

令和を生きる今、私たちは、少子高齢化による人口減少や人口構造の変化、地域社会の変化、地球規模での環境問題など、様々な社会問題に直面しておりますが、誰もが生き生きと、安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、取り組んでいます。

本市は令和6年から県内12市で初めて公立小中学校の給食費無償化を実施しています。さらに、奨学金の返還を支援する制度の新設や、新婚生活のスタートを応援する制度の継続実施など、五條市への定住促進につなげられるような施策の推進を実行しています。

また、旧イオン五條店跡において、民間商業施設と連携した図書館機能を中心とする（仮称）五條市市民交流施設の整備を進めています。より良い市民サービスを提供する施設となるよう令和11年のオープンを目指して、取り組んでまいります。

そして、母なる清流吉野川をはじめ、市内各地で市民の皆様が楽しくわくわくするイベントを定期的に計画しており、今後も官民連携で五條市を盛り上げていきます。イベント情報、五條市支援情報はホームページをはじめ、インスタグラムなどのSNSで発信していますので是非ご確認ください。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年となりますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

秀長が残した輪は 今もここにある

大和郡山市
市　長　**上田　清**

新年、明けましておめでとうございます。

さて昭和55年、近鉄郡山駅の東に開店した「西友」は、市内唯一の複合商業施設として賑わっていましたが、平成27年に閉店となり、市民の間に衝撃が走りました。

その後同年11月、同建物で再オープンしたのが「アスモ大和郡山」で、多くの方々にご利用いただいてきたところです。

しかしながら、老朽化が進むなか、近鉄郡山駅周辺まちづくりの一環としてこの建物を解体し、その跡地に店舗付公共駐車場を建設することになりました。すでに解体工事がはじまり、令和10年度中に新施設が完成、子育て世代活動支援センターも併設する予定です。

この計画が公表されると同時に、あちこちで聞かれるようになったのが「どこで買い物をしたらいい？」というお声でした。

そこで、地元店を応援したいという願いも込め、駅周辺の店舗を紹介する「お買い物マップ」を作成、好評をいただいています。

そうしたなか、NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」がはじまりました。

秀長さんゆかりのまちとして、家臣団の結束の輪や民との信頼の輪、自治の輪など「秀長が残した輪は今もここにある」を合言葉に訪れていただく方々にも「お買い物マップ」を活用いただきながら、地元の方々と広く交流いただければ、誠に幸いに存じます。

今年も、どうぞお元気でお過ごしください。

「ハブシティ」の実現に向け、大きな飛躍の年に

桜井市
市　長　**松井正剛**

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、輝かしい初春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、全国各地で地震や風水害など災害が多数発生し、多くの方が被災されました。また、米不足による米価格の上昇をはじめとした物価上昇、クマによる被害など、改めて、市民の皆様の生活の安全・安心を守る取り組みの重要性を認識する一年となりました。

さて、昨年9月には、市域南部にある山田寺跡が構成資産となっている世界遺産候補「飛鳥・藤原の宮都」について、ユネスコの世界遺産委員会の諮問機関であるイコモスによる現地調査も行われ、本年の登録に向け、着実に進んでおります。世界遺産登録が実現できれば、桜井市は、ヤマト王権発祥の地である「山の辺地域」と、律令国家成立の地である「飛鳥・藤原地域」の歴史資産をつなぐ拠点のまちとして、重要な役割を果たすこととなります。本年が、桜井市が持つ歴史的・地理的な背景（ポテンシャル）を活かし、近隣市町村とも広域的な連携を深めて、中南和地域の歴史・文化・観光の拠点の都市、すなわち「ハブシティ」の実現に向け、大きな飛躍の年になることを願っております。

また、本年は市制施行70周年の記念すべき年であります。全国に向けて桜井市を広く発信するとともに、一年を通じて記念事業を開催し、市を挙げて祝い、先人の功績をたたえるとともに、桜井市のさらなる発展に行政の力と市民の力を結集していく所存でございます。

本年も皆様にとりまして良き年となりますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

義務教育学校の令和13年4月の開校を目指して

御所市
市　長　**山田秀士**

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、夢と希望にあふれる輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

「より良い教育環境を子どもたちへ」という思いのもと、昨年より新しい学校づくりの取り組みを進めております。市内7小学校4中学校を再編し、新たに義務教育学校1校を整備するというものであり、令和13年4月の開校を目指し、着実に準備を進めているところであります。

本市におきましても「人口減少、少子高齢化、それに伴う地場産業の担い手不足、農林資源の荒廃化」という過疎地域に共通の様々な懸案事項を抱えており、その影響は、教育機会の不均衡をも招き、将来的な社会参画、地域づくり力、地域の持続性に大きな影響を与えます。

次世代を担う子どもたちが、日常的に多様な感性に触れながら、学び、育ち、そして伝統文化、地場産業、自然体験を通してアイデンティティを確立し、地域への愛着を深めることができるよう、これまでの校種間連携も含め、プラスの要素を付加した教育環境の構築に努めてまいりたいと考えています。

「ともに拓き ともに創るござの未来」のスローガンのもと「来る人も暮らす人も 心穏やかに過ごせるまち ござ」の実現に向け、これからも全身全霊で取り組んでまいります。

結びに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

「災害に強いまちづくり」「子育てしやすいまちづくり」等を基軸に

大和高田市
市　長　**堀内大造**

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、多様化する住民ニーズに適切に対応し、安定かつ継続的な行政サービスを提供していくため、市町村連携の一環として、本市を含む周辺8市町で「公共施設の相互利用に関する協定」を締結いたしました。自治体同士が相互連携することで、市民の皆様により良いサービスを提供できればと期待しております。

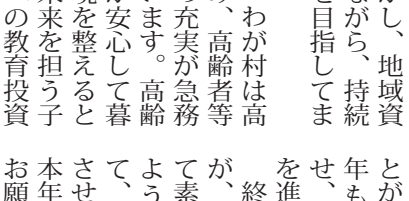
本年も「災害に強いまちづくり」「子育てしやすいまちづくり」等を基軸に、誰もが住み続けたい大和高田の実現に取り組みます。

防災・減災としては、災害から得られた教訓や課題を踏まえた地域防災計画の見直しや、避難情報の変更に基づくハザードマップの更新等により、地域のレジリエンスを高めます。

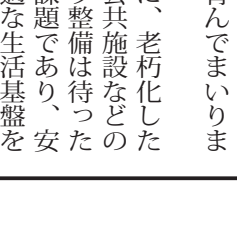
子ども・子育て分野については「こどもまんなか宣言」を掲げ、妊娠期から学齢期・若者期まで切れ目ない支援を拡充します。さらに、支援の総合窓口となる「こども家庭センター」に関連事業を集約し、相談・支援・関係機関連携を一体的に推進します。

これらに加えて「チャレンジ大和高田」として、商業施設・大型宿泊施設・大学の三つの誘致の可能性の研究を進め、平日も週末も、昼も夜も、人が集い、交流し挑戦できる大和高田を育てます。

今後も、地域内での繋がりを一層大切にし、事業者同士の共創、学校や福祉、文化・スポーツでの連携を通じ、まちの魅力と誇りを高め、子ども達が将来に希望を持てる大和高田を築いてまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願いいたします。



奈良県の中心都市として大きく発展する第一歩になる年に



橿原市
市　長　**亀田忠彦**

新年、明けましておめでとうございます。今年は60年に一度の丙午の年ですが「午」は躍動感や力強さを「丙」は太陽のような強いエネルギーを象徴し、物事が順調に進み、幸運が駆け込んでくる年、新しい挑戦に光が差し込む年と言われています。

そのような年に我が橿原市は、令和8年2月11日に市政70周年を迎え、さらなる発展の好機を迎えます。令和13年には、奈良県で2回目となる国民スポーツ大会、全国パラスポーツ大会の開催が予定され、橿原市では天皇、皇后両陛下ご臨席の開会式や、皇族の皆さまがご出席の閉会式とともに、10種目の競技が行われます。

これに伴い、奈良県立医科大学附属病院前に新駅が設置され、奈良県初となる5000人収容のアリーナも建設される計画が進行中です。橿原市では、国民スポーツ大会を契機として、市民の健康増進とスポーツ振興をさらに推進するため、橿原運動公園内に新たな体育館と屋内プールの建設計画を進めています。また、京奈和自動車道の橿原市内早期全線開通に向け、国への要望活動も行っています。また、順調に進みますと、7月に開催される国際記念物遺跡会議での評価により「飛鳥・藤原の宮都」が世界文化遺産へ登録されることになり、今後数年間で橿原市が奈良県の中心都市として大きく発展する第一歩になる年だと確信しています。

橿原市がさらに輝くまち、また、奈良県の中心的なまちとなるため、全力で取り組んでまいります。

「やまとecoクリーンセンター」が市屈指の人気スポットに

天理市
市　長　**並河　健**

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年明けをお迎えのこととお慶びを申し上げます。

令和7年度は本市を含む県内10市町村による広域化事業の新クリーンセンター「やまとecoクリーンセンター」が稼働開始しました。安全で適正なごみ処理はもちろん、廃棄物エネルギー発電や省エネによる脱炭素社会への貢献等、環境にやさしい施設として運営しています。本施設は、熱源を利用した温浴施設やフィットネスを併設しており、従来の「ごみ処理施設」のイメージを一新しました。稼働開始から平日休日とも多くの方が来場され、すでに来場者数は月1万3000人以上、7カ月累計で8万5000人を超え、本市でも屈指の人気スポットとなっています。

令和8年度はこれまでの幼保連携のこども園化の取り組みに引き続き、老朽化した山の辺小学校、柳本小学校の2校の建て替えを計画しています。単に建て替えを行うだけでなく、小学校に公民館の機能を統合し、地域連携型の学校づくりを進めています。

「これからの新しい学校の姿を天理から示す」という理念のもと、令和10年度中の供用を目指します。

建設業界並びに貴紙のさらなる発展と、皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念し、新春のご挨拶といたします。

地域資源を磨きながら、持続的な成長目指して

山添村
村　長　**野村栄作**

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年9月より、山添村長として2期目の任を預かりました。改めまして皆様のご信頼に深く感謝を申し上げます。そして、その責任の重さを胸に刻み、地域の未来に向けて一層尽力してまいります。

昨年、非常に嬉しいことに奈良県出身の高市総理大臣が誕生いたしました。このことにより、本年は郷土奈良が新たな発展の可能性を見出す年であるといえます。山添村もその流れを活かし、地域資源を磨きながら、持続的な成長を目指してまいります。

一方で、わが村は高齢化が進み、高齢者等への支援の充実が急務となっています。高齢者の皆様が安心して暮らせる環境を整えるとともに、未来を担う子どもたちへの教育投資を惜しまず、次代を築く力を育んでまいります。

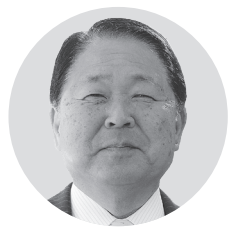
さらに、老朽化した道路や公共施設などのインフラ整備は待ったなしの課題であり、安全で快適な生活基盤を確保するため、計画的に取り組んでまいります。

村民一人一人が村に誇りを持ち、笑顔で暮らせる山添村を築くことが私の使命です。本年も皆様と心を合わせ、未来に向けて歩みを進めてまいります。

終わりになりましたが、本年が皆様にとって素晴らしい年となるよう祈念いたしまして、年頭の挨拶にかえさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

未来に向けたまちづくりを推進



安堵町
町　長　**西本安博**

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は安堵町にとりまして、昭和61年4月1日の町制施行以来、40周年を迎える大きな節目の年であります。

安堵町は奈良盆地の北西部に位置し、町内にはかつて聖徳太子が斑鳩宮と飛鳥を行き来したとされる古道「太子道」が通っており、今もその名残を残しています。また、町の南に大和川、西に富雄川、中央に岡崎川が流れ、難波の津と飛鳥を結ぶ水運の要衝として、豊かな歴史と文化がこの地に集積しました。

また、近代陶芸の巨匠である富本憲吉をはじめ、奈良県再設置の立役者である今村勤三、BCG接種を確立し予防医学の基盤を打ち立てた今村荒男など、多くの偉人を輩出しています。

多くの先人達の御尽力、そして住民の皆様のお力添えのもと、安堵町は今日まで発展してまいりました。安堵町が誇る歴史と文化を次代に繋げるとともに、世代を超えて誰もが安全に暮らせるよう、未来に向けたまちづくりを進めてまいります。

本年も皆様のご支援とご協力を賜りますようにお願いを申し上げるとともに、益々のご活躍を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

日本遺産「龍田古道・亀の瀬」を発信するビジターセンターがオープン

三郷町
町　長　**木谷慎一郎**

新しい年を迎え、皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、55年ぶりに大阪で開催された大阪・関西万博では世界最大級の木造建築物となった「大屋根リング」や多彩なパビリオンを通じ、日本が誇る技術力に触れる機会を得ました。また、世界中から来日された方々との交流で盛り上がり、世界が連帯し創り出す、輝かしい未来を体感することができました。

さて、本年三郷町は町制施行60周年という大きな節目を迎えます。この時を迎えられるのも、地域を支え続けてくださっている皆さまのお力添えがあってこそと深く感謝しています。

また、今春には日本遺産「龍田古道・亀の瀬」を発信するビジターセンターがオープンします。この施設は、江戸時代に舟航していた魚簗船の拠点であった場所に「亀の瀬東口駅」として建設され、龍田古道の歴史や文化、地域の特産品の紹介だけでなく、地形を生かしたアクティビティも体験できる場所になる予定です。古くから大阪と奈良をつなぎ続けてきたこの場所を、たくさんの方々が立ち寄っていただける「交流の場」として、また、新たな観光拠点として、地域ににぎわいをもたらすことを心より期待しています。

結びに、本年が皆様におかれまして、笑顔と希望に満ちた一年となることを願い、今後とも末永いお力添えをお願い申し上げます。

将来世代に誇れるまちづくりに向けた挑戦

斑鳩町
町　長　**中西和夫**

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申しあげます。

私事ながら、昨年11月の町長選挙で、引き続きご信任を賜り、3期目の重責をお預かりすることとなりました。身の引き締まる思いとともに、これまでの歩みを確かな成果へ結びつけ、次代へ引き継ぐ覚悟を新たにしております。

昨年は、藤ノ木古墳の第一次調査から40周年の年であり、多くの方に足をお運びいただきました。先人の営みと文化を今に伝える斑鳩の歴史資源は、私たちに学びと誇り、そして未来への指針を与えてくれます。今後も、文化財の保存・活用を一層進め、学術・教育・観光の各分野で町の価値を高める取組を継続してまいります。

また、来年は斑鳩町制80周年という大きな節目を迎えます。80年の歴史に敬意を表しつつ、将来世代に誇れるまちづくりに向けた挑戦を続けてまいります。

特に、JR法隆寺駅南側のエリアについては、奈良県西和医療センターの移設をはじめ、交通網の整備など、町だけでなく国や県との連携が不可欠です。生活道路の安全対策や渋滞緩和、観光の周遊性を高める広域アクセスを着実に整え、にぎわいのあるまちづくりの基盤としていけるよう努めます。

斑鳩町の確かな強み、世界に誇る文化財、温かなコミュニティ、堅実な基盤を磨きあげ「住み続けたい」「訪れたい」と思っていただける町へ、具体的な成果で応えてまいります。

子どもたちが安心して学べる教育環境の確保など

平群町
町　長　**西脇洋貴**

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

平群町では、近年の激甚化する自然災害に備え、地域防災力の一層の向上を図るべく、消防団や関係機関と連携した実践的な訓練の充実を進めてまいりました。加えて、令和7年度には複数の民間企業と防災協定を締結いたしました。災害支援物資や宿泊施設の提供、災害発生時の産業廃棄物処理など、多方面から災害への備えを固め、生活基盤の安全性の強化に確実に取り組んでおります。

そのほか、各小・中学校の施設についても長寿命化計画が本格的に稼働してまいります。計画的な改修や機能更新を進めることで、平群町の未来を担う子どもたちが安心して学べる教育環境の確保に取り組んでおります。

また、深刻化する少子高齢化・人口の減少に対しては、結婚や子育てを支える各種支援制度の充実に加え、地域の空き家の利活用も積極的に推進することで移住・定住の促進を図っております。実際空き家バンクを利用し、町内に住まれている方へのインタビューや、空き家バンクへの登録など、住まいの循環と地域活力の向上を図り、平群町への移住・定住を促進に取り組んでまいります。

本年も、町民の皆様の声を大切に、誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくりに全力で取り組みます。

皆様のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

誰もが未来への希望を持ち住み続けたいと思えるまちづくり

上牧町
町　長　**阪本正人**

皆様には健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。平素は本町行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和8年の幕が開けました。私事ではありますが、町長としてはじめての新春を迎えさせていただきます。

「誰もが未来への希望を持ち 住み続けたいと思えるまちづくり」をスローガンに、五つの政策を掲げました。そのうちの一つである「学びの環境で選ばれるまちづくり」では、本年4月に本町2校の中学校が統合し、新たな中学校が誕生します。新中学校の開校に当たり「学ぶ・つながる・創造する」を基本とした統合コンセプトを設定し、学校教育目標は「4つの育み」を掲げました。急速に変化する社会の中で、子どもたちには思考力や判断力などの資質、能力の育成が重要となり、統合し、互いの良さを持ち寄り団結することで、子どもたちの学びの環境が豊かに育まれると考えます。子どもたちが郷土を知り、地域を愛し、地域の未来を創造していく存在へ成長していくことが、本町の希望であります。

「学校・家庭・地域」の協働をさらに進め、子どもたちが誇りをもって学べる環境づくりにこれからも全力で取り組んでまいります。

また、廃校施設の有効活用については、地域の実情や、ニーズを踏まえながら計画を進めてまいりたいと考えております。午年は「前進」「成功」を象徴する年といわれています。漸進的にしっかり取り組んでまいります！本年も皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

リニア時代と言われる次の100年に向けて新たな一歩を

王寺町
町　長　**平井康之**

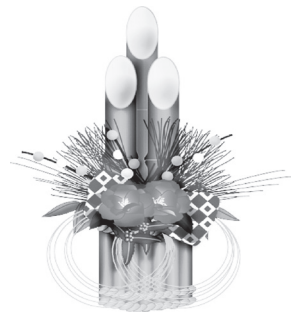
本年、大正15年2月11日に町制施行以来、100周年という重要な節目を迎えます。

これは町民の皆様をはじめ、歴代の町政発展にご尽力いただいた関係者の皆様方のご支援とご協力のおかげであり、深く感謝申し上げます。

昨年6月より100周年を冠とした記念事業では、多様なイベントを開催し、町の歴史や魅力を改めて感じていただく機会を提供できたと考えております。中でも、奈良県知事や多くの来賓をお迎えした町制施行100周年記念式典や「王寺ミルキーウェイ」での約1万5000人の来場者は、町の活気を象徴するものとなりました。また、2月11日には、当日イベントとして「100人の合唱隊」を王寺町文化福祉センターにて開催し、町民の皆様との絆を深めるコンサートとなる予定です。

多くの先人たちにより築き上げられた100年の歴史に敬意を表しながら、リニア時代と言われる次の100年に向けて新たな一歩を踏み出し、誰もが安心して暮らせる持続可能で魅力あるまちづくりを町民の皆様とともに推進してまいります。

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

株式会社 ミズハ
Mizuha Co.,Ltd
（旧社名：株式会社原田鑿井設備工業所）
代表取締役　原田芳朗
本　社 〒639-1123 大和郡山市筒井町９３３－１
TEL0743-56-8880㈹ FAX0743-56-8877
URL https://www.sakusei.co.jp

総合建設資材
株式会社 沖野
代表取締役　沖野雄三
生駒郡平群町梨本４０５－１
ＴＥＬ（０７４５）４５－０００８
ＦＡＸ（０７４５）４５－６２００
E-mail:sales@okino.co.jp

広く社会とのコミュニケーションを図り、
より良い環境作りに積極的に取り組む会社を築いています。
総合建設業
株式会社 楠本工務店
代表取締役　楠本康則
ISO9001 ISO14001 認証取得
生駒郡三郷町勢野東6丁目14番24号
TEL.0745-73-1171

総合建設業
株式会社 田野上組
代表取締役　田野上　辰也
ISO9001:2015 認証取得　ISO14001:2015 認証取得
吉野郡十津川村池穴１５４
ＴＥＬ（０７４６）６７－０２８０
ＦＡＸ（０７４６）６７－０１７０

2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health
水と木の資源を守る LIMEX
High Quality Water
株式会社 岡本設備
ISO 9001／ISO14001／ISO45001　認証取得
代表取締役　岡本数博
〒639-0214　奈良県北葛城郡上牧町上牧３３５２－６
TEL0745-77-5541 FAX0745-79-5207
https://www.okamotosetubi.co.jp

迎春

旧年中は格別のご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます
本年も一層のご愛顧を賜りますよう
お願い申し上げます

令和八年　元旦

王寺町建設業協会

会長
㈱楠本工務店　代表取締役　楠本康則　王寺町元町三―二七九〇　☎〇七四五―七三―一一七一
㈱正心建設　代表取締役　森　康幸　王寺町畠田八―一七四四―三　☎〇七四五―四九―〇〇八五
㈱西谷建設　代表者　西谷道代　王寺町久度三―七―一一　☎〇七四五―七三―二六三五
㈱春山組　代表取締役　春山知昭　王寺町元町二―一四―二一―一　☎〇七四五―三一―五五一〇
副会長
㈱清川組　代表取締役　清川大輔　王寺町元町一―二―一一　☎〇七四五―七二―二七八一
㈱北西興業　代表取締役　春山芳徳　王寺町元町二―一四―二一―一　☎〇七四五―三一―五五〇一
㈱賢土木開発　代表取締役　覚野賢二　王寺町元町二―六―一一　☎〇七四五―三二―三〇〇二
㈱北川工務店　代表者　北川一男　王寺町葛下一―五―八　☎〇七四五―七二―五六九四
会計
㈲和興建設　代表取締役　辻本高志　王寺町本町四―四八―一一　☎〇七四五―七二―七四七八

迎春

旧年中は格別のご厚情を賜り有難く厚く御礼申し上げます
本年も地元斑鳩町を始め、
地域の発展に努めてまいりますので
一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます

斑鳩町建設業協会

㈲アオキトミイ工業　代表取締役　山岡玖江　斑鳩町興留東一―五―一九　☎〇七四五―七四―二七二六
㈱青山組　代表取締役　青山雄之　斑鳩町法隆寺北一―一四―一五　☎〇七四五―七四―〇五一八
奥野興業造園土木　代表者　奥野繁良　斑鳩町目安北三―三―二四　☎〇七四五―七四―〇二五八
㈲栗原工務店　代表取締役　栗原義幸　斑鳩町法隆寺東一―七―一八　☎〇七四五―七四―二七七四
㈲清水土木　代表取締役　清水悦子　斑鳩町法隆寺二―一〇―一〇　☎〇七四五―七四―五一五一
田口工務店　代表者　田口悟　斑鳩町法隆寺東一―四―二〇　☎〇七四五―七四―五六七七
㈱楠本建設　代表取締役　冨井啓詞　斑鳩町法隆寺東一―一―九　☎〇七四五―七四―二四五六
㈱二隆建設　代表取締役　妻野ひかり　斑鳩町稲葉車瀬一―一五―一　☎〇七四五―七四―二〇三八
㈱橋本建設　代表取締役　橋本時雄　斑鳩町服部一―四―一三　☎〇七四五―七四―二四四六
㈲福井工務店　代表取締役　福井孝司　斑鳩町興留一―六―三一　☎〇七四五―七四―五三〇三
㈱松田建設　代表取締役　松田るみ子　斑鳩町服部二―二二―一五　☎〇七四五―七五―六七五八

〈五十音順〉

閉校した小学校が活気 あふれるコミュニティの場に

河合町
町　長　**森川喜之**

穏やかで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪・関西万博が開催されて世界中の注目を集めました。未来への夢と希望を与えると共に、多方面にわたり経済効果をもたらしたことは記憶に新しいところです。

一方で、人命に関わる深刻な問題として、インフラの老朽化が浮き彫りになりました。また、地球温暖化による「異常気象」の影響が幅広い分野に及び、災害による被害が増加し、農業・漁業にも甚大な被害をもたらしました。人口問題では、引き続き人口減少・少子高齢化が進んでいます。

私たちを取りまく社会・環境は急変しており、迅速な意思決定が求められています。その中で、持続可能な町政運営を行い、住民の生活の質を高める施策を進めることが至上命題であると考えています。

その取り組みの一例として、閉校した小学校を整備・利活用し、大型の防災備蓄倉庫を設け、老朽化した町立体育館と中央公民館を移転しました。敷地全体を高機能な避難場所機能を有する施設とすると共に、活気あふれる新たなコミュニティの場として広く住民の皆さまに活用されています。

さて、今年は午年です。課題は山積していますが、住んで良かったと思えるまちづくりを目指し力強く駆け抜け、躍動する一年とする所存です。

結びに、皆様方の益々のご健勝と、ご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

次の50年に向け、新たな出発

川西町
町　長　**小澤晃広**

「町制50周年」を迎えた令和7年「結崎駅併設施設 えきのキッチン」「こども・子育て広場 もくいく」「オーバルパークかわにし」の3施設が完成いたしました。これらの新施設はもちろん、人と人、人と町が「ちかい町」である特徴を活かし、川西町での幸せな暮らしの実現、持続可能な未来の実現を目指してまいります。

「結崎駅併設施設 えきのキッチン」では、1か月あたり30店を超える川西町や周辺地域の出店者様が工夫を凝らしたお菓子やお弁当を、日替わりで販売をして下さっており、さらなる賑わいづくりにチャレンジしてまいります。

「こども・子育て広場 もくいく」は、オープンから半年で7000名の方々がご利用登録をいただく等、大変賑わっています。更に子育て支援の強化や、多世代での交流促進を図ってまいります。

「オーバルパークかわにし」は、大和川の増水時に河川の水を貯める遊水地の上面を利用して設置した、日本初の国際基準に準拠したインラインスピードスケートのオーバルトラックを備えた公園で、7年はインラインスピードスケートの全国大会を開催いただきました。8年春には、一般の方にもご利用いただけるようグランドオープンする予定です。

次の50年に向け「ちかい町かわにし」をキャッチフレーズに、多彩なチャレンジを進める川西町に、ご注目をよろしくお願い申し上げます。

新たな産業拠点の創出に向けて、 インフラ環境整備を

広陵町
町　長　**吉村裕之**

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管の破損に起因する道路陥没事故をはじめ、11月には沖縄県の水道管破損による大規模断水など、インフラの老朽化という社会問題が多くの人々に影響を与えることが顕在化した一年となりました。

インフラの老朽化問題以外にも、近年は災害の激甚化・頻発化が顕著となり、幸いにも本町では大きな災害は発生していないものの、大災害への備えとして、地域の防災力を高めることの重要性は日々増していると感じております。広陵町では、浸水被害を軽減するために平成緊急内水対策事業として町内3カ所で調整池整備を進めており、本年3月には古寺川調整池（貯留量約3万立方㍍）が完成いたします。残る2カ所の調整池についても、引き続き整備を進める予定です。

また、かねてから事業を推進してまいりました箸尾工業団地が昨年4月に完成し、6月には多数の関係者にご参列いただき、盛大に完成式典を催しました。すでに本地区では8社の企業進出が決定し、操業に向けた工場立地が進み、本町の発展に寄与するものと期待しています。

加えて、県道中和幹線沿線の大塚地区など、新たな産業拠点の創出に向けて、周辺道路等のインフラ環境整備を、行政、民間事業者の皆さまと共に進めてまいります。

地域の発展にとって公共事業によるインフラ整備は欠かせず、国土強靭化対策をはじめとした支援策より協力いただいている国や奈良県、そして、広陵町を支える建設関係事業者の皆様方には大変感謝しております。

「住民対話で、明日をつくる。」をスローガンに、これからも町民の命と暮らしを守る重要な責務を果たしてまいります。

子ども達に残したい 学校のあり方を検討

三宅町
町　長　**森田浩司**

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

本町の複合機能を備えた新たな施設、三宅町交流まちづくりセンターMiiMoもオープンより4年が経ち、町内の方々の利用はもとより町外、県外からの利用者も増え、おかげさまで公共施設としては高い水準の稼働率を保っております。また、全国各地からたくさん視察にきていただいており、お互いのまち、施設が持つ魅力や課題等の情報交換も行っているところです。

「こどもたちが、まちのみんなが、もっと三宅を好きになるために」をモットーに、今後も様々な企画を通して一人でも多くの町民の皆様の伴走が出来ればと思っております。

また、本町におきましては令和11年に築60年を向かえる三宅小学校の建て替えが控えております。小さな町にとって学校の建て替えは100年に1度の大事業とも言えることです。そこで「もし三宅町に新たな学校を作るなら」というテーマでワークショップを開催するなど「未来の学校プロジェクト」という取組を始めております。このプロジェクトを通じ、昨今すごい勢いで変化を求められる学校教育の中身を町全体で考える機会にし、未来の三宅の子ども達に残したい学校のあり方についてしっかりと対話を続けたいと考えております。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますように心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

いよいよ、「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録へ 明日香まるごと博物館づくりは佳境に

明日香村
村　長　**森川裕一**

今、世界中でウクライナやガザ地区などの戦いが続き、地球温暖化による豪雨・洪水・干ばつ・山火事などの災害が拡大しているなか、国内においては、世界に類のない少子高齢化、先の見えないインフレ・物価高、急速に進む地方の人口減少・熊などの獣害の増大と、様々な課題が山積しています。

一方、昨年10月から、働く内閣を謳って奈良県初、女性初の総理のもと、高市内閣が誕生し、日本の国を強く豊かにし、地方の暮らしと安全を守り、元気を起してくれるものと確信しています。

そのようななか、明日香村は、昨年秋に世界観光機構よりベストツーリズムビレッジに認定され、今年夏にはいよいよ「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録がなされるものと期待しております。加えて、高松塚古墳壁画の保存管理公開活用施設の建設が加速化しております。併せて、昨年夏には長谷工コーポレイションがブランシエラビラ石舞台テラスをオープンし、来年には星野リゾートが「星のや飛鳥」を開業されるともお聞きしています。明日香村では、世界遺産登録を機に「にぎわいの街づくり」が本格的にはじまります。

明日香村が、豊かさと誇りが溢れる活力ある村へと歩み出せるよう令和8年「飛躍の年」となりますよう努めますので、皆様方のご支援ご協力もよろしくお願いします。

町内事業者との協働で 新たな産業の創出を目指して

田原本町
町　長　**高江啓史**

新年明けましておめでとうございます。

年初にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

さて、昨年道の駅レスティ唐古・鍵は、おかげさまで創業7周年を迎え、令和6年度には過去最高となる4億円の売上を記録いたしました。これもひとえに、皆様のご協力のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。

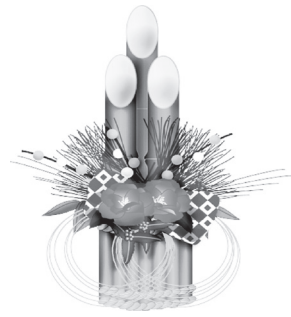
また、町内産業の発展のため多くの地元事業者の皆様の大変なご尽力はもとより、町では企業誘致を通じた土地利用の促進にも力を尽くしてまいりましたが、今後は国による農用地除外の規制強化に伴い、これまで以上に工夫が求められる状況となっております。

そのような中、町では新たな産業の集積と地域産業の振興を図るため、ReGACY Innovation Group株式会社、奈良中央信用金庫、田原本町商工会と「新産業創出による地域活性化に関する連携協定」を締結し「たわらもとReBORNプロジェクト」を令和7年1月に始動させました。

今後は奈良中央信用金庫旧本店をイノベーション拠点とし、有力な技術やアイデアを持つスタートアップ企業や起業家を誘致し、町内事業者との協働によって新たな産業の創出を目指してまいります。

本年も引き続き、持続可能なまちづくりの実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年



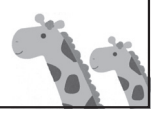
本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

建造物解体工事・斫り工事・土木工事
アスベスト除去工事・産業廃棄物収集運搬業

株式会社 山崎産業

代表取締役　山崎和英

本　社　奈良県北葛城郡広陵町大字三吉1731番地1
TEL（0745）55−6880
FAX（0745）55−6147
E-mail yamasan@wing.ocn.ne.jp　https://y-industry.co.jp



総合建設業

有限会社 中山組

代表取締役　中山一夫

北葛城郡広陵町百済1247
TEL（0745）55−0209
FAX（0745）55−7313

総合建設業

株式会社 乾興業

代表取締役　乾　恭幸
専務取締役　乾　真規

北葛城郡広陵町百済928−1
TEL（0745）㊺2074
FAX（0745）㊺9012
E-mail msk-0721@sound.ocn.ne.jp

土木・建築一式工事
とび・土工・解体工事
斫り工事
産業廃棄物収集運搬業

株式会社 米川組

代表取締役　米川誠郎

〒634−0102　奈良県高市郡明日香村大字奥山630番地
TEL（0744）54−2139
FAX（0744）54−4581

総合建設業

㈱かねまつ建設

代表取締役　松本佳孝

〒634−0112　奈良県高市郡明日香村島庄222
TEL0744−54−3349
FAX0744−54−3379
E-mail kane3349@athena.ocn.ne.jp

ISO 9001:2015 認証取得
ISO 14001:2015 認証取得

電気設備工事一式

株式会社 倭電気

代表取締役　田ノ上昌幸

北葛城郡広陵町沢495
TEL（0745）56−5423
FAX（0745）56−4111

未来に残す地球環境

●産業廃棄物中間処理 ●産業廃棄物（建設廃棄物）収集・運搬 ●一般廃棄物収集・運搬
産業廃棄物処理許可番号009597号

南部環境開発株式会社

ISO14001:2015認証取得

代表取締役　北川秀修

〒636−0246 奈良県磯城郡田原本町千代580番地の4
TEL(0744)33−1003㈹　FAX(0744)33−2425
URL https://www.nanbu-kk.co.jp/

おかげさまで52年　1974−2026

内装仕上工事一式
国土交通大臣許可(般−7)第29616号

株式会社 マエダ装飾

代表取締役　前田浩人

〒636−0221　奈良県磯城郡田原本町八田398−1
TEL（0744）33−0787㈹
FAX（0744）33−0784

建造物解体・土木工事
斫　工　事・収集運搬　} 一式請負

株式会社 竹島組

代表取締役　竹島常裕

磯城郡田原本町薬王寺314−2
TEL（0744）32−4794
FAX（0744）32−7411
E-mail:qqrs2s29@air.ocn.ne.jp

建築・土木・鉄筋加工組立一式
県知事（般−7）第5745号

辻本鉄筋工業

代表者　辻本三男

加工場　橿原市石川町488−1
TEL（0744）㉗6719
磯城郡田原本町味間70−8
TEL（0744）㉝3031
FAX（0744）㉜8521

“未来を築く、信頼も築く”

永建株式会社

代表取締役　永田　功

本社：〒636−0202 奈良県磯城郡川西町結崎747−66
支店：〒632−0086 奈良県天理市庵治町740
TEL0743−64−3751 FAX0743−64−3731

私たちは地域社会の発展に努めます

山添村建設業協会

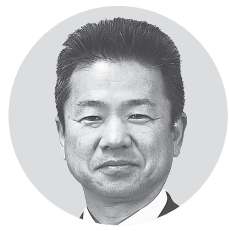
窪田建設　山添村峰寺一五九　☎（〇七四三）八六−〇四五〇
㈱栗田建設　山添村西波多四五一九−三　☎（〇七四三）八五−〇九四五
㈱コミナミ　山添村広瀬一三八　☎（〇七四三）八五−〇五〇〇
巽工務店　山添村箕輪一五五三　☎（〇七四三）八七−〇七一七
㈱寺島組　山添村葛尾六二　☎（〇七四三）八七−〇九八六
㈱松下組　山添村岩屋一三七〇　☎（〇七四三）八七−〇二二五
宮坂工務店　山添村毛原六〇八　☎（〇七四三）八七−〇八七五
㈱脇組　山添村遅瀬一二一三−二　☎（〇七四三）八五−〇〇一三
〈五十音順〉

謹賀新年

旧年中は格別のご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます
本年も一層のご愛顧を賜りますよう
お願い申し上げます

令和八年　元旦

未来へつなぐ新たな一歩
――町制70周年を見据えて――



吉野町
町長　**中井章太**

新年あけましておめでとうございます。皆様には穏やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博の開催において、町としてもその機運を見据えながら、吉野の魅力を発信する取組を進めてまいりました。万博会場では、奈良県ブースを通じて本町の木材や文化が紹介され、多くの来場者に吉野町の資源の魅力を知っていただく機会となりました。また、奥村組と旧吉野小学校跡地利活用事業に関する契約を締結し、令和9年4月のオープンに向けた新たな拠点づくりがいよいよ本格始動いたしました。町の未来を見据え「地域の活性化と交流拠点創出」へと繋がる大きな一歩を踏み出す一年となりました。

喫緊の課題である役場庁舎の老朽化に伴う新庁舎整備事業につきましては、将来のまちづくりを見据えた、安全で安心して利用できる庁舎の実現に取り組んでまいります。併せて、人と経済が循環する拠点形成や行政サービスの維持・向上をめざしたまちづくりを進めてまいります。

そして令和8年度には、町制施行70周年を迎えます。これまで町を築いてこられた多くの先人の努力に感謝しながら、次の時代へつなぐ節目の年として、より誇りある吉野町を目指して歩みを進めてまいります。

本年が、皆様にとって笑顔あふれる一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「いつまでもみんなで誇りの持てる水源地の村づくり」を

川上村
村長　**泉谷隆夫**

新年あけましておめでとうございます。川上村の村民の皆様をはじめ、奈良県内の県民の皆様にとって、令和8年が健やかで喜びに満ちた一年となることを心よりお祈り申し上げます。

昨年は村長としての任を拝し、村民の皆様とともに新体制の一年目を歩みました。本年は、その基盤をさらに深め、実行が成果として結実していく一年としたいと考えております。

「安心安全の村づくり」では、防災体制の強化や生活インフラの整備を継続し、誰もが安心して暮らし続けられる村の実現に取り組みます。「林業・木材産業の振興」については、林業・木材業を支える仕組みを総合的に見直し整理を行い、流通・販売・人材を含めた構造の全体最適を図りながら、吉野林業の再興につなげてまいります。

また、地域経済の活性化については、村内外との交流や事業活動を通じ、さらなる地域循環の拡大を図ります。さらに「福祉の充実」「教育・子育て支援の拡充」にも取り組み、全ての世代が安心して暮らし続けられる村を目指し、その基盤を確かなものとしてまいります。

本年も「いつまでもみんなで誇りの持てる水源地の村づくり」を合言葉に、村民の皆様と力を合わせ歩みを進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

村内主要幹線道路の整備で更なる産業振興に期待

天川村
村長　**車谷重高**

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。天川村では「美しい自然、悠久の歴史、心やすらぐ源流のむら天川」を将来像に「みんなで支え合う、思いやりのあるむらづくり」「村民と行政の協働によるむらづくり」「持続可能な開発（SDGs）をめざすむらづくり」の三つを基本姿勢に据え、連綿と受け継がれてきた歴史・文化を活かした村づくりや産業の活性化に取組を若い世代の定住や子育て支援につなげていく事がむらづくりの基本姿勢であると考えております。

具体的には観光産業の振興と新たな価値づくり「企業の森」に代表される林業振興と雇用の創出、洞川夏イチゴやトラフグの陸上養殖などの農業・水産の新しいブランドの創出などを強く推し進めております。

特に観光については、これまでの取り組みの成果が出始め、年間100万人を超える観光客の来訪があり、観光シーズンには村内の主要となる地域の狭隘区間において慢性的な渋滞が発生するようになっております。

産業振興に道路整備は不可欠であり、村内主要幹線道路である国道309号・主要地方道高野天川線・県道大峯山公園線の整備を行う事で更なる産業の振興が期待できると考えております。またこの道路は紀伊半島を東西に繋ぐ数少ない路線であり、紀伊半島アンカールートを補完するルートとして地域の安心安全を守るために積極的に県や国への要望活動を継続してまいります。

最後となりますが、本年が皆様にとりまして実りある年になりますよう心から祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

春頃、診療所が庁舎敷地内に開所

下北山村
村長　**南　正文**

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和7年6月に「下北山スポーツ公園」が「道の駅 きなりの郷下北山」として登録され、また奈良県で2番目となる「防災道の駅」にも選定されました。

今年度開駅を目指し、現在旧JAショップを観光案内・特産物販売所として整備を進め、また既存トイレのバリアフリー化、テニスコートクラブハウスの1階部分をコインランドリーとして改修しています。国道169号の土砂崩れの影響のほか、様々な要因により村の観光入り込み客数が減少する中、下北山スポーツ公園全体が道の駅に登録されたことは本村の観光振興の起爆剤になるものと期待しており、海と山を結ぶ道の駅として、近隣市町村の観光力、防災力に努めてまいります。

そして、本村では令和6年度から庁舎敷地内に新たに施工しておりました診療所の移転新築工事が完成し、現在外構工事・医療機器・備品等の導入を行っており、令和8年春頃に開所を目指しています。

下北山村は、人口が少なくても都市とは異なる独自の価値を持っている村です。

村特有の多様で豊かな地域資源を活用することにより、今までとは違う新たな生活の仕組みづくりやビジネスを興すことができる人材の育成、あるいは人材を呼び込むことによって、人口減少社会における新しい仕組みを構築し、持続可能な村づくりを進めていかなければならないと考えております。

結びに、本年が皆様方にとりまして、健やかで幸多い年となることを心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

地域の魅力を最大限に発揮できる環境づくり

黒滝村
村長　**植田忠三郎**

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。天川村では「美しい自然、悠久の歴史、心やすらぐ源流のむら天川」を将来像に「みんなで支え合う、思いやりのあるむらづくり」「村民と行政の協働によるむらづくり」「持続可能な開発（SDGs）をめざすむらづくり」の三つを基本姿勢に据え、連綿と受け継がれてきた歴史・文化を活かした村づくりや産業の活性化に取組を若い世代の定住や子育て支援につなげていく事がむらづくりの基本姿勢であると考えております。

具体的には観光産業の振興と新たな価値づくり「企業の森」に代表される林業振興と雇用の創出、洞川夏イチゴやトラフグの陸上養殖などの農業・水産の新しいブランドの創出などを強く推し進めております。

特に観光については、これまでの取り組みの成果が出始め、年間100万人を超える観光客の来訪があり、観光シーズンには村内の主要となる地域の狭隘区間において慢性的な渋滞が発生するようになっております。

産業振興に道路整備は不可欠であり、村内主要幹線道路である国道309号・主要地方道高野天川線・県道大峯山公園線の整備を行う事で更なる産業の振興が期待できると考えております。またこの道路は紀伊半島を東西に繋ぐ数少ない路線であり、紀伊半島アンカールートを補完するルートとして地域の安心安全を守るために積極的に県や国への要望活動を継続してまいります。

最後となりますが、本年が皆様にとりまして実りある年になりますよう心から祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

村内9つのブロックに防災拠点の整備を

十津川村
村長　**玉置広之**

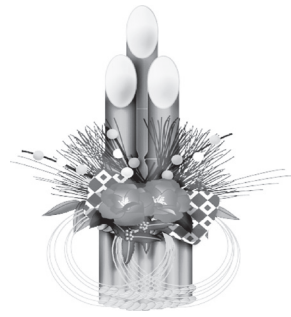
新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのことをお慶び申し上げます。私は昨年4月に十津川村長に就任させていただきました。

「命の道」国道168号五條・新宮道路におきましては、国による直轄権限代行事業を村内3カ所で実施していただいています。道路の早期整備などの要望活動におきましては、資材価格や人件費の高騰により、前年以上の事業量を確保するためには、これまで以上の予算が必要となります。このことから、昨年6月に閣議決定された「第1次国土強靭化実施中期計画」に基づいて、当初予算や補正予算をしっかりと確保していただけるよう国土交通省や財務省、国会議員の先生方に要望を行っています。あわせて、近畿地方整備局の体制強化と「奈良南部災害復旧対策出張所」の恒久的な設置についても要望しています。

また、本村におきましては、今後発生が危惧されております南海トラフ巨大地震を想定し、村内九つのブロックに防災拠点の整備を進めていきたいと考えています。災害時には、避難所として災害対策本部としっかり情報伝達ができ、平常時にも地域の安心拠点として利用できる機能を有した拠点にするため、住民の皆様の意見も聞きながら検討していきます。

結びに、本年も皆様にとりまして幸多き年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

ISO 9001
ISO 14001
認証取得

綜合建設業
株式会社 上田工務店

代表取締役　上田秀幸
専務取締役　上田幸宗

本　店　奈良県吉野郡吉野町宮滝272−3
〒639−3443　TEL.0746（32）8700㈹
FAX.0746（32）8827
本　社　奈良県橿原市五井町228−4
〒634−0832　E-mail:info@uedakoumuten.co.jp

総合建設業
健康経営優良法人 2025
株式会社 辰巳組

代表取締役　辰巳伊佐子

奈良県吉野郡吉野町南大野387番地1
TEL（0746）36−6018,6104
FAX（0746）36−6102
http://www.tatsumigumi.co.jp
ISO 9001:2015 認証取得
ISO 14001:2015 認証取得

総合建設業
株式会社 車谷建設

代表取締役　皿谷竹弥

〒638−0431　奈良県吉野郡天川村大字洞川632−1
TEL（0747）64−0777
FAX（0747）64−0711

土木・一般貨物自動車運送業
有限会社 キクヨシ

代表取締役　菊川　富士大

吉野郡大淀町桧垣本721−1
TEL（0747）㊿5770
FAX（0747）㊿8403

電気設備工事 設計 施工
山本電気商会株式会社

代表取締役　山本直寛

〒639−3807　奈良県吉野郡下北山村下桑原13番地
TEL（07468）6−9010
FAX（07468）6−9011
E-mail:yamamoto.dennkisyoukai@kcn.jp

株式会社 城内組

代表取締役　城内　義裕

本社 〒639−3542 奈良県吉野郡川上村西河626
TEL 0746−53−2425　FAX 0746−53−2755
営業所 〒634−0045 奈良県橿原市石川町286−1（ラフレーズ巻口101）
TEL 0744−47−2771　FAX 0744−47−2830
E-mail:info@jyonai.co.jp
ISO9001・ISO14001 認証取得

株式会社 大和建設

代表取締役　清水巖一

〒638−0812
奈良県吉野郡大淀町桧垣本2214−18
TEL0747−52−9012
FAX0747−52−9013

Dream Pursue Challenger

総合建設業
ISO9001／ISO14001認証取得
太田建設株式会社

代表取締役　太田知一

吉野郡十津川村小原315−2
TEL（0746）63−0555
FAX（0746）62−0025

建築業
柳瀬工務店

代表者　柳瀬憲三郎

吉野郡十津川村川津706−11
TEL・FAX（0746）67−0309

総合建設業
㊊福田建設株式会社

代表取締役　福田　眞里子

吉野郡野迫川村大字中30−1
TEL（0747）37−2635
FAX（0747）37−2838

下北山村建設業協会

(株)東田組　代表取締役 東田勝一　☎〇七四六八−五−二〇八三
(有)大進工業　代表取締役 田中尋仁　☎〇七四六八−六−〇一三四
(有)大崎組　代表取締役 大崎剛　☎〇七四六八−六−九二〇〇
(株)田中建設　代表取締役 田中耕二　☎〇七四六八−六−〇四一八
(株)北山工業　代表取締役 中谷守孝　☎〇七四六八−五−二一三二
平和建設(株)　代表取締役 吉川文雄　☎〇七四六八−六−〇六一二
(株)光栄建設　代表取締役 下垣内英也　☎〇七四六八−五−二〇三〇

（五十音順）

黒滝村建設組合

組合長　辻内章浩
組合員一同

事務局　吉野郡黒滝村寺戸295−1
TEL0747−62−2048

無人化された壺阪山駅舎の活用を検討

高取町
町　長　**中川裕介**

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

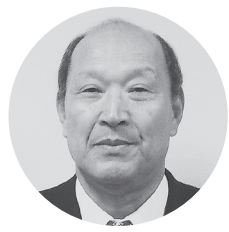
さて、昨年は私が平成26年2月に村長に就任してから11年余りが経過する年となりましたが、村政運営の付託を受けて以来、私の村づくりに対する基本的な認識は「住み続けたい故郷曽爾村　小さくとも光り輝くオンリーワン　ぬるべの郷曽爾村」を目指すものであり、曽爾村の素晴らしい豊かな自然、歴史と風土に恵まれた伝統文化、地域資源などを次世代へ引き継ぎ、農林業や観光の振興・地域の活性化・定住の促進、子育てや高齢者支援などに取り組んでまいりました。

観光事業におきましては、毎年ススキの見頃となる秋の行楽シーズンには、曽爾高原へ多くの観光客が来られます。昨年は、灯籠の老朽化などにより中止となっていた曽爾高原山灯りイベントを3年ぶりに復活いたしました。さらに、多くの観光客の受け入れ環境の整備、観光の振興促進のために曽爾高原付近に森林公園をオープンしました。

インフラ整備では、曽爾高原へのアクセス道における道路改良事業、村道舗装修繕工事、簡易水道管布設替工事などを引き続き進めていくことで、持続可能な村づくりの実現に向けて努めてまいります。

結びに、本年も皆様方にとりまして夢と希望に満ちた幸多き年となりますことを祈念申し上げまして、年頭の所感といたします。

曽爾高原へのアクセス道における整備を継続



曽爾村
村　長　**芝田秀数**

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は、大河ドラマなどの影響もあり、例年以上に観光客が訪れることも想定されます。本町としても、壺阪山駅前の修景や、観光トイレ、案内看板の設置など、観光インフラの整備を進めてまいりました。今後、土佐街道のカラー舗装の改良工事に着手し、無人化された壺阪山駅舎の活用を近鉄、奈良県と連携して検討していきます。町政のさらなる発展に向け、引き続き観光振興を進めてまいります。

本年も、町民の皆様とともに「健やかに住み続けたくなる高取町」をめざして取り組んでまいります。

本町にある高取城跡は、日本三大山城の1つとして知られていますが、豊臣秀長の命を受け家臣により整備拡充された、秀長ゆかりの城でもあります。本年1月から放送されるNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」は豊臣秀長が主人公です。本町としても、奈良県が舞台となる55年ぶりの大河ドラマを契機に、積極的に町のPRを行ってまいります。

また、PR活動の一環として、高取町の公式マスコットキャラクター「たかとりん」が昨年5月に誕生しました。

「たかとりん」は、町内外から多数の応募をいただいたキャラクター候補の中から、人気投票によって選ばれました。本町の魅力をPRする「たかとりん」の活躍にも今後ご注目ください。

防災情報伝達手段の構築などに取組

下市町
町　長　**仲嶋久雄**

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかにお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国では豪雨災害や林野火災による災害があり、改めて自然の脅威と日頃からの「備え」の重要性を痛感させられました。幸い下市町では大きな被害はありませんでしたが、いつどのような災害が発生してもおかしくない状況に変わりはありません。

町民の皆様のかけがえのない命と財産を守るためには、行政による「公助」はもちろんのこと、まずは自らの命を守る「自助」そして地域で互いに助け合う「共助」の力が不可欠です。近い将来に発生が懸念される南海トラフ大地震に備えて、下市町としましても町民の皆様の安全・安心を守るため、あらゆる危機を想定した防災・減災対策に引き続き全力で取り組んでまいります。具体的には、防災情報伝達手段の構築や災害用備蓄品の充実など防災体制の強化などを進め、今後も町民の皆様に寄り添い、安全で安心して暮らせるまちづくりに最大限努力することを改めてお誓い申し上げます。

最後に本年が皆様にとって安全で幸多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

健康づくりCのリニューアルオープン目指して

大淀町
町　長　**辻本眞宏**

新年おめでとうございます。皆様におかれましては新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、奈良県出身の高市早苗氏が内閣総理大臣に就任され、日本史上初の女性首相が誕生されたことが記憶に残ります。特に「奈良の女です」と語られたその言葉には、私たち奈良県民として誇りを感じました。

さて、本年の大淀町の主な事案として、町立健康づくりセンターに関して、改修費用の抑制や財源の確保など諸課題を乗り越えて全面再開に向けて継続して取り組みます。今後は、設計業務や運営業務委託先の選定、改修工事等の工程を経て、令和10年4月のリニューアルオープンをめざして業務を進めてまいります。

次に、昨年4月から奈良県広域水道企業団による広域行政に移行した上水道事業について、老朽化が著しい浄水場の改修工事や排水施設の更新工事を急ピッチで進める必要があります。その資本投資と併せて水需要の減少により水道料金を引き上げる必要が生じてまいりますが、広域化のメリットである国・県補助金による財源の確保等に努め、将来に渡る安定した水供給に向けて、上水道施設の老朽化対策と災害に対する強靭化を図ってまいります。

また、物価高騰対策や子育て支援施策を実施し、継続して福祉の向上・質の高い教育環境の整備・農林商工業の活性化・CO2排出量削減等の環境施策の充実などの各分野における行政課題の解決に向けて計画的に対応し、大淀町を持続可能な魅力あるまちとして次世代に引継ぐことができるように努めてまいります。

新しい年が皆様にとって幸多き年となりますことを心からご祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

安心して暮らせる村づくりを着実に推進

御杖村
村　長　**伊藤収宜**

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、御杖村では村内交通の利便性の向上を図るため、これまで村の唯一の公共交通として村内全域を運行してきた村営路線バス（通称：ふれあいバス）に代え、昨年12月から予約制のデマンド交通を導入しました。

デマンド交通は村内全域を運行範囲とし、車両には脱炭素社会の実現を目指して電気自動車を導入、狭い道にも対応できる軽自動車を使用することで自宅から目的地まで、原則ドアツードアの送迎を可能としています。

これによりバス停までの徒歩移動やバスの待ち時間のご負担も軽減し、各バス停を経由する従来のルートに比べ目的地までの所要時間を短縮できるものと期待しています。

また、通院や買い物といった日常的な活動においても利用機会が広がり、生活の質の向上につながるとともに、高齢者の外出機会の増加、健康づくりにも寄与するものと考えております。

デマンド交通導入後においても、住民ニーズを聞きながら必要な改善を行うなど住民の皆様にとって安心して暮らせる村づくりを着実に進めてまいります。

結びに、本年も皆様にとりまして幸多い年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

東吉野創生に向け一歩一歩確実に

東吉野村
村　長　**水本　実**

新年あけましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、史上初の女性として、そして、我ら奈良県から初となる内閣総理大臣ご就任は大きな喜びであり、奈良県はもとより東吉野村のさらなる発展に大きな期待を寄せております。

村では「都市とのつながりを築き、移住・交流を促進し、新しい人の流れをもたらす村づくり」「安全安心で住みやすく、多様多彩な人々がお互いを尊重しながら、心豊かに暮らせる村づくり」「森林と清流などの自然資源、深遠な歴史・文化、豊かな農林水産物等の地域資源が生かされ、村内外の多様な人々が活動する魅力ある村づくり」を村づくりの基本理念とし、繁栄する村を目指して、若者移住定住施策に取り組んでまいりました。この施策の一つ、クリエイティブヴィレッジ構想をさらに推進し、クリエイターをはじめとした移住者を増やすため、多様な住宅需要に対応する村営住宅、移住定住促進住宅の整備、さらに、サテライトオフィスの整備を行いました。おかげさまで多くの方が移住し、住民主導のオープンアトリエやお祭りが企画開催されるなど、活気が沸いてきております。地域住民の安心安全で末永く住んでいただける地域づくりと、さらなる東吉野創生に向け一歩一歩確実に推し進めていく所存であります。

皆様のより一層のご支援ご協力を賜りますと共に、ご健勝とご繁栄を心からご祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

謹賀新年

本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

FUJIWARA

藤原電気工業株式会社

代表取締役　藤原良輔

本　　社　奈良市西九条町２－５－１４
〒630−8453　ＴＥＬ０７４２－５０－３０００
　　ＦＡＸ０７４２－５０－３１００
大阪営業所　大阪市淀川区西中島５－７－１４－５０２
〒532−0011　ＴＥＬ０６－６８８５－３４１０
　　ＦＡＸ０６－６８８５－３４１４

GCC Certified Organisation　ISO 9001:2015　ISO 14001:2015　ISO 45001:2018

組立ハウス製作・販売・施工・リース

大昌ハウス工業有限会社

代表取締役　清原　千恵美

本　　社　奈良県香芝市上中２７１番地
〒639−0265　TEL0745(76)4009㈹　FAX0745(76)2456
E-mail dyshowhouse@nifty.com
https://dyshowhouse.co.jp/

謹賀新年

To be a good “Corporate Citizen”

建築・土木・仮設・鋼構造物・鳶工事一式
資材販売・太陽光発電システム設置・販売

HOUKOKU

株式会社　豊国

【本社】　〒636-0053　奈良県北葛城郡河合町池部2-7-5
TEL 0745-57-1502(代)　FAX 0745-57-1503

【支店・営業所・事務所】

東京支店　奈良中央営業所　滋賀営業所
奈良東部営業所　大和榛原営業所　埼玉営業所
南和営業所　大阪営業所　御所事務所

【Web Site】　【X (旧Twitter)】　【YouTube】

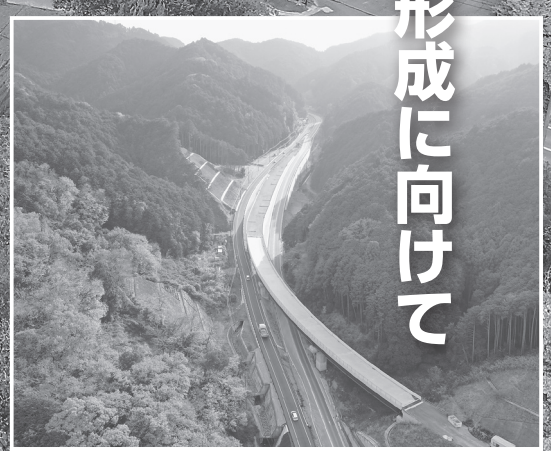
高取バイパス
8年度全線開通へ　槌音高く建設進む

中南和地域の活性化及び災害に強い道路ネットワークの形成に向けて

一般国道169号高取バイパスは、紀伊半島アンカールートの一部を形成する道路であり、県中和地域と南和地域の広域ネットワークを形成する幹線道路。令和8年度の全線開通に向け、本線部分の舗装、排水構造物、区画線、交通安全施設等の工事が実施される。

◆事業概要
- 事業区間：高市郡高取町兵庫～高市郡高取町清水谷
- 事業延長：3.4㎞
- 構造規格：第３種第２級
- 設計速度：60㎞／h
- 車 線 数：２車線
- 道路幅員：8.5m

◆事業の経緯
- 平成９年　：都市計画決定
- 平成10年　：事業化
- 平成24年４月：部分供用（１工区1.4㎞区間）
- 平成26年度　：松山高架橋完成
- 平成30年度　：高取トンネル完成
- 令和２年度　：上辻トンネル完成
- 令和５年度　：清水谷高架橋完成
- 令和８年度　：高取バイパス供用予定（２工区2.0㎞区間）



写真提供：奈良県中和土木事務所

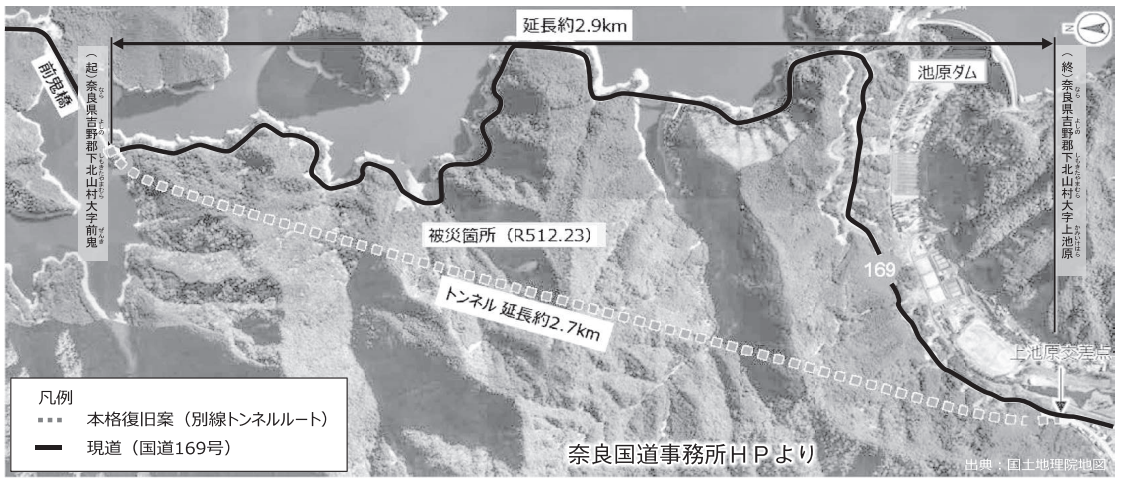
近畿地整

鹿島建設と契約締結
国道169号上池原トンネル他工事

近畿地方整備局は、令和5年12月に発生した崩土被害に対する災害復旧工事である「国道169号上池原トンネル他工事」のWTO適用の総価契約単価合意方式公募型プロポーザルで、鹿島建設関西支店（大阪市中央区城見）と148億115**契約額148億1150万円**0万円込（予定価格148億2136万700円込）で昨年6月30日に契約を締結した。

鹿島建設関西支店は「国道169号上池原トンネル他工事に係る技術協力業務」において、提出された技術提案書を審査した結果、技術提案交渉方式を適用した当該業務の事業目的達成のため、最も有効な技術力を備えていると判断し、優先交渉権者として選定されていた。「国道169号上池原トンネル他工事における技術提案・交渉方式の専門部会」で設計内容・価格が妥当であると認められた鹿島建設関西支店が唯一の契約相手と判断したもの。

■ 別線トンネルルートによる本格復旧



工事場所は下北山村前鬼～上池原。工事内容は工事延長2870メートル、道路トンネル（NATM）（標準部内空断面積53平方メートル）、掘削2778メートル、坑門工2基、仮設工1式。工期11年2月28日。

また、奈良国道事務所は、簡易公募型プロポーザル「国道169号上池原トンネル詳細設計他業務」において、オリエンタルコンサルタンツを103満点中100・5点で特定して業務を行った。他の技術提案書の提出者は八千代エンジニヤリング、セントラルコンサルタント、パシフィックコンサルタンツ、中央復建コンサルタンツ。それ以外の参加表明書の提出者はニュージェック、建設技術研究所、千代田コンサルタント、東京コンサルタンツ。業務は、国道169号上池原トンネル詳細設計他。業務場所は奈良市。委託期間12月26日。主な業務内容は次の通り▽一般構造物設計（一般構造物詳細設計）＝場所打ち法枠（1カ所）1式、擁壁安定検討（2カ所）1式、落石防護網（1カ所）1式▽トンネル設計（山岳トンネル詳細設計）＝山岳トンネル詳細修正設計（L2772メートル）1式、支保構造検討（FEM解析）3断面、工事用トンネル詳細設計（L125メートル）1式▽橋梁設計（橋梁詳細設計）＝鋼製永久杭橋詳細設計（図面、数量）（L126メートル）1橋▽共通（設計業務）（打合せ等）＝関係機関打合せ協議1式。

国道169号下北山村上池原で発生した崩土災害の早期復旧に向けて「奈良南部災害復旧対策出張所」を、大淀町下渕1000の奈良県南和労働会館2階に開所した。

併せて現在、国の権限代行により事業中の国道168号長殿道路、五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）、十津川道路（Ⅱ期）及び国道169号伯母峯峠道路の業務も新出張所に一元的に所掌させ、引き続き整備促進を図っていく。

都市再生機構

中登美第三団地環境整備基本方針書を作成
DAN・GK―DSHで

独立行政法人都市再生機構西日本支社は、中登美第三団地において今後の団地環境整備設計の指針となるよう、屋外整備メニューとめざす将来像及びデザインのトーン&マナーを整理した団地環境整備における基本方針書を作成する。

中登美第三団地では、団地魅力向上施策としてコミュニティ醸成とそれに資するイベントの実施などのソフト施策に重点を置いて取り組んでいる。団地の改修に当たっては今ある団地内の資源・魅力を最大限活かしながら、ソフト施策の効果の最大化及びハードとソフトの最適化による団地の更なる魅力向上を図ることとしている。

一般競争入札「07―中登美第三団地環境整備基本検討業務」によりDAN・GK―DSH設計JV（大阪市中央区大手通）に業務を委託した。業務は屋外空間の現況調査・分析、団地環境整備基本方針の検討、団地環境整備基本方針書の作成、有識者ヒアリング。委託期間6月12日。昨年度に実施した06―中登美第三団地色彩計画等景観デザイン業務も同設計JVで行っている。担当は技術監理部企画第1課（電話06―4799―1112）。

業務内容は次の通り。

【屋外空間の現況調査・分析】

屋外空間（住棟周り、道路、歩行者専用道路、施設街区、公園21カ所等）を対象に、周辺地域を含めた屋外における景観及び動線及び利用特性の調査・分析を行う。但し調査計画立案に当たって図に示す本団地における実施予定事業を参考にする①対象団地及び周辺地域における景観特性の調査②主要な屋外空間における利用状況（空間の使われ方）及び動線に関する調査③「重点エリア」（施設街区、主要な団地入口付近、歩行者専用通路等の3エリア程度）の設定及び特性の分析。

屋外空間の利用実態と利用意向及び今後の在り方等について把握するため、団地居住者・団地管理者・利用者・活動団体等へのヒアリング調査等を行う①団地居住者等を対象とした屋外空間に関するアンケート調査の実施②団地居住者・利用者等を対象とした屋外空間利用に関する意向把握のためのワークショップまたはヒアリング調査等の実施。

団地の特徴及び問題点を勘案したうえで、今後の屋外改修の参考となる団地屋外空間及び公共空間等の整備プロセスに係る事例の調査・分析を行う①景観資源、地域資源等を活かしたものでかつ改修整備のプロセスにおいて住民・利用者等の意向を採り入れる形で行われた屋外改修事例を3事例程度（例としてウォーカブル空間、都市農園、シニア層の活動を意識した屋外、施設街区活性化）抽出する。屋外空間の規模及び設備等の整備状況のほか意向把握のプロセス・手法と利用のスキーム・管理運営体制等についても調査を行う（例として移動支援カート、オンデマンドバス、健康器具系施設）②団地（住宅棟、施設街区等）の特徴及び問題点についての調査結果を踏まえたうえで、ハード面及びソフト面から団地の価値向上を図るための手法等についての分析を行う③以上の調査についてこの団地への導入に当たってのメリット・デメリットと課題及び概算金額を比較検討が可能なよう取りまとめる。

【団地環境整備基本方針の検討】

屋外空間の現況調査・分析に基づいて屋外空間のコンセプト及び整備方針（全体、エリア別）の検討を行う①別途履行中業務で検討中の「中登美第三団地景観デザインガイドライン」及び団地居住者等へのヒアリングを踏まえた屋外空間全体のコンセプト及び整備方針の設定②想定されるソフト施策に基づく「重点エリア」における整備方針の設定（パターン・ランゲージの手法を用いた場所別の方針検討を想定）。

「重点エリア」における要素別の整備方針の検討を行う。但し管理に係る負担を考慮する①植栽、サインと照明やファニチャー類など屋外空間全体に係る項目別の整備方針の設定（具体的な設計やメーカー品番ではなくイメージなどで整備方針を伝えるもの）②外壁色彩計画及び団地再生事業の計画と馴染むような屋外デザイン&マナーの整理③ハ団地内回遊動線と滞在拠点創出等に向けた整備メニューの検討④設計時点で精査すべき課題の整理。

「重点エリア」におけるハード整備後のソフト面の取組みと連携・協働しためざすべき将来像（パース等）を作成する。

他団地への横展開に当たり改修に際して検討・留意すべき点と整備プロセス・メニュー及び優先度等について整理する（この業務における検討過程のフローチャートのようなイメージ）。

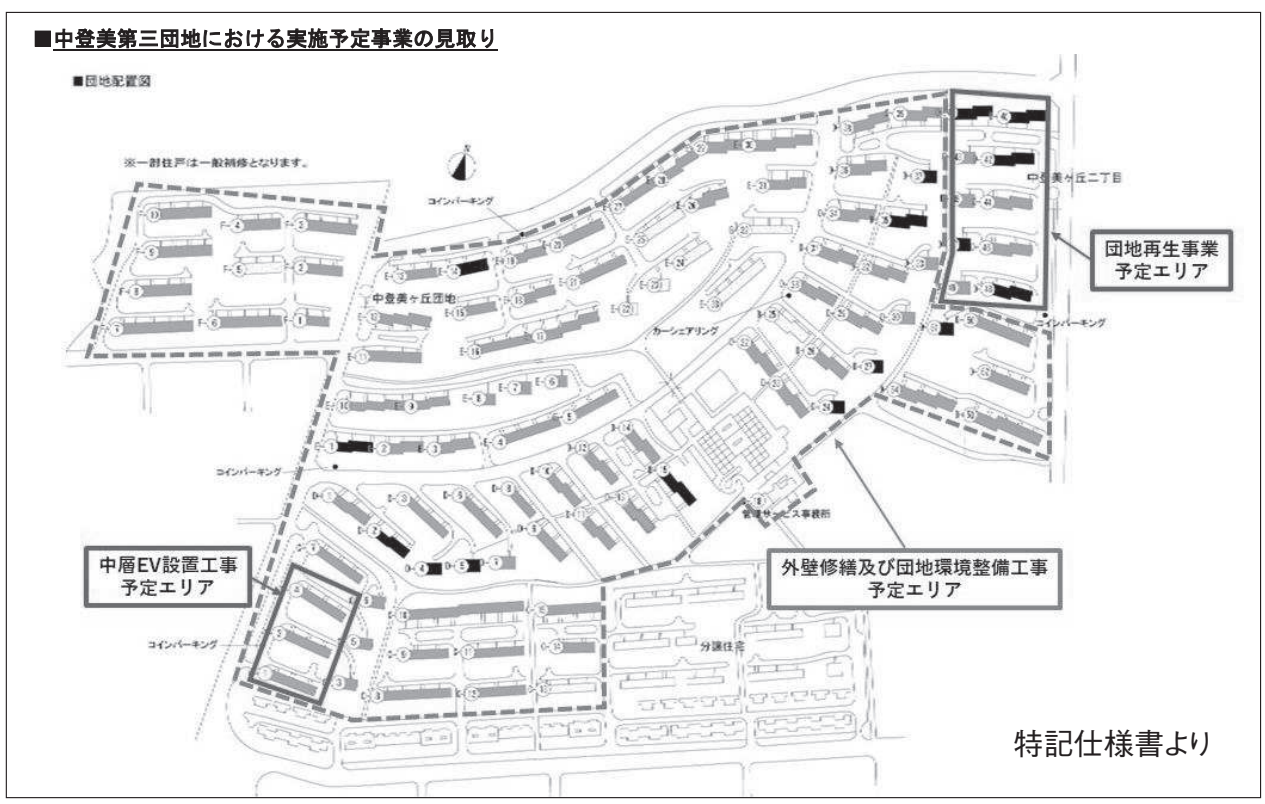
【団地環境整備基本方針書の作成】

中登美第三団地の「景観デザインガイドライン」及び「色彩計画書」を参考に以上の内容をとりまとめた基本設計に繋がる方向性を示した団地環境整備基本方針書を作成する。

【有識者ヒアリング】

業務全体を通じて有識者へのヒアリング調査を3回程度行う（有識者への謝礼の支払いも含む）。なお有識者の選定に当たっては機構担当者と協議すること。

■中登美第三団地における実施予定事業の見取り



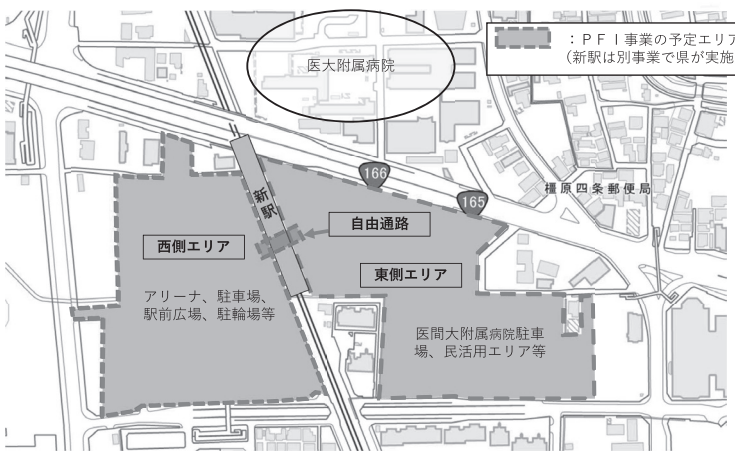
PFI事業を支援

医大新駅周辺まちづくり民活導入

県まちづくり推進課

西側エリアは新アリーナ 東側エリアは民間活用等

■新駅周辺まちづくりエリア図（参考）　特記仕様書より



奈良県県土マネジメント部まちづくり推進課は、医大新駅周辺まちづくりにおいて、西側エリアにおけるアリーナに係る整備運営事業に合わせ、民間の活力を活用した新駅の東側エリアのまちづくり（公有地の）民間活用等を付帯事業として含めることも計画しており、東側エリアの利用を含むPFI法に基づく実施方針等の公表から整備運営事業者選定及び契約締結、その他PFI事業開始までに必要となる一連の手続き等を行う。

一般競争入札「（仮称）医大新駅周辺まちづくりPFIアドバイザリー業務委託（医大・周辺まちづくり検討事業）第410―委―2号」を1月29日に開札し、一連の手続き等に関する事項について支援を行う業務を委託する。業務場所は橿原市四条町他。業務概要は（仮称）医大新駅周辺まちづくりPFIアドバイザリー業務委託1式。委託期間2月6日（予定）～9年10月29日。予定価格は非公表。問い合わせ先等は地域構想・市街地整備係（電話0742―27―7521）。

県が整備する新駅に合わせ、新アリーナを含む新駅周辺まちづくりを計画しており、新駅の西側エリアにアリーナ・アクセス道路・駐車場・駅前広場・自由通路・駐輪場等を設置する。

アリーナは「子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、多くの県民がさまざまなスポーツや活動により快適に取り組める環境づくり」をコンセプトとし、令和13年度に国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会における競技等の開催とプロスポーツやイベント等の大会後の活用を見据え、6年度において橿原公苑のあり方、各施設機能規模の概略検討、事業スケジュール等の検討内容をまとめた「橿原公苑再整備基本構想」及び「新アリーナ適地検討業務委託」の策定などを行った。

7年度においては基本構想等を基にアリーナに関する計画を具現化するため、当該事業費及び事業スケジュールの精査並びに財源と事業スキーム及び事業スケジュールを検討し「スポーツ拠点施設整備基本計画」を策定した。

アリーナに係る整備運営については、基本計画内での民間活力導入可能性調査の結果より上記コンセプト実現のために「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（PFI法）に基づく整備運営事業を計画している。業務内容は次の通り。

【（仮称）医大新駅周辺まちづくりPFIアドバイザリー】

▽（仮称）医大新駅周辺まちづくり整備運営事業開始までの詳細スケジュールの作成＝アリーナについては基本計画で作成したスケジュールを精査し、アリーナを含めた医大新駅周辺まちづくりの本業務着手から整備運営事業開始までの一連の手続等に係る詳細スケジュールについて作成する。

▽（仮称）医大新駅周辺まちづくり整備運営事業スキーム（案）の精査＝基本計画において検討した事業スキーム（事業手法、法令及び支援制度の整理、事業範囲、事業期間、資金調達方法、官民リスク分担、民間収益事業の実現可能性）（案）に係る項目内容の精査のほか、事業スキームに係る①東側エリア利用の用途・事業スキーム②事業範囲（特にアリーナ整備運営以外の新駅自由通路・ロータリーや周辺道路の整備に係る分担）③事業収支の検討・精査（施設利用料金（単価等）、県財政負担額の算定等含む）④支払いメカニズムの検討（プロフィットシェア・レベニューシェア／ロスシェア導入等検討含む）⑤事業終了時の取扱の検討⑥事業継続困難時の措置の検討⑦その他必要となる事項の項目内容について併せて検討し、事業スキーム（案）を作成する。なお、精査及び検討に当たり、事業スキーム案が複数ある場合は比較検討を行い、民間事業者の創意工夫及びノウハウ等が充分に発揮できることを念頭に検討等を行う。

▽モニタリングの検討支援＝各段階（設計、工事、維持管理運営、事業終了時等）におけるモニタリングに係る①体制②項目③実施方法④評価方法⑤評価結果による措置内容（要求水準未達に係る対応内容等）⑥その他モニタリングに関する必要な事項等について検討して提案する。

▽什器備品調達の検討等支援＝アリーナ施設に係る什器備品に関するエリア利用について特に留意する。

▽（仮称）医大新駅周辺まちづくり整備運営事業スキーム（案）の提案＝マーケットサウンディング結果内容等を踏まえ、当該事業スキーム（案）を提案する。提案に当たって基本計画時に実施した定量評価（VFM、財政負担額の算定等）等について見直しを行う必要がある場合は行うなど事業スキーム案の提案に必要な事項について検討整理する。

▽奈良県（仮称）医大新駅周辺まちづくり事業者選定委員会組成支援＝（仮称）医大新駅周辺まちづくり整備運営事業者選定に向けて、外部有識者による選定委員会の組成を行う。同審査会組成に向けて①選定委員会体制検討②選定委員候補者選定③選定委員選定に関する資料作成④選定委員交渉支援を行う。

▽実施方針公表支援＝実施方針の公表は令和8年7月頃を予定しており、実施方針公表に係る①実施方針（案）の作成②要求水準書（案）の作成③実施方針公表に係る関連書類の整理及び作成④公表に係る質問回答及び意見招請⑤その他実施方針公表に係る必要な事項の支援を行う。

▽特定事業の選定及び公表支援＝特定事業の選定は令和8年9月頃を予定しており、特定事業の選定及び公表に係る①定量評価（VFM等）及び定性評価の実施②総合評価の実施③特定事業選定公表資料案等の作成④その他特定事業の選定及び公表に必要な事項の支援を行う。

▽整備運営事業者選定準備支援＝整備運営事業者選定準備に係る①募集要項（公告を含む）の作成②募集関連様式（様式集）の作成③要求水準書（案）の修正④基本協定書（案）の作成⑤事業契約書（案）の作成⑥モニタリング基本計画（案）の作成⑦その他募集関連書類の作成⑧整備運営事業者選定審査基準（案）の作成⑨その他選定準備に必要な事項の支援を行う。

▽整備運営事業者選定支援＝①整備運営事業者募集に関する質問回答②説明会開催支援③審査資料（案）の作成④選定事業のVFM算定⑤審査講評（案）及び審査公表関連資料（案）の作成⑥その他整備運営事業者選定に必要な事項の支援。

▽事業契約等締結支援＝①事業契約締結までの整備運営予定事業者等との調整支援②その他事業契約締結等に必要な事項の支援を行う。

▽奈良県（仮称）医大新駅周辺まちづくり事業者選定委員会開催運営＝令和8年度については選定委員会開催を5回予定している①選定委員会開催運営支援②選定委員会資料案及び開催議事録作成③その他選定審査委員会運営に必要な事項の支援を行う。

▽庁内説明等支援＝①（仮称）医大新駅周辺まちづくり整備運営事業に係る県財政負担額説明資料作成②（仮称）医大新駅周辺まちづくり整備運営事業内容資料作成。作成想定時期は・実施方針公表時・特定事業選定時・運営事業者決定時／基本協定締結時・事業契約締結時。

【新駅周辺まちづくりエリアにおける用途地域等変更手続支援】

▽新駅周辺まちづくりエリア予定地周辺用途地域等見直し方針について＝新駅周辺まちづくりエリア予定地周辺に係る用途地域及び高度地区について、見直し地区及び見直し後の用途地域及び高度地区に係る方針について整理する。

▽用途地域等見直し地区に係る都市計画変更手続関連図書（案）の作成等＝新駅周辺まちづくりエリア予定地周辺における用途地域及び高度地区の見直しに係る都市計画変更手続きに必要な①協議図書・縦覧図書の作成（総括図・計画図・変更理由書含む計画書等）②都市計画審議会用資料の作成③住民説明会用資料の作成④その他必要な参考図書の作成（経緯表、計画書・総括図・計画図の新旧対照表、その他必要参考図書等）を作成する。

成果物の提出期限（予定）は詳細スケジュール表3月23日、都市計画変更手続関連図書8月31日、中間業務報告書9年3月19日、業務報告書9年10月22日。

アドバイザリー1月29日に開札

県と橿原市

新駅設置で基本協定

県立医大南側地区まちづくり

12年度中の供用開始めざす

奈良県は昨年3月、橿原市と奈良県立医科大学附属病院南側地区のまちづくりにおける（仮称）医大新駅の設置等に関する基本協定を締結した。新駅については令和7年度に基本設計を進め、12年度中の供用開始をめざす。引き続き周辺の賑わいのあるまちづくりに向けて関係者で連携・協働して取組みを進める。

新駅設置は県事業として費用を県・市・近鉄で負担、工事は近鉄が施工。費用負担割合の考え方は「都市・地域交通戦略推進事業」の活用を想定（補助率1／3）①国費を除いた残額の1／2を県が負担②全体事業費の1／9を近鉄が負担③国費と県及び近鉄の負担額を除いた残額について県と市で等分負担。担当はまちづくり推進課。

県と橿原市は、「医大及び附属病院を核とする『橿原キャンパスタウン』の形成」をめざし、平成27年に「医大周辺地区」についてまちづくりに関する包括協定を締結。令和4年11月には県・橿原市・近鉄の4者で医大附属病院南側地区（図参照）のまちづくりに関する取組みを推進することを目的に連携協定を締結。

これまで測量調査や文化財調査、さらに新駅利用者の需要予測や新駅の設置位置、構造等の検討などを行い、それを踏まえてまちづくりについて関係者で協議を重ねてきた。また、新駅の西側を新アリーナの建設予定地とし、東側については渋滞対策として医大附属病院第1駐車場を拡張することとした。

県立医大

一般競争1月27日開札

附属病院新A棟基本・実施設計

11年4月着工めざし10年内に設計を完了

奈良県立医科大学は、附属病院新A棟整備を計画、WTO対象の総合評価落札方式一般競争入札を1月27日に開札して委託する基本・実施設計を令和10年末にまとめ、建設工期として11年4月～14年3月を見込んでいる。問い合わせは法人企画部施設マネジメント課企画係（電話0744―23―9122）。

業務場所は橿原市四条町840番地。業務概要は新A棟（延べ面積約3万8834平方㍍〈連絡通路1250平方㍍含む〉）の建築、電気設備工事、機械設備工事及び外構整備工事に係る基本・実施設計。委託期間10年12月31日。予定価格10億5160万6000円込、調査基準価格8億1830万1000円込。

敷地面積7万548・43平方㍍（県立医科大学キャンパス北側エリア）のうち教育研修棟とスキルスラボ棟・看護学科旧棟敷地エリア（教育研修棟、スキルスラボ棟及び看護学科旧棟を解体した跡地）約7400平方㍍に建設する。既存C棟低層階と渡り廊下で接続する。建物規模は地下1階地上7階建を想定し、延べ面積約3万8834平方㍍（連絡通路1250平方㍍含む）を構想。問い合わせは法人企画部施設マネジメント課企画係（電話0744―23―9122）。

新A棟整備の基本構想はシステム環境研究所大阪事務所、基本計画はシス環・明豊ファシリティワークスJVに委託して策定した。医学部機能の一部を新キャンパスへ移転、附属病院は現敷地において医療サービスを継続的に提供していく一方で、施設の老朽化や最新医療への対応のために施設整備が必要な状況となっていることから現A棟を建て替える。

基本構想検討時点での附属病院整備に係る

延べ約3万8834平方㍍

基本的方向性は、新A棟は新築するとして①免震建物に収容すべき必要性が高い機能②外来診療・救急医療と連動性が高い機能③主に患者利用施設④機能的寿命が短いまたは固定的で重量なもの―を配置する。新棟竣工の頃に築約30年で建替期を迎えるB・C棟についても一体の施設として整備する（新棟竣工10年程度で救急センターや放射線部門更新のために外来診察室から離れた場所に建物を整備といった事態を回避する）。B・C棟には①耐震建物で許容する機能②入院医療（病棟）と連動性が高い機能③主に職員利用施設④機能的寿命が長いまたは可動的で比較的軽量なもの―を配置する。新A棟整備の前提条件は次の通り。

▽耐震性能向上及び一定の耐震性のある建物の継続利用＝①既存の耐震性に劣る建物は解体撤去することを前提に解体対象建物にある機能及び部門を集約、外来機能を中心に耐震性に優れた新A棟に移転整備を行う②新A棟は既存棟と一体的に利用するため連絡通路でC棟南面と接続する。

▽（仮称）医大新駅整備を前提とし来院者、来院車両の動線整備、駐車場整備を行う＝①12年度中の供用開始をめざす近鉄橿原線（仮称）医大新駅整備に伴う新駅周辺のまちづくり計画を踏まえ、公共交通機関を利用した来院患者動線が現行と大きく変化することを想定し、それらが円滑かつ安全で利便性が高いものとなるように新A棟の整備及び医大第一駐車場拡張整備を行う。

▽畝傍山キャンパス先行整備計画及び四条キャンパス整備計画との整合を図る＝①7年度より供用開始となった畝傍山キャンパス先行整備対象部分である既存体育館は移転済みであることから解体し、跡地は新A棟整備に当たり利用可能敷地とし有効利用を図る。

▽持続可能な事業計画＝①一定の耐震性を持つ既存建物を継続利用することにより全体として利用可能面積が確保できることから、基本計画においては持続可能な財務・経営計画の観点から基本構想の規模設定を見直し、新A棟の延べ面積を約3万8834平方㍍（連絡通路1250平方㍍含む）とする②また、地域医療機能の集約等、将来を見据えた持続可能な附属病院機能の整備を行う。

新A棟に配置する部門は①外来機能を優先的に確保・拡充する②外来に付随する各種診療・検査・供給機能も優先的に確保・拡充する③先般の新型コロナパンデミック時のさまざまなフィードバックを考慮し、新A棟に指定感染症病棟（第Ⅰ種、Ⅱ種感染症病室）、指定感染症外来、臨時感染症病棟を整備する④新A棟は外来に関わる診療機能と患者利便機能を中心に配置する―の観点を考慮している。

新A棟の主な機能は受付、医事、外来、中央処置室（仮称）、採血、検体検査、生理検査、薬剤、中央放射線、内視鏡、デイサージャリー、周術期管理センター、外来化学療法、患者総合支援センター（仮称）、患者利便機能等。地階に中央内視鏡部門・薬剤部・患者利便施設、1階にエントランス・医事・処方・患者支援センター、2階に中央放射線部門・中央臨床検査部門、3階にデイサージャリー・周術期管理センター・中央臨床検査部門、4階～5階に外来、6階に外来・外来化学療法・がん相談、7階に病棟（現A棟4階病棟の移転先、指定感染症病棟）を配する試案を持っている。

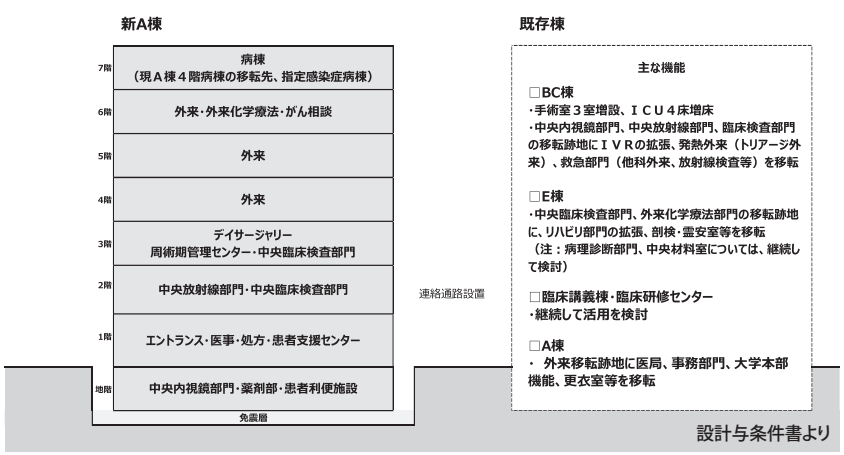
新A棟施設整備方針における施設面での前提条件は▽耐震性に劣る病院本館旧館・管理棟・医局棟と、それらと一体的に使用されている定位放射線棟及びその増築部と病歴保管庫を解体し、それらの機能を新A棟に移転し、かつ既存病棟の機能再配置により各部門の最適化を図る。教育研修棟とスキルスラボ棟の機能については新A棟建設前に現キャンパス内の別建物に仮移転が完了し、看護学科棟の機能も新キャンパスに移転完了させる▽看護学科棟新棟及び現A棟は継続使用する▽現状の高度地区を踏まえて建物高さは塔屋を含め31㍍以下とし、現状の高さ制限の範囲内で整備する。施設計画の基本方針は以下の通り。

▽高度医療への対応＝①最先端の高度な医療を行うために機能的で先進性のある施設・設備計画とする②求められる機能の整備を行うための必要規模を確保するとともに、将来の治療・研究のニーズの変更に柔軟に対応できるようなフレキシビリティのある施設計画とする。

▽災害に強い施設整備＝①基幹災害拠点病院として大地震時でも医療機能を継続できるように免震構造とする②インフラ途絶時においても一定期間自立でき医療機能を継続できるような設備計画とする③新興感染症のアウトブレイク等への対応を含み、あらゆる感染局面においても柔軟に対応できるように最新の知見とコロナ感染症対応のフィードバックを盛り込んだ感染に強い施設・設備とする④浸水リスクを考慮し、浸水対策に配慮した水害に強い施設・設備を検討する。

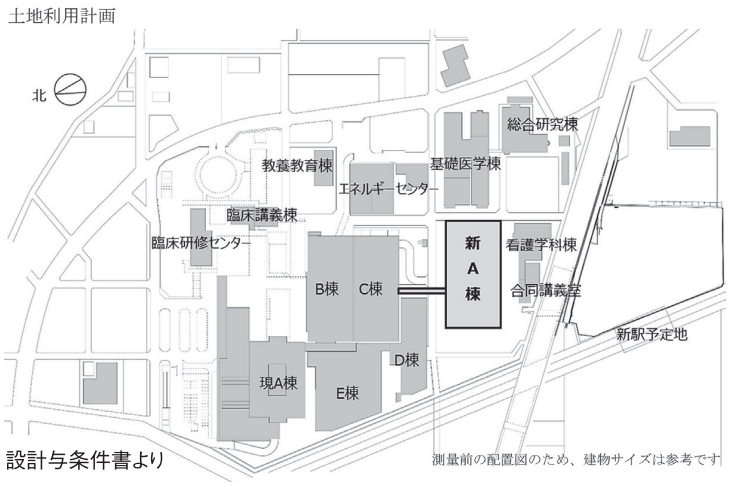
▽合理的で機能的な施設整備。

▽持続可能な施設整備。



設計与条件書より

棟別部門配置案



設計与条件書より　測量前の配置図のため、建物サイズは参考です

県病院マネジメント課

長大で開設支援

新西和医療センター移転整備

奈良県福祉医療部医療政策局病院マネジメント課は、「令和7年度新西和医療センター開設支援業務」を公募型プロポーザルにより長大奈良事務所（三郷町立野南）に託して実施している。

業務は6年度までに策定した基本構想と基本計画に基づき①設計発注に向けた条件の資料作成及び②都市計画の変更手続き等に係る協議資料作成を目的とする。委託期間12月26日。

施設の老朽化や耐震性が低いことから早期の移転・再整備を推進することとしている西和医療センターについて、6年度までに策定した基本構想と基本計画骨子案及び基本計画に向けた条件の資料作成及び②都市計画の変更手続き等に係る協議資料作成を7年に実施する。

6年度当初予算には病院マネジメント課が新西和医療センター整備基本計画策定事業として2400万円を確保、JR法隆寺駅南側地区への移転建替に向けて設計に着手（1億600万円）。道路交差点設計、新規に造成設計と建築設計②用地取得に向けた関連手続きを実施（1億540万円）で用地取得に向けた補償調査、不動産鑑定調査等と関係機関との協議等を実施。

候補地はJR法隆寺駅といかるがホールの中間に当たる斑鳩町興留9丁目・10丁目の農地約5㌶で、移転用地は約3㌶。JR法隆寺駅は利便性が高く駅から病院へのアクセスも良い。

4年8月に「新西和医療センター整備基本構想」を策定した。5年度には移転候補地の再検討を行い、JR法隆寺駅南側地区（斑鳩町）に決定するとともに、診療規模及び事業収支計画等の検討を行い、新西和医療センター整備基本計画骨子案を策定した。いずれも業務は長大に委託。担当は病院機構・西和医療センター建設支援係（電話0742―27―8682）。

12月一般会計補正予算では、新西和医療センター整備基本計画策定事業に8年度債務負担行為2000万円を計上、6年度に検討した基本計画案について県立病院機構の経営改善方針や物価高騰等を踏まえ見直しを行う。

県警察本部

オオバで造成工事設計

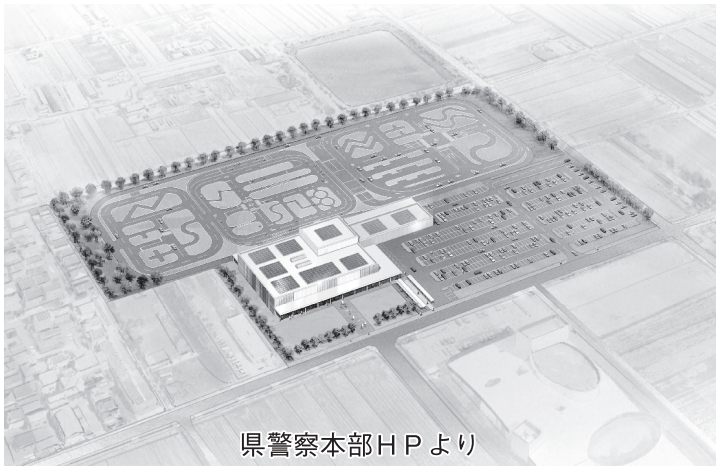
運転免許センター新庁舎整備

13年度内供用へ9年度から造成

奈良県警察本部は、13年度内に供用をめざしている運転免許センター新庁舎整備に先立ち、9年度からの造成工事に必要な基本設計と実施設計及び開発許可申請を行うことで円滑かつ適正な整備事業の推進を図ることにしている。

一般競争入札「運転免許センター新庁舎整備事業造成工事設計業務委託第07―19―設号」によりオオバ（東京都千代田区神田錦町3―7―1興和一橋ビル。奈良営業所は奈良市大宮町5―3―14不動ビル）に業務を委託して進めている。

業務場所は田原本町大字阪手他。業務は基本設計（設計、防災等）、



県警察本部ＨＰより

鳥瞰パース

敷地面積6万2000平方㍍、業務内容は開発許可申請等、実施設計（整地、防災等）。

委託期間9年3月31日。担当は警務部施設装備課営繕係（電話0742―23―0110内線2297）。

造成設計業務の実施に当たり、CM業務（発注者の利益を確保するため技術的な中立性を保ちながら発注者側の立場に立って計画検討、工事費の削減検討、工程計画の検討などの各種マネジメントを行う）は公募型プロポーザルにより阪急コンストラクション・マネジメント（大阪市北区梅田2丁目2番22―17丹生ビル）に委託。これは運転免許センター再整備基本計画及び官民連携導入可能性調査に基づき、運転免許センター新庁舎整備事業をPFI法に定める事業方式（PFI方式）で実施するに当たり、実施方針の作成と公表から事業者の選定及び事業契約締結に至る一連の業務について業務実施上必要な支援を行い、併せて必要となる調査・検討及び資料作成等を行うもの。

一方、「仮称新第二庁舎整備等調査検討業務委託第07―23―調号」も一般競争入札によりオオバに委託して進めている。業務は施設の現状把握と課題の整理、整備候補地周辺状況の調査・把握、整備基本方針の作成、仮称新第二庁舎の整備に必要な敷地・庁舎規模の検討、事業計画の検討（配置図等の作成、概算事業費の算定、事業手法の検討）。

事業方式の評価では、従来方式とPFI方式の比較した結果（事業費は従来方式が109億2200万円、PFI方式が89億円）を踏まえ、民間ノウハウを活用することで品質向上や建設・維持管理等の効率化に伴うトータルコストの削減等が期待できる観点から、事業の実施においてPFI方式（BTO方式）により事業を進めることとした。

大和平野中央構想

日本工営都市空間で

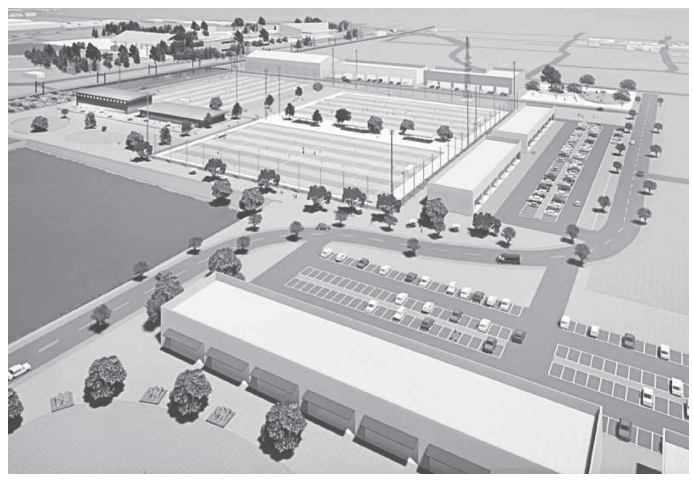
川西町県有地活用基本計画等策定

川西町県有地活用基本計画等策定業務委託」を公募型プロポーザルにより日本工営都市空間奈良事務所（奈良市西大寺赤田町1丁目2―13）に委託して進めている。委託期間3月19日。

川西町下永地区の県有地では「子どもを中心に多様な交流が生まれるまちKAWANISHI」をテーマとしたまちづくりを推進している。この業務は、県有地の土地利用や施設の整備と施設管理・運営及び企業誘致に係る基本方針をウエスコに委託して定めた「川西町県有地活用基本構想」を具現化するとともに概算事業費と事業スケジュール等の具体的な検討を行い「川西町県有地活用基本計画」を策定するもの。担当の電話（0742―27―8946）。

県は、「スポーツと食と農が融合するウェルネスタウン」としていた大和平野中央構想を見直し、川西町下永地区15㌶の用地活用について「世界的スポーツチームの関連拠点を誘致する」ことを基本的な方針とし、活用テーマの基に▽地域のスポーツの振興にも資する世界的スポーツチームの関連拠点を誘致▽地域の活性化に繋がり、子どもたちも楽しめる企業を誘致―をめざす。

業務では基本計画の策定として▽基本計画方針▽施設配置計画▽動線計画▽造成計画▽建築計画建築計画▽ランドスケープ（空間デザイン）・外構計画▽設備概略計画▽インフラ整備計画▽概算事業費の算出▽事業スケジュール（案）の作成▽イメージパースの作成を行い、農振農用地除外に必要な手続き関連図書（計画図書）と地区計画作成に必要な手続き関連図書（計画図書）（案）を作成する。



鳥瞰イメージパース（基本構想より）

大和平野中央構想

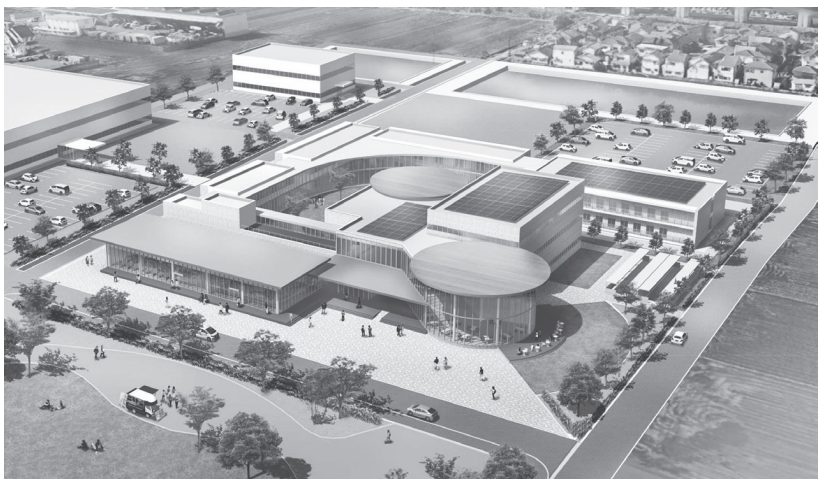
三宅町県有地活用プロジェクト

日本総合研究所で進む

7～8年度で基本計画を策定へ

奈良県地域創造部大和平野中央構想・スタートアップ推進課は、「令和7年度三宅町県有地活用基本計画等策定業務委託」を公募型プロポーザルにより日本総合研究所大阪本社（大阪市西区土佐堀2丁目2番4号、内川淳代表取締役社長）に委託して進めている。委託期間3月24日。

これは、三宅町石見地区の県有地で「次世代を担う学生×企業のまちMIYAKE」をテーマとしてヤング・イノベーション・レジデンス（仮称「YIR」）及び企業誘致によるまちづくりを推進しており、予定地の土地利用及びYIRの概略検討並びに企業誘致に係る基本方針を定めた「三宅町県有地活用基本構想」の検討内容を具現化するため、実現性のある事業スキーム・スケジュール等を踏まえた「三宅町県有地活用基本計画」を2ヵ年に分けて策定する。



基本構想（パース）　県のＨＰより

今年度は基本構想をベースにYIRのターゲットとなるユーザー層や参入候補となる企業等へのリサーチにより計画のフィージビリティー確保を図るとともに、それを踏まえたYIRのコンセプト・ユーザー候補・提供すべき価値・機能を具体化する。また、施設の整備・管理手法を検討し、建物の配置だけでなくエリア全体での戦略的な土地利用プランを検討し、8年度のハード面の検討（造成計画、建築計画等）に繋げる。担当の電話0742―27―8946。

石見地区は近鉄石見駅南西部の約7・7㌶（市街化調整区域）。大和平野中央プロジェクトまちづくり基本構想では「県立大学を核としたスタートアップヴィレッジ」としていたが、山下知事により見直し、「学生の居住拠点とスタートアップ企業誘致」を基本的な方針とする学生の居住拠点を県が整備する▽若者が生活しながら成長できるヤング・イノベーション・レジデンス＝①県内の大学院・大学・高専・高校の学生・留学生・社会人が世代や背景・言語を超えた交流ができる全く新しいタイプの学生寮（入寮100名程度）②3つの機能（居住、企業や地域との学び・交流、イノベーション）を有し、県内大学や高専や企業及びスタートアップとの連携で学生と企業が生活しながら成長。多様な学び・交流を創出▽まちのコンセプトに賛同する研究や新産業にチャレンジする企業の誘致＝①地域課題や先鋭的な技術を研究する企業②学び・交流拠点において学生との交流を積極的に図る企業。「三宅町県有地活用基本構想等作成業務委託」はオオバ奈良営業所が担当。今回の業務内容は次の通り。

【前提条件調査】▽マーケット動向調査▽事業者・関係者等へのヒアリング調査▽企業誘致に係るサウンディング調査▽調査結果を踏まえた方針の設定。

【各種計画等の検討または作成】▽交通計画（アクセス計画）▽土地利用計画▽動線計画▽施設配置計画▽建築モデルプラン検討▽施設整備・管理運営スキームの具体的検討等▽事業スケジュール（案）の作成▽概算事業費の算出。

郡山土木

新たな井堰の予備設計
一級河川富雄川河川改修事業で
茶の前井堰と籠池取水井堰を統合

奈良県郡山土木事務所は、一級河川富雄川河川改修で茶の前井堰と籠池取水井堰を統合する井堰の予備設計及び統合井堰から取水した水を受益農地へ繋ぐ用排水路の設計を今秋にかけて行う。なお、井堰予備設計は計画地点の河状と近接構造物・土地利用状況や地形・地質・流量等から堰の位置や断面形状と構造形式・基礎形式等について比較検討を行い、最適な堰の形式を選定する。

一級河川富雄川の富雄橋より下流区間は、「大和川水系河川整備計画 生駒いかるが圏域」において整備区間として位置付けをされている。順次可道拡幅と護岸整備並びに河川構造物の改築等による河川改修事業を進めている。

現在、西安堵井堰の上流側取合部分の改修まで完了している。また、その上流の1・8キロメートル付近に位置する阿波興留井堰についても3年度に詳細設計が内外エンジニアリングに委託して完了している。

さらにその上流に位置する茶の前井堰・籠池取水井堰・軒井堰及び高安上井堰の4井堰については、高安水利組合と井堰統廃合に向けた協議を重ねてきた。6年度には茶の前井堰と籠池取水井堰を統合することについて賛同が得られたことから、統合井堰の予備設計等を行うもの。県庁の担当は県土マネジメント部河川整備課河川整備係（電話0742―27―7469）。

業務内容は次の通り。

【井堰予備設計】

▽設計計画＝業務計画書を作成する。また、貸与する既往の業務成果等を確認して地域の課題などを把握する。

▽現地踏査＝貸与資料を基に現地踏査を行い、現況施設の状況や予定地周辺の河川の状況と地形・地質・近接構造物及び土地利用状況・河川の利用形態等を把握し、合わせて事用道路・仮排水路・施工ヤード等の施工の観点から現地状況を把握し、整理する。

▽基本事項の検討＝①設計与条件の確認②堰位置及び堰軸の検討（現況及び河道計画の河道断面形状・取水口位置・基礎地盤条件・周辺環境条件を勘案して治水及び利水計画の必要条件を満足する堰位置と堰軸を2案程度比較したうえで決定する）③河道横断形状の検討（堰位置の河道横断形状として計画の河床高・高水敷高・高水位・堤防高・河道幅・低水路高・堤防天端高を設定する）④径間割りの検討（計画規模に対して構造令・水理性・操作性・安全性・経済性等から径間割りを2案程度比較したうえで設計方針・構造物全体配置・形状の検討をする）⑤ゲート形式の検討（治水・利水計画の必要与条件からゲート形式〈引上げ式、転倒式、ゴム引き布製起伏式等〉を決定する）⑥本体構造形式の検討（決定したゲート形式と径間割りに対応した全体構造について検討し、構造形式を決定する。また、平面図・縦横断図の一般図を作成する。

▽施工計画検討＝樋門予備設計に準じて施工計画検討について検討する。

▽概算工事費＝設計業務の成果に基づいて概算工事費を算定する。

▽照査。

▽報告書作成。

【用排水路設計】

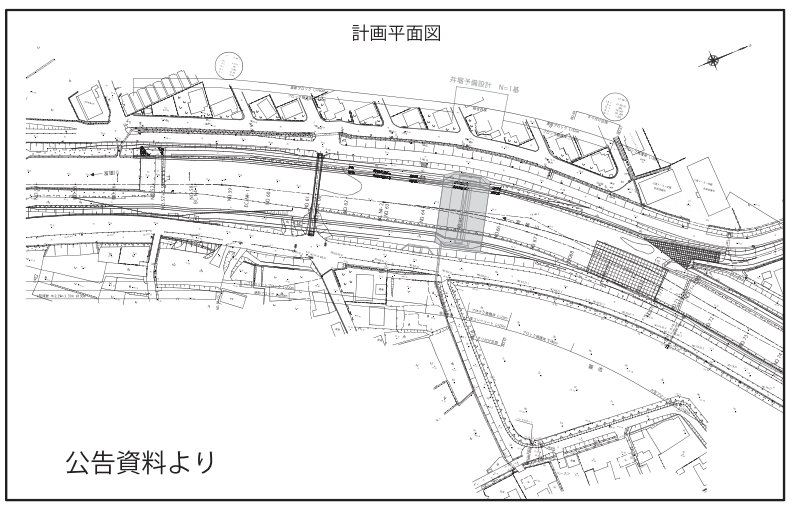
▽用排水路設計＝既存資料及び現地踏査の結果に基づいて用排水系統の計画と、流量計算及び用排水構造物の形状等について設計を行って排水系統図を作成する。特に現地における既設の関連用排水現況と将来計画との整合を考慮して設計を行う。

▽設計図作成＝平面図・横断図・詳細図・その他必要な図面作成する。

▽数量計算＝設計業務の成果に従い数量計算を実施して数量計算書を作成する。

▽報告書作成。

業平橋から見た計画地周辺



公告資料より

県経営支援課

県営競輪場再整備設計・施工・運営で日建設計CMで進む
要求水準書等作成及び事業者選定支援
8年10月末までにDBO事業者選定へ 12年までの完成めざし事業費約95億円

奈良県産業部経営支援課は、公募型プロポーザル「奈良県営競輪場再整備要求水準書等作成及び事業者選定支援業務委託」で日建設計コンストラクション・マネジメント（東京都文京区後楽1丁目4番27号、水野和則代表取締役社長）を事業者に特定し、業務を進めている。

これは、敷地全体に点在する老朽化した施設を建替等により集約化する(仮称)奈良県営競輪場再整備事業について、設計・施工・運営一括方式による事業者公募を行うため、必要書類の作成から事業者選定・契約締結に至る一連の事業者選定プロセス等を委託するもの。

国民スポーツ大会リハーサル大会開催（令和12年度）までの工事完了に向け、10月末までの設計・施工・運営一括方式「DBO（デザイン・ビルド・オペレート）方式」による事業者の選定及び契約をめざしている。この業務は事業推進に必要な諸条件等の検討及び精査とDBO事業者公募に向けた必要書類の作成から事業者選定・契約締結に至る一連の事業者選定プロセス等について総合的に支援する。問い合わせ先は商工団体・地域産業振興係「奈良県営競輪場再整備支援業務」担当（電話0742―27―8804）。

委託期間12月25日。

再整備事業の建設場所は奈良市秋篠町98番地ほか（奈良県営競輪場）、概算事業費約95億円込を想定（6年度末時点。DBO方式における運営業務の履行に係る費用は除く）。

業務内容は次の通り。

【プロジェクト管理・運営業務】

▽プロジェクト管理業務＝①関係者（県、受託者、DBO事業者、関係機関、民間事業者、競輪場関係者等）役割分担表の作成・更新②マスタースケジュールの作成・管理③発注スケジュールの作成・管理④コストの把握と対応⑤VFMの算定・評価⑥事業の進行管理。

▽プロジェクト運営業務＝①関連資料の作成②説明会（5回程度）の開催・運営支援その他関連業務の実施。

【要求水準書作成及び公募準備支援業務】

▽施設・設備等検討業務＝①検討条件の整理②インフラ状況の整理③余剰地（敷地北側を除く）活用の基本方針の検討（民間ノウハウの導入）④敷地進入路及び駐車場の検討⑤関係機関との協議実施⑥民間事業者へのサウンディング調査⑦他の競輪場への事例等調査⑧競輪場関係者との調整⑨施設等の配置計画及び概略設計（配置ゾーン同士の動線計画やゾーニング計画と最適な施設配置等を検討して整備方針をまとめ、施設及び設備等の概略設計）⑩基本計画図（案）⑪工事ステップの検討⑫建設工事需給状況の確認及び財政負担額等の算定⑬イメージパースの作成⑭運営業務に係る検討。

▽実施方針の公表に関する支援業務＝①実施方針（案）の作成②要求水準書（案）の作成③民間事業者等からの質疑対応支援。

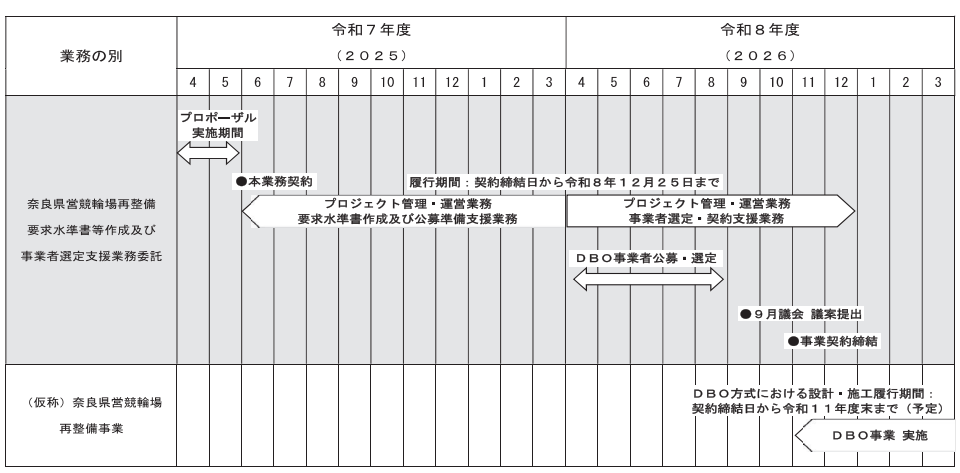
▽DBO事業者公募準備支援業務＝①公募に係る資料作成②要求水準書の作成③基本協定書(案)・各契約書(案)の作成④モニタリング方法等の作成⑤その他公募関連書類の作成。

【事業者選定・契約支援業務】

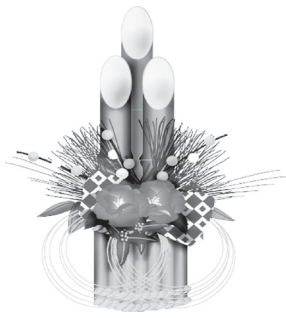
▽DBO事業者選定支援業務＝①応募予定者等からの質疑対応支援②提案審査の支援③(仮称）奈良県営競輪場再整備事業者選定委員会等の運営支援。

▽契約等締結支援業務＝①基本協定の締結支援②事業契約の締結支援。

事業工程概要（案）（仕様書より）



謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

皆さんと街の未来をつくる
私たちは目指します！
・地域に愛される現場づくり
・目に見えるコミュニケーション
・現場のマナー向上
三方良し

中村建設株式会社
代表取締役　中村光良
本　社　〒630-8013　奈良市三条大路1丁目1番48号　TEL0742-33-1001㈹　FAX0742-35-4455
大阪支社　〒541-0048　大阪市中央区瓦町3-2-16　キューアス瓦町ビル43　TEL06-6220-0100
URL.https://8-nakamura.co.jp/

「技術で地域社会に貢献します」
YAMAGAMI
株式会社 山上組
代表取締役　山上武宏
2025年度 優 国土交通省 近畿地方整備局
〒631-0065　奈良市鳥見町1丁目1－3
TEL0742－44－0063
FAX0742－49－0364

—地域社会の環境創造—
ISO 9001:2015 ISO14001:2015 認証
OHYAMATO
大倭殖産株式会社
代表取締役　杉本朝順
本　社:奈良市藤ノ木台1丁目2－15
TEL0742－43－9191 FAX0742－49－2794
大阪営業所:河内長野市中片添町3－1－301
TEL0721－62－0100 FAX0721－62－0120
URL:https://syokusan.ohyamato.jp

JQA-QM6689
JQA-EM6885
匠で築く新未来 —— 新・都・創・造
ISO認証取得
総合建設業・一級建築士事務所
株式会社 尾田組
代表取締役社長　尾田安信
奈良市高畑町738－2　TEL 0742－26－6011　FAX 0742－22－6811
大阪営業所　大阪市中央区南本町1－3－2　TEL 06－6261－9103
東九条倉庫　奈良市東九条町772　柳生工場　奈良市興ヶ原町409－1
http://www.odagumi.co.jp/

総合建設業
谷建設株式会社
代表取締役　谷　慎吾
ISO 9001 14001 本社での認証
本　社　〒630-8303　奈良市南紀寺町2の147　TEL0742(26)0300㈹　FAX0742(27)2181
上野支店　〒518-0036　三重県伊賀市法花1606　TEL0595(51)0452㈹　FAX0595(51)5032
E-Mail:info@tanikensetsu.com　URL:https://www.tanikensetsu.com

☆森高建設株式会社は
奈良とみんなの未来に貢献するSDGs活動に取り組んでいます☆
MORITAKA
森高建設株式会社
代表取締役　森高美樹
ISO9001･14001 承認取得
〒630－8031 奈良市柏木町383番地
TEL 0742-35-0988㈹　FAX 0742-35-1302
URL https://www.moritaka-kensetsu.co.jp/

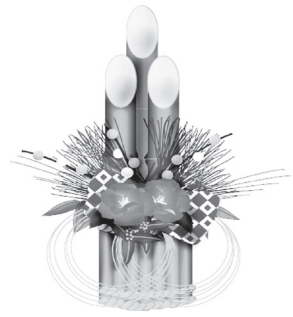
確かな技術で未来を創造する
MORI
森建設株式会社
代表取締役会長　森　吉三郎
代表取締役社長　森　隆士
本　社　〒630-8296 奈良市後藤町21番地　TEL0742-25-0567㈹　FAX0742-25-0569(総務)･0742-24-0205(営業･工事)
機材センター　〒630-8442 奈良市北永井町52番地
https://morikensetu.stars.ne.jp/
nqa ISO 9001 ISO 14001 INTEGRATED MANAGEMENT

まことで築く未来の礎
綜合建設業
廣岡建設株式会社
代表取締役　吉田茂男
本　社　奈良市茗荷町1033
TEL（0742）㊀0326㈹
FAX（0742）㊀0328

相続税等の税務相談、申告、決算、記帳、財産管理相談指導
法人税　相続税　贈与税　所得税
西田会計事務所
税理士　社会保険労務士
行政書士　宅地建物取引士
西田吉富　西田知生　西田美恵子
TEL 0745－52－1231　FAX 0745－22－5553
〒635-0095 大和高田市大中76

応援します　あなたの事業
奈良中央信用金庫
理事長　高田知彦
本　店：奈良県磯城郡田原本町132－10
TEL：0744－33－3315

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

総合建設業

左野工業株式会社

代表取締役　左野和男

奈良市六条町114－1
☎（0742）34－5666㈹
FAX（0742）34－5668

綜合建設業
文化財関係工事施工

大栄建設工業株式会社

代表取締役　大木　茂

本　社　奈良市法蓮町986－107
事務所　TEL（0742）22－3678
　　FAX（0742）22－3768
工　場　TEL（0742）22－7950

～大切にしています　技術と心～

matsuda SINCE 1933
株式会社 松田組
代表取締役　松田英志

ISO 9001認証取得(品質マネジメントシステム) JIS Q 9001:2015
ISO14001認証取得(環境マネジメントシステム) JIS Q 14001:2015

奈良市恋の窪一丁目十番十四号
tel:0742-34-4351／fax:0742-35-4137
matsudagumi.com

総合電気工事　設計･施工

福本電工株式会社

代表取締役　福本幸一

〒630－8305 奈良市東紀寺町2丁目6番6号
TEL（0742）㉖5050
FAX（0742）㉖5052

衛生設備･住宅設備機器の資材販売

植田商事株式会社

代表取締役　植田眞司

本　社　奈良市四条大路1丁目4番32号　TEL0742-33-7271　FAX0742-34-4587
橿原支店　橿原市十市町420番地　TEL0744-22-5595　FAX0744-22-9409

https://www.uedashoji.jp

快適な未来へ。
やさしさと安心の技術で
MORIMURA

株式会社 森村設備

代表取締役　森村彰博

〒630-8014　奈良市四条大路三丁目2番73号
TEL 0742(34)6400　FAX 0742(34)7471

もりむらせつび　検索　https://morimurasetsubi.co.jp

上下水道設備工事、冷暖房空調工事、ガス設備工事
電気設備工事、LPガス販売

有限会社
共栄住設
KYOEI

代表取締役　堀内眞治

〒630－8014　奈良市四条大路5丁目4番35号
TEL0742－33－2803
FAX0742－34－0069
https://kyoei-jyusetu.com

『信頼と安心･確かな技術』
電気設備工事
情報通信工事　設計･施工

ASUKA
株式会社アスカ電工

代表取締役　和田敬司

〒630－8043　奈良市六条2丁目20番35号
TEL（0742）41－2111㈹
FAX（0742）41－2011
URL:http://www.asukadenko.co.jp/
E-mail:business@asukadenko.co.jp

電気設備工事・設計施工

竹村電気株式会社

代表取締役　竹村宗規

〒630-8443　奈良県奈良市南永井町405
TEL0742－62－0861
FAX0742－62－8877
http://takemura-denki.co.jp

鉄骨・建材製品
杭柱一体工法　耐震補強工事

(株)フジテツ

代表取締役　下田　博

〒630-8434　奈良市山町645番地
TEL(0742)61－2277　FAX(0742)61－2279
E-mail：simo@fujitetsu.co.jp
http://www.fujitetsu.co.jp

窓から夢をひろげていきます
金属製建具工事一式

FUJI SASH
奈良不二サッシ株式会社

代表取締役　萩本勝美

〒630－8452　奈良市北之庄西町1丁目12番地の2
TEL0742－62－4111
FAX0742－62－2020

衛生・空調　防災設備／設計・施工・管理

奥村設備株式会社

代表取締役　奥村大隆

〒630－8452
奈良市北之庄西町1丁目9番13号
TEL（0742）63－5735
FAX（0742）63－5736
E-mail:ok-s@viola.ocn.ne.jp
http://www.oks-kk.com/

総合建設業
一級建築士事務所

株式会社 守谷組

代表取締役　守谷俊則

本　社　奈良市法華寺町351番地2
〒630-8001　TEL0742－34－0009
FAX0742－34－0018

ホームページ:moriyagumi.info

総合建設業

SHOSEI
翔星建設株式会社

代表取締役　吉田　裕史

本　社　奈良市奈良阪町1085
TEL0742－23－6768
FAX0742－23－6769
ストックヤード　奈良市鹿野園町567
TEL0742－23－6768
FAX0742－81－7238
http://shoseikensetsu.co.jp

左官工事・補修工事
GL工法施工　一式請負
奈良県知事許可第7282号

川村左官工業

代表者　川村憲一

〒631－0056　奈良市丸山2丁目4498－119
TEL（0742）48－5938
FAX（0742）48－5091

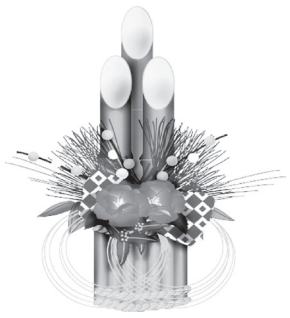
塗料の百貨

米澤塗料株式会社

取締役会長　米澤博之
代表取締役　米澤清次

奈良市北之庄西町1丁目10－5
TEL(0742) 61-6333㈹ 63-3740･63-3741
FAX(0742) 61-6374･63-3743

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

MIKUNI
株式会社三国建設
代表取締役　安西徳人
〒632-0073 奈良県天理市田町193番地3
TEL(0743)63-2111(代)
FAX(0743)63-6602
ISO9001 ISO14001

総合建設業
株式会社石田建設
代表取締役　石田浩子
奈良市恋の窪二丁目6番2号
TEL（0742）34-7003
FAX（0742）36-1528

Nara
Ryokka Group
官公需適格組合
近畿経済産業局近畿第30号
奈良県知事許可(特−5)第18353号
ISO9001・ISO14001認証取得
奈良県緑化土木協同組合
組合員一同
〒630−8305
奈良市東紀寺町2丁目8番8号
TEL：0742（24）4128
FAX：0742（26）0138
http://www.ryokka.or.jp

こども達の未来を考える
一級建築士事務所
株式会社和田工務店
代表取締役　和田　欣也
新築・リフォーム
耐震診断・古民家再生
ZEHビルダー登録済
〒632-0072　奈良県天理市富堂町211-1
tel：0743-63-1010　fax：0743-62-3990
mail：wadakoumuten@wada-co.com
https://www.wada-co.com

総合建設業
株式会社良金興業
代表取締役　吉田良金
奈良市神殿町11−1
TEL（0742）63−8100
FAX（0742）63−8101

OKABE
暮らしを創造する工務店
総合建設業
株式会社岡部工務店
代表取締役　岡部充起
〒632−0055 奈良県天理市遠田町柳枝201−1
TEL(0743)67−2291 FAX(0743)66−3522
E-mail:k.k.okabekoumuten@chive.ocn.ne.jp

ISO 9001
ISO 14001 認証取得　〜水と空気で確かな技術をあなたのもとへ〜
給排水設備・空調工事 設計・施工
竹田水道工業株式会社
代表取締役　竹田知弘
本　社　〒631−0052 奈良市中町235−1
TEL 0742−46−2955 FAX 0742−46−2956
生駒営業所　〒630−0262 生駒市緑ヶ丘1419−1
TEL 0743−85−5178

株式会社弥杜工業
MITO KOGYO
代表取締役　林　龍児
〒630-8115　奈良市大宮町7丁目1-65-1
TEL:0742-93-4563 FAX:0742-93-6321

BRINGING EXCELLENCE INTO THE FUTURE
日誠建設株式会社
代表取締役　森田　徹
ISO9001・14001取得
〒632−0072 天理市富堂町33−1
TEL 0743−68−1570
FAX 0743−68−1576

奈良県代理店
日鉄神鋼建材㈱・㈱ダイクレ
朝日スチール工業㈱・積水樹脂㈱
株式会社ひのり
代表取締役　吉村克彦
〒630−8207　奈良市今小路町68番地
TEL0742−26−5757
FAX0742−22−5318

生コンクリート・建材・販売
株式会社　西商店
代表取締役社長　西　精男
奈良市法蓮町962番地19
TEL（0742）22−6201
FAX（0742）22−7685

クレーン工事一式
鋼材リース・販売・施工
奈良県知事許可(般−5)第16368号
株式会社井原重機
代表取締役　井原義一
〒632−0081　奈良県天理市二階堂上ノ庄町95−25
TEL（0743）64−2526
FAX（0744）48−3562
E-mail:iharajuki@gmail.com

建築・板金工事一式
三洋工業KK奈良県特約店
中辻正鈑金属興業株式会社
代表取締役　中辻安則
奈良市南京終町1−72
☎（0742）62−0761(代)
FAX（0742）62−3646

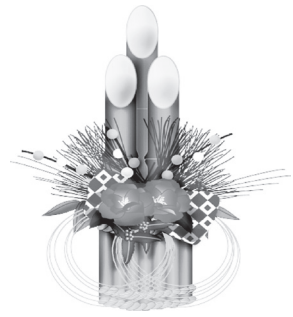
yoshino
奈良県知事許可第16202号
(一社)日本塗装工業会会員
吉野塗装株式会社
代表取締役　伊藤政夫
本　店　〒630−8052　奈良市七条東町3−14−1
TEL（0742）33−2629(代)
FAX（0742）33−2646
大和郡山営業所　〒639−1112　大和郡山市白土町681−4
E-mail:yosino.t@poem.ocn.ne.jp

左官工事一式
A・S・Kグループ　・左官工事　・ブロック工事
事業内容　・外構工事　・各リフォーム工事
奈良県知事許可(般−5)第15628号
株式会社A・S・K左官工業
代表取締役　國本英輔
〒632−0051 天理市中山町1077−12
TEL 0743−67−3222
FAX 0743−67−3223

道路切断工事
ウォールカッティング工事
ダイヤモンド穿孔工事
㊕奈良カッター工業
代表者　福永　悟
奈良市南紀寺町3丁目281−13
TEL（0742）23−4106(代)

明日の住まいに奉仕する
ビル・建造物の総合清掃管理
株式会社奈良保健衛生社
代表取締役　若原邦弘
奈良市法華寺町1430（一条高北）
TEL（0742）㉝2564
FAX（0742）㉟1521

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

土木総合請負業
奈良県知事許可(般－3)第13644号
親海建設株式会社
代表取締役　前川雄洋
〒635−0074　大和高田市市場５５７－５
ＴＥＬ（０７４５）２２－０７８８
ＦＡＸ（０７４５）５１－０８８８

総合建設業
株式会社ソレイユ
代表取締役　西本智彦
〒639−2101　奈良県葛城市疋田１４０－３
ＴＥＬ０７４５－６９－９８２８
ＦＡＸ０７４５－６９－９８２８

KAJITA　価値空間創造会社
私たちは提案型企業をめざします
株式会社鍛治田工務店
代表取締役社長　鍛治田八彦
本店･大阪本社／〒541−0044 大阪市中央区伏見町３－２－６
TEL.06−4707−1351㈹ FAX.06−4707−1352
奈良本社／〒639−2216 奈良県御所市１５０－３
TEL.0745−65−2131㈹ FAX.0745−65−2192
東京支店・名古屋支店

土木総合請負業
奈良県知事許可（特-4）第15328号
株式会社山邉組
代表取締役　山邉敏治
〒635−0074　大和高田市市場５４１－８
ＴＥＬ０７４５－２５－００７２
E-mail:yamabegumi@arrow.ocn.ne.jp

国土交通省
Ｍグレード認定工場
株式会社安川鉄工建設
代表取締役社長　安川浩嗣
（本社工場）奈良県葛城市忍海１７０番地
〒639-2123　ＴＥＬ０７４５-６２-０９７９㈹
ＦＡＸ０７４５-６２-０７０１

株式会社　西本組
NISHIMOTOGUMI CO.,LTD
代表取締役　西本貴浩
〒639-2277　奈良県御所市室117-1
ＴＥＬ　0745-62-2881・0745-63-0505
ＦＡＸ　0745-65-2221（営業部・総務部）
ＦＡＸ　0745-65-2239（工事部）
E-mail nishimoto@nishimotogumi.co.jp

大和ガス住宅設備株式会社
代表取締役社長　中井俊之
大和高田市旭南町８―３６
☎（０７４５）２２―７１６１㈹

建築・土木・防水
吹付超速硬化ウレタン、ポリウレア樹脂
有限会社エバー工業
代表取締役　大野敏和
本社奈良県葛城市弁之庄５９－７
営業所奈良県葛城市北道穂１３８－１
TEL0745-69-5777　FAX0745-69-5778
http://www.ever-kogyo.co.jp/
E-mail:info@ever-kogyo.co.jp

綜合建設業　ISO9001認証取得
株式会社石本工業
生コンクリート製造販売　JIS A5308認証取得
御所生コンクリート株式会社
代表取締役　石本宗人
奈良県御所市柏原１４２６
石本工業 ☎0745-65-0225　FAX0745-65-0585
御所生コン ☎0745-65-0221　FAX0745-65-0223

コンクリート杭頭処理工事　ダイヤモンドコア穴明工事
斫り工事一式　鉄骨･鉄筋･木造･解体工事　請負
山本組株式会社
代表取締役　山本昭博
〒635−0025 大和高田市神楽三丁目９－３マツダビル2F2号
ＴＥＬ０７４５－４４－９１０５
ＦＡＸ０７４５－４４－９１０６
E-mail ya812@mild.ocn.ne.jp

建築から塗装までトータルでお任せ下さい
建築工事　塗装工事　防水工事　看板工事
株式会社江頭建装
代表取締役　江頭司
奈良県葛城市葛木１５４番地４
TEL(0745)69−6479 FAX(0745)48−8212
精密機械塗装　機械焼付塗装　各種メッキ　アルマイト加工
株式会社エガシラ塗装
代表取締役　江頭義内
奈良県橿原市新堂町313番地1 奈良県ハイテク工場団地協同組合内
TEL(0744)24−6626　FAX(0744)24−6627

建設資材総合商社
各種新建材・各種銘木・住宅機器
内装工事・ALC工事・サイディング工事
タカダビルテック株式会社
代表取締役　正司茂希
本　社　御所市茅原７８番地の１
〒639−2241　☎(0745)62−9783㈹　FAX(0745)62−8670
配送センター　大和郡山市矢田４７７３
〒639−1058　☎(0743)58−5556　FAX(0743)58−5557
https://www.takada-billtec.com

塗床工事・床改修工事
金属工事（アルミ笠木･EXP･Jカバー･天井ルーバー･目隠しパネル）
ABC 特約施工販売店
株式会社サン商会
https://www.sun48.co.jp
代表取締役　田中信幸
本　社　大和高田市日之出西本町４－９
〒635−0024　ＴＥＬ０７４５－２２－４４５５㈹
ＦＡＸ０７４５－２２－２７８８

タイル・大理石・サイディングパネル・レンガ・ブロック・インターロッキング
住設機器施工及び販売
株式会社上埜タイル
代表取締役　上埜喜章
大和高田市築山１１７－１
ＴＥＬ（０７４５）２２－２３０６㈹
ＦＡＸ（０７４５）２２－１５２２

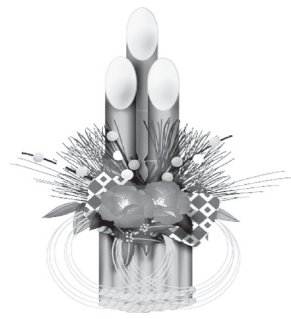
お届けするのは、未来につづくエネルギー
NISHIKAWA
西川燃料株式会社
代表取締役　西川大輔
〒639-2312　奈良県御所市櫛羅 116 番地
☎ 0745-63-0666　FAX 0745-65-1315
https://www.e-nishikawa.co.jp
E-mail:n-info@e-nishikawa.co.jp

構造物メンテナンスのエキスパート
奈良県知事許可（般－６）第１６６３４号
株式会社シックス・エム
代表取締役　森本大介
〒635−0063　大和高田市礒野新町１－３３
ＴＥＬ０７４５－５２－８８８０
ＦＡＸ０５０－６８７７－６２７７
E-mail　morimoto_6m@yahoo.co.jp

道路標示･道路標識･道路反射鏡
薄層舗装・交通安全施設
大和株式会社（ヤマト）
代表取締役　津田勝規
奈良県大和高田市大字松塚１０５４番地の４
ＴＥＬ（０７４５）５２－２１０４
ＦＡＸ（０７４５）２２－３１０４

TILE NISHIKAWA
株式会社　西川タイル
〒639-2207　奈良県御所市今城５４番地
TEL　0745　62−3808㈹
FAX　0745　62−1595
E-mail: nishikawa-t@email.plala.or.jp

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

総合建設・解体工事業

株式会社 中川組

代表取締役　中川茂宣

QMS.EMS ISO 9001 ISO 14001 認証取得　JAB 認証取得

本社 〒634−0847 奈良県橿原市飯高町113−2
TEL 0744−25−8787　FAX 0744−25−3797
E−mail:general-affairs@nakagawagumi.org
HP http://www.nakagawa-gumi.jp/

『夢咲く住・空間』
建設業許可奈良(特−4)第2945号

KATO かとう建設株式会社

代表取締役　嘉藤良道

本店 〒634−0804 橿原市内膳町1丁目4番9号
TEL 0744 (22) 9100　FAX 0744 (22) 1883
URL https://www.kato-kensetu.jp/

YAMATO 大和信用金庫

理事長　中村正徳

本店　桜井市桜井281−11
☎(0744)42−9001
URL https://www.yamato-shinkin.co.jp/

防水工事　止水工事　責任施工
内外塗装吹付工事　責任施工

有限会社 飛鳥工業
ASUKA

代表取締役　長谷忠直

〒634−0034 橿原市飛騨町25−2
TEL 0744−25−0722
FAX 0744−29−7577
E-mail:ask-hase@kcn.ne.jp

国産無垢材の製造・加工・販売
不燃木材、特注造作材など承ります

YOSHIDA 吉田製材株式会社

代表取締役　吉田 敦彦

〒633-0065　奈良県桜井市吉備 557
TEL：0744-42-2124　FAX：0744-45-4766
https://www.yoshidaseizai.co.jp/

誠意と技術であしたを拓く

株式会社 髙岸

代表取締役　髙岸典雄

本社　奈良県桜井市初瀬2437
〒633-0112　TEL (0744) 47−7722
FAX (0744) 47−7070

ビル総合管理・建設工事
電気工事業、消防施設工事業、管工事業
機械器具設置工事業、清掃、警備業全般

阪神管理サービス株式会社

代表取締役社長　清水克益

本社　橿原市八木町1−8−15(ヤマトー八木4F)
〒634−0078　TEL(0744)㉒7012　FAX(0744)㉕4802
大阪支店　大阪市中央区南船場3−3−26(大阪ジュエリービル7F)
〒542−0081　TEL(06)6243−9692　FAX(06)6243−9693
http://www.hanshin-kanri.co.jp

KIKUDOKA
鋼材・鉄鋼二次製品・建築金物・機械工具・電動工具・エクステリア用品・土木資材・ガードレール・フェンス・現場製作金物(スチール・ステンレス・アルミ)設計施工・建築・土木工事及びこれに付帯する一切の業務

株式会社 菊岡金物店

代表取締役　菊岡徳高

本社　奈良県桜井市外山604
TEL (0744) 43−4518㈹
FAX (0744) 42−2596

綜合建設業

ISHIBASHI 株式会社 石橋組

代表取締役　石橋昌憲

ISO9001 ISO14001
〒633−0077　桜井市大西781−2
TEL 0744−45−0727
FAX 0744−45−0746

警備の事なら・・・

奈良県公安委員会認定第64000358号
一般建設業奈良県知事許可(般−3)第17859号

エスティエフ株式会社

本社　〒634−0042　奈良県橿原市菖蒲町4丁目29番11号
TEL0744−28−0402　FAX0744−28−1234
大阪支店　大阪府堺市深井沢町3229

クレーン工事一式

DAIWA 株式会社 大和レッカー

代表取締役　梶川勝好

〒633−0052　奈良県桜井市浅古161
TEL 0744−43−3323
FAX 0744−42−4566

(一社)全国警備業協会加盟(一社)奈良県警備業協会加盟
奈良県公安委員会認定第64000268号

株式会社 SEIWA

本社　〒633−0067　奈良県桜井市大福196番地の10
TEL0744−42−4111　FAX0744−28−1234
E−mail　seiwa.keibi@gmail.com

総合建設業
建築・土木・解体・舗装

株式会社 平成建設
HEISEIKENSETSU

[BUILD] つくるその先に価値を

代表取締役　吉崎真仁

〒634-0831 奈良県橿原市曽我町352−4
TEL：0744−22−3800
FAX：0744−25−4373

◇◇◇ 土と水で郷土を築く ◇◇◇

大東建設株式会社

代表取締役　山下善一

〒634-0014　奈良県橿原市石原田町297番地の12
TEL　0744-29-1648
FAX　0744-29-1645
https://daitou-kensetsu.com/

建設業許可・入札参加願・労働保険
社会保険・各種官公庁提出書類
申請代行

行政書士・社会保険労務士

大倉ビジネス コンサルティングセンター

代表者　大倉房男

奈良県桜井市粟殿734
☎(0744)㊸7535㈹
FAX(0744)㊸3251

11年3月頃の開園目指して

認定こども園設計業務

桜井市

桜井市は「（仮称）旧学校給食センター等敷地認定こども園設計業務委託」を桝谷設計に委託して進めている。委託期間は6月30日。

旧学校給食センター（大字河西）

計画施設である（仮称）旧学校給食センター等敷地認定こども園は、延べ面積約2300平方㍍、施設定員182人（0歳～5歳児）。耐震安全性は構造体Ⅱ類・建築非構造部材B類・建築設備乙類。対象となる敷地は大字河西96、97―1、98、99、100、101、104―1、200、205―1、206、207、208、209、210、222、223、224、794、795番地。敷地面積約8812平方㍍。必要所室は0歳～5歳児の保育室をそれぞれ60平方㍍、早朝延長保育室、遊戯室、図書室のほか職員の更衣室や休憩室等。

主な業務内容は、現況調査や概算工事費・建築積算工事費の提示、工事計画の検討、基本・実施設計業務、解体見直し設計業務など。

プロポーザル時点での事業スケジュールでは、設計6月30日まで、解体が7月～9年2月、建設が3月～11年1月を予定しており、開園は11年3月頃。

民間事業者等主体の活動定着へ

駅周辺地区エリアマネジメント構築支援

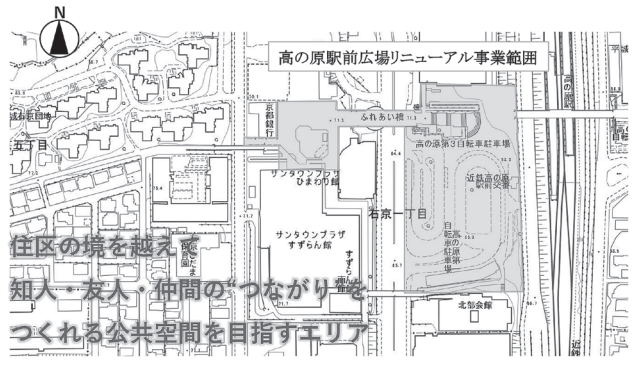
奈良市

奈良市は「高の原駅周辺地区エリアマネジメント構築支援業務委託」を市浦ハウジング&プランニング・オープンエー共同企業体に委託して進めている。委託期間は10年3月31日。

同業務は、高の原駅前広場を核とする高の原エリアにおいて、地域・民間事業者等を主体としたエリアマネジメント組織による持続的な公共空間の運営に向けた同市事業の包括的な伴走支援を行うもの。これにより、高の原エリアの特性を生かした自立的かつ継続的な公民連携での運営体制を確立させるとともに、高の原駅前広場が住区の境を越えた地域の交流拠点としての機能を十分に発揮できるよう、受注者の専門知識・実践的なノウハウを生かしながら、関係者間のコミュニケーションを促進し相互理解することで、業務完了後も持続可能な地域・民間事業者等を主体としたエリアマネジメント活動の定着を図ることが目的。業務の対象となるのは右京1丁目他。

主な業務内容は、エリアプラットフォーム運営支援やアクションプラン作成支援、社会実験の企画・運営、エリアマネジメント組織の持続可能な運営モデル構築支援、情報発信・プロモーション支援、各年度の取組報告、検証、次年度計画のほか総括報告など。

社会実験は今年11月開始予定で、高の原第一自転車駐車場跡地（約620平方㍍）及び（仮称）街角ハウス建設予定地（約100平方㍍）周辺で数カ月単位の実施を想定。なお、駅前広場での社会実験の実施にあたっては、整備工事の支障とならない範囲とする。



公立保育所等の老朽化の進行等により

幼保再編計画の策定支援

大和高田市

大和高田市は「大和高田市幼保再編計画（個別施設計画）策定支援」を船井総合研究所に委託して進めている。委託期間は9年1月31日。

今回の業務は、民間の活用やこども園化も含めた公立保育所等の整備等の検討を行い、同市における公立保育所等の在り方や再編成計画及び個別施設計画の策定を求めるもの。

業務の対象となるのは保育所やこども園、幼稚園等の14施設。主な業務内容は次の通り。

▽計画準備・資料収集整理＝業務実施計画書（業務内容、業務工程表、業務実施体制）を提出。

▽公立保育所等の状況整理＝公立保育所等の現状把握及び整理並びに各種将来推計の整理をするため、公立保育所等及び民間保育所等のデータ整理や学校再編計画における幼稚園データの把握、令和9年度～18年度までの10年間の各施設の児童数等の推移及び将来推計を実施。

▽市民アンケート調査の実施＝市民アンケートの実施や報告書を作成。

▽民間意向調査の実施＝公立保育所等の民間移行に関して、市内で民間保育所等の新規開設の意向等を把握するため、調査を約50施設に対して実施。

▽検討委員会等の開催運営支援＝検討会議（外部有識者を含む）を開催するに当たり、会議資料の作成及び議事録（要旨）の作成や会議への出席、必要に応じた資料説明及び質疑に対する回答等の支援を行う。

▽住民合意形成支援＝地域住民の多様な意見や考え方を調整し、地域住民の意思決定をスムーズに進めるための手法提案。また、必要に応じて説明資料の作成及び議事録（要旨）の作成、説明会への出席及び質疑に対する回答等の支援を行う。

▽パブリックコメントの実施支援。

▽幼保再編計画策定支援＝幼保再編計画の策定について、仕様書記載の内容の検討や助言、提案及び策定支援を行う。

対象施設は、公立保育所等とし、施設名及び住所は以下のとおりとする。

施　設　名	住　　所
天満保育所	大字吉井７４番地２
みどり保育所	曙町２０番３５号
片塩保育所	旭北町４番３４号
浮孔保育所	西三倉堂１丁目１３番１４号
磐園保育所	大字有井１０８番地２
高田西保育所	大字市場５３５番地１
高田こども園	内本町１１番２２号
土庫こども園	土庫１丁目１０番１９号
片塩幼稚園	旭北町２番４号
磐園幼稚園	大字有井１９番地
浮孔幼稚園	蔵之宮町１番３０号
菅原幼稚園	大字吉井３４０番地１
陵西幼稚園	大字池田２番地２
浮孔西幼稚園	曽大根１丁目８番１号

現状及び地域課題等整理支援など

地域福祉・福祉活動計画策定支援

天理市

天理市は「天理市地域福祉計画及び天理市地域福祉活動計画策定支援業務」を名豊に委託して進めている。計画の策定は3月31日で、8年度から計画に基づいた事業を実施する。

同市では、社会福祉法の規定に基づく地域福祉計画及び地域福祉活動計画の一体策定にあたり、市が抱える様々な課題を洗い出し整理するとともに、今後の市の方向性を明確に計画へ反映することが必要。第1期計画内容を踏まえて第2期計画に反映し、新たな地域福祉課題及び対策に関する内容について新たに盛り込んでいく。

また、同市では計画策定の過程を重要視し単に計画を策定するだけでなく計画策定を通して市民や各種団体の関係者に計画の意義を十分に理解してもらい、計画策定後の実務へと繋げるところまでを含めて計画策定作業と考えている。

同業務は、単に市の現状を把握及び整理し市民等の参画機会を設け意見を集約し計画に記載するだけでなく、計画策定後の取組に繋がる計画内容を盛込む業務を進めていくため、豊富な経験及び高度な専門知識を有する事業者に策定業務の一部を委託するもの。

主な業務内容は計画策定準備及び計画策定方針の作成支援、同市の現状及び地域課題等整理業務支援、福祉とその他分野との連携における一体的支援の提案及び計画への活用支援、市民等の参画に関する業務支援、関係団体等に対するヒアリング調査に係る支援業務、計画骨子案の策定・計画案の策定支援等。

「イコマド」の機能を拡張

セイセイビル整備事業

生駒市

生駒市は「生駒市セイセイビル整備事業設計及び工事監理業務委託」をウチダシステムズに委託して進めている。委託期間は3月31日。

同市では、第6次総合計画第2期基本計画において、市民・事業者等の交流の場の創出に向けた新たな空間の整備、都市計画マスタープランでは、職住近接・合一を意識した空間再編として、生駒駅南側にインキュベーションオフィス、コワーキングスペースを創出していくことが掲げられているところ。

同業務は、市民や起業・創業者を含む事業活動と交流の場を創出するため「イコマド」の機能を拡張し、セイセイビル1階に新たな交流の拠点を整備することとなったことから、整備に係る実施設計及びその工事監理を行うもの。

対象施設である生駒セイセイビルは元町1丁目6番12号に位置し、SRC造建物面積7341・6平方㍍。今回の整備対象となるのは1階A区画の約170平方㍍とB区画の約30平方㍍。

主な業務は1階A区画内デザイン等作成業務（①意匠デザインの作成②1階A・B区画の備品の選定提案業務）や実施設計業務。

香芝市

市を象徴する施設へ
複合施設整備基本計画策定

香芝市は「香芝市複合施設整備基本計画策定業務」を佐藤総合計画関西オフィスに委託して進めている。委託期間は3月31日。

同業務は、旧香芝市モナミホールや市中央公民館及び市ふたかみ文化センターの機能の集約化及び多機能化を図り、子どもから高齢者までが安心して過ごすことができる場、生涯学習及び地域活動を行うことができる場及び地域の人々の郷土を大切にする思いが込められた同市を象徴する場となる複合施設を整備するための基本計画を策定することが目的。主な業務内容は次の通り。

▽事業目的等の整理＝事業に関するこれまでの経緯や関連計画、現地条件及び複合施設の特性等を踏まえ、事業目的等を整理。

▽計画を策定するに当たっての条件等の整理＝前記の内容を踏まえ、整備予定地の現地踏査を実施し、並びに既存施設の資料、敷地条件及び法規制条件等の計画を策定するに当たっての条件等を整理。

▽市民等への意向調査＝近隣市町村を含め同種及び類似施設等の利用状況を把握し、本複合施設の利用に対する需要を調査するために、市民や複合施設の利用が見込まれる団体等への意向調査を実施及び整理。

▽施設整備方針の決定＝市民等への意向調査及び「香芝市複合施設整備基本構想」を踏まえ、基本計画において改めて施設整備方針を決定する。

▽導入機能及び規模の検討＝複合施設に導入する機能及び規模を整理。また、市役所来庁者のための駐車場整備検討地及び立体駐車場整備予定地についても、必要な規模を併せて検討する。

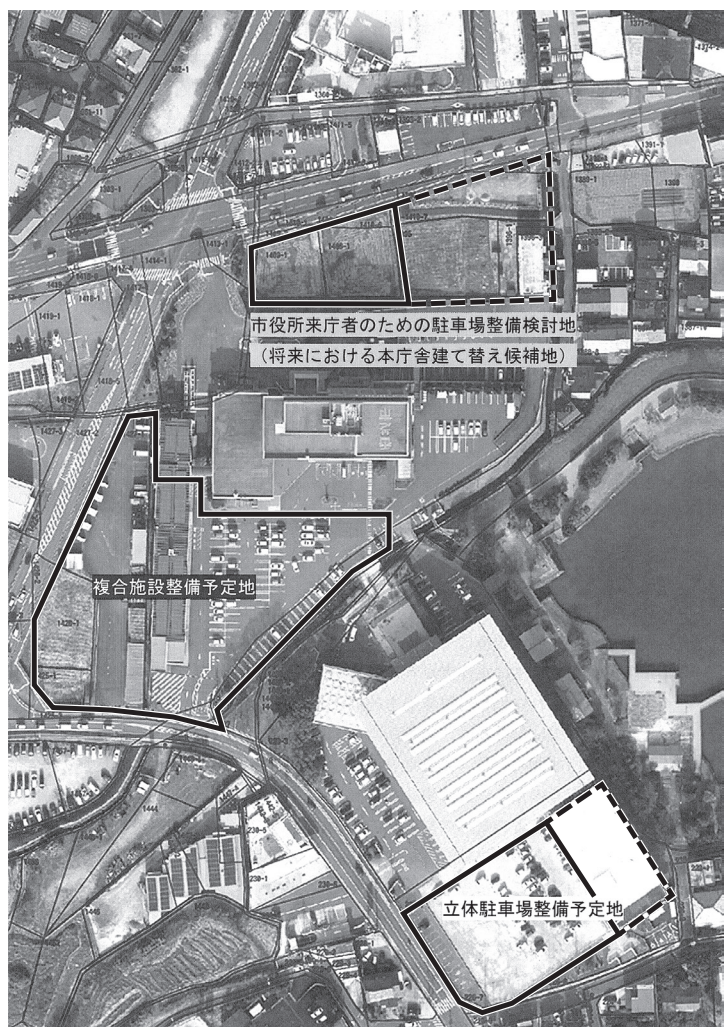
▽設備の配置等の検討＝施設の整備に当たり、設備の配置、間取り及び動線を検討する。なお、設備の配置や間取り及び動線の検討に当たっては、市役所の周辺の公共施設等の動線及び出入口の道路交通環境を踏まえ都市計画法、建築基準法等に準拠する必要があることから、建築確認申請上の敷地設定等を含めて検討する。

▽概算事業費の検討＝複合施設の整備における概算事業費を検討。概算事業費の算出に当たっては、積算単価の根拠を明確化するとともに工事の段階別の工程表等を作成し、仮設工事、解体工事等も踏まえた概算事業費を算出。

▽イメージパースの作成＝設備の配置、間取り及び動線の検討において選定された案に基づき、そのイメージパースを作成する。

▽事業手法及び運営方式の検討＝想定される事業手法を抽出するとともに、各事業手法のメリット及びデメリット等を比較し最適な事業手法を検討。事業手法の選定においては、施設の用途や管理区分ごとに運営方式の検討を行う。

▽土地収用法による事業認定の支援＝複合施設整備予定地及び香芝市役所来庁者のための駐車場整備検討地において、市が土地収用法による事業認定を行うに当たり、当該事業認定の手続が完了するまでの間、必要な説明会の開催や申請書類の作成等の支援を行う。



配置検討図

五條市

民間の専門性や創意工夫を反映
（仮称）市民交流施設整備 アドバイザリー・基本計画策定

五條市は「（仮称）五條市市民交流施設整備事業アドバイザリー・基本計画策定業務」を図書館総研・TRC共同事業体（東京都文京区）に委託して進めている。委託期間10年3月24日。想定する施設規模は4700平方メートル。

同市では「中心市街地の活性化・にぎわい創出のためのまちづくりプロジェクトに基づき、旧イオン五條店敷地に民間商業施設と合築または併設し「（仮称）五條市市民交流施設市民交流施設」の整備を行う。市民交流施設は、中心市街地における市民の交流や広域的な集客を生み、同市のにぎわい創出の核となる重要な役割を担う施設に位置付けられる。

同業務では、プロジェクトの理念やワークショップで得られた市民の意見を基礎として、民間の専門性や創意工夫を十分に反映した施設整備を行うため、一連の業務を担う事業者を選定する。なお、設計関連業務に運営の視点を取り入れることで、施設の利用価値や満足度を最大限に高め、市民ニーズに合致した質の高いサービスの提供を目指す方針。

施設機能としては、図書館や子どもの遊び広場、ホールの他、スーパー等の民間商業施設等を想定している。主な業務内容は次の通り。

▽施設コンセプト、サービス内容の提案・助言＝①施設コンセプトの検討②サービス内容の検討③関連事業者へのヒアリング。

▽施設の機能や規模等に関する施設計画等への提案、助言＝①整備方針及び諸室規模の検討②平面プランへの助言③基本計画の策定④基本設計、実施設計の検討⑤機能相関図の検討。

▽設備計画等の提案・助言＝①設備・備品等の検討②備品等整備スケジュールの検討。

御所市

5施設を対象に
認定こども園整備基本計画策定

御所市は「御所市北部認定こども園整備基本計画策定業務」をトーマツに委託して進めている。委託期間は3月31日。対象となるのは御所幼児園、秋津幼児園、石光保育所、幸町保育所、小林保育所（休所中）。主な業務内容は次の通り。

▽計画準備・資料収集＝業務実施計画書の作成・提出。また、必要な資料について貸与を受け資料の収集整理を行う。

▽計画の概要作成。

▽上位計画及び関連計画の整理＝教育・保育に関連する上位関連計画を把握し整理とりまとめ。

▽職員、市民等意向調査の実施＝対象施設の職員を対象にワークショップを2回以上開催し企画や運営、意見集約・整理とりまとめを行い計画に反映する。また、市内未就園保護者及び対象施設在園児の保護者に対してアンケート調査を実施すること。調査票の設計、配布や集計・分析、調査結果のとりまとめを行う。

▽対象施設の現状と課題の整理＝対象施設に含まれる就園前児童の推移や将来推計を行う。また、対象施設の概要や利用状況、定員充足率、職員数、通所状況について把握し整理し、現状把握の結果を踏まえ課題を整理する。

▽整備候補地の検証。

▽整備方針の検討＝対象施設統合後における定員数や保育士・保育教諭数の設定を行うとともに、施設整備の方針を検討し明らかにする。

▽整備基本計画の検討＝①基本計画プランの検討②構造・設備に関する検討③外構に関する検討。

▽管理運営計画の検討。

▽概算事業費の検討。

▽整備事業スケジュールと課題の整理＝基本計画策定後～開園に至るまでの整備スケジュールについて検討。

▽基本計画書の作成＝これまでの検討結果を踏まえ「（仮称）御所市北部認定こども園整備基本計画」と概要版を作成して提出。

▽庁内検討会議の運営支援（計4回程度）。

宇陀市

面会・マッチング機会の創出など
企業誘致促進業務

宇陀市は「令和7年度宇陀市企業誘致促進業務」をキョウエイアドインターナショナルに委託して進めている。委託期間は3月18日。

同市は、サテライトオフィスや未利用の公有地等への企業進出を促進し、賑わいと交流を生み出すまちづくりを進めるとともに労働者の掘り起こし、若年層の労働の幅を広げる環境づくりや都会からの労働者の受け入れ場所の確保により、市内での雇用促進や関係人口増加による地域の活性化を目指している。

同業務は、多様な特徴を持つ市内の地域資源活用や課題解決に繋げるため、受託者の持つ誘致に関するノウハウで地域に根差した新たなビジネスの創出と地域経済や地元産業の活性化を図るための企業誘致が目的。主な業務内容は次の通り。

▽企業への情報提供、進出検討企業との面会・マッチング機会の創出＝進出を検討する企業や働く場所にとらわれない企業をピックアップし、宇陀市との面会、マッチング機会を創出するための誘致活動を行う。

▽視察ツアーの開催。

▽大都市と宇陀市内での企業対応の代行＝進出検討企業に対する対応デスクを特定の大都市（東京都特別区部、大阪市、名古屋市、横浜市、京都市、札幌市、福岡市）及び宇陀市内に常設し、必要に応じたサポートを行う。

▽誘致支援ミーティングの実施＝誘致に係る不明点や懸念点をなくし、効率的な業務遂行と効果的な誘致活動を実施できるように、契約月から月1回以上の宇陀市との定例ミーティングを対面またはオンラインで実施。

▽宇陀市への企業進出に係るマッチングイベントの実施＝同市への進出に関心のある企業に対し、進出に関する基本的なノウハウや企業による進出後の事例を紹介。企業と市とのマッチングの機会となる対面形式のイベントを特定の大都市（東京都特別区部、大阪市、名古屋市、横浜市、京都市、札幌市、福岡市）のいずれかで委託期間中に1回実施する。

大和郡山市

跡地活用方針等の検討など

公営住宅等長寿命化計画策定

大和郡山市は「大和郡山市公営住宅等長寿命化計画策定業務」を地域計画建築研究所に委託して進めている。委託期間は2月28日。

同市では、平成21年度より国土交通省の「公営住宅等長寿命化計画策定指針」に則り、公営住宅のストックの状況の把握と建物の計画的な維持管理、長寿命化への考え方と実施方針等を定める「公営住宅等長寿命化計画」を策定している。平成28年3月に策定された現行計画では、片桐東団地や霞ヶ丘団地、南谷団地への建替集約化の方針や市営住宅等の維持管理計画を作成し、実施して来たが計画期間が令和7年度で終了となる。

市が管理する公営住宅等の全てが対象

同業務は計画期間の終了を踏まえ、現行計画の現状分析・評価、市営住宅の現況把握と課題等の整理、長寿命化の基本方針や団地別の活用方法、計画改善・修理方針。建替事業や用途廃止後の跡地活用方針等の検討、庁内検討会議の支援を実施し令和8年度～17年度を計画期間とする次期計画を策定することが目的。

対象範囲は、市全域の同市が管理する公営住宅等の全てで、公営住宅17団地334戸、改良住宅3団地188戸。

橿原市

水使用量の削減など環境への配慮

小・中学校トイレ洋式化改修

橿原市は「橿原市小・中学校トイレ洋式化改修工事（デザインビルド改修）」を松吉組・徳本建築設計事務所コンソーシアム（代表松吉組）に委託して進めている。契約上の工期は3月18日。

市立小学校及び中学校のトイレの既設和式大便器を洋式大便器に更新するもの。これにより、児童や生徒が日常的に使用するトイレ空間における学校教育活動に適した良好な環境の確保と快適な学習環境を提供する為、洋式大便器設置率50％以上に到達させる。また、水使用量の削減など環境への配慮等を同時に達成することが目的。

事業の対象となる小・中学校を工事の調整、資材の確保その他、配置人員等から工区分け。市内北エリアをA工区、南エリアをB工区とした。8年度に整備するのは鴨公小学校、真菅小学校、香久山小学校の3校。各学校との協議により卒業式等の行事のために、トイレの場所によっては早期の部分使用を求める可能性がある。

契約公表後の主なスケージュールでは、施工完了期限が3月18日。洋式化は「LIXIL和洋改修工法」または「TOTO和洋リモデル工法」により施工。主な業務の範囲は次の通り。

▽簡易設計業務＝①施設のトイレ改修工事の簡易設計図の作成②施設のトイレ改修工事に必要な各種調査③次年度以降の別途計画との整合④施設との協議⑤セルフモニタリング業務⑥その他これらを実施する上で必要な関連業務。

▽トイレ改修工事＝①施設のトイレ改修工事の施工②近隣対策、対応③施設との施工に係る日程調整及び協議④施設のトイレ改修工事に必要な許認可等の手続（関係機関との協議申請等の手続）⑤セルフモニタリング業務⑥その他これらを実施する上で必要な関連業務。

▽工事監理業務＝①工事監理業務②セルフモニタリング業務③その他これらを実施する上で必要な関連業務。

【A工区】

所在区	学校名	改修対象便器数洋式化50％到達必要基数	改修前大便器数
大久保町156	畝傍北小学校	3	48（和27、洋21）
縄手町324	鴨公小学校	1	31（和16、洋15）
膳夫町98-1	香久山小学校	5	29（和19、洋10）
曽我町710	真菅小学校	5	62（和36、洋26）
雲梯町216-1	金橋小学校	3	53（和29、洋24）
上品寺町455-1	耳成西小学校	6	64（和38、洋26）
西新堂町26-1	橿原中学校	13	70（和48、洋22）

【B工区】

所在区	学校名	改修対象便器数洋式化50％到達必要基数	改修前大便器数
見瀬町164	畝傍南小学校	13	68（和47、洋21）
一町1296	新沢小学校	7	45（和29、洋16）
大軽町283	畝傍東小学校	3	49（和27、洋22）
石川町204	畝傍中学校	12	95（和59、洋36）
白橿町8-12-1	白橿中学校	8	55（和35、洋20）

※改修対象便器数洋式化50％到達必要基数は最低到達数である。必ずこの数以上の洋式大便器を設置すること。なお、工事実施に当たり、実際の改修個所の同意確認は、学校責任者と協議の上、決定すること。

生駒市

元町1丁目・本町他が対象

公共空間整備に向けた骨子案策定支援等

生駒市は「生駒駅周辺エリアの公共空間整備に向けた骨子案策定支援等業務」を市浦ハウジング&プランニングに委託して進めている。委託期間は3月20日。

同業務は「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を実現するため、過年度に実施した社会実験や庁内WGでの検討を基に、関連する調査や社会実験、地域住民・事業者等との協議などを行うことで、公共空間整備の実現可能性を高め「生駒駅周辺エリア再整備骨子案」としてとりまとめることが目的。

業務範囲は元町1丁目・本町他で、これまでに実施した社会実験や検討、第6次生駒市総合計画、都市計画マスタープラン、APFにて策定された「生駒駅南口みらいビジョン」など上位・関連計画等を踏まえながら、業務を実施する。主な業務内容次の通り。

【現況等調査・検証】

▽交通量等の調査・検証＝生駒駅南口ロータリー及び主要な通りなどの再整備にあたり、生駒駅周辺において交通量調査や駅前再整備に係る事例収集・調査、関連施策の調査を行う。

▽生駒駅北口案内サインの設置・検証＝生駒駅周辺地区において「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を実現するため、来街者の回遊性を高める案内サインの設置・検証を行う。

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」実現へ

▽社会実験の実施・検証＝いこみなエリアの滞留性・回遊性向上のための主要な通りの空間整備に向け、必要な社会実験の企画・実施を行うとともに、課題整理や効果検証を行う。

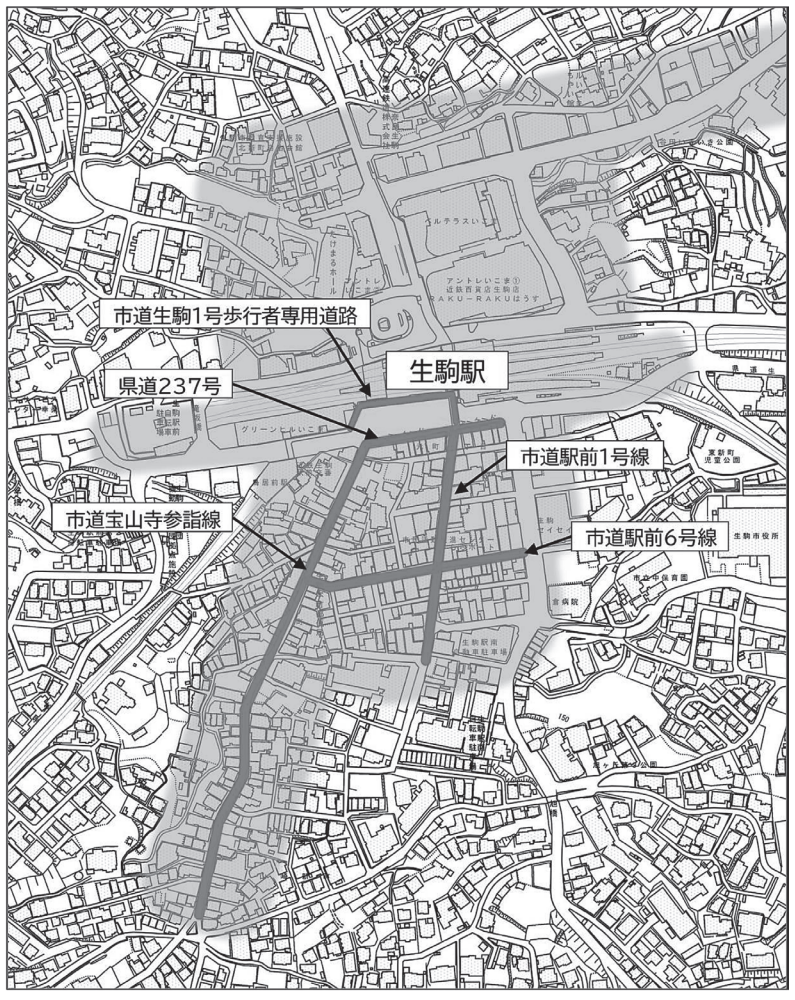
【生駒駅周辺エリア再整備骨子案の検討支援】

▽生駒駅周辺エリア再整備骨子案の検討支援＝ロータリー利用者等の意向調査」及び（意見交換の運営支援」で関係者などを対象に複数案のパースなどを比較検討できるアンケート・ヒアリングなどを実施する。

▽生駒駅周辺エリア再整備骨子案の検討支援＝ロータリー利用者等の意向調査＝ロータリーや道路の利用者、事業者等の意見交換の運営支援」で得た生駒駅周辺エリア再整備骨子案を作成。

【意見交換の運営支援】

生駒駅周辺エリア再整備骨子案の検討にあたり、多様な主体の意見を反映させるため、会議など意見交換の運営を支援する。意見交換の実施に際し、資料作成や資料説明等の運営補助、意見の整理・助言、アドバイザーの派遣など必要な支援を行い、意見を生駒駅周辺エリア再整備骨子案に反映する。



業務範囲

葛城市

民間施設の誘致を目的に実施
當麻複合施設周辺エリア活用

葛城市は「葛城市(仮称)當麻複合施設周辺エリア活用事業」を市民生活協同組合ならコープに委託して進めている。既存施設解体工事には、令和9年4月以降に着手する予定。

複合施設は、當麻文化会館を全面改修し當麻文化会館や當麻図書館及び當麻庁舎の機能を集約した施設として、令和8年度の供用開始を予定している。

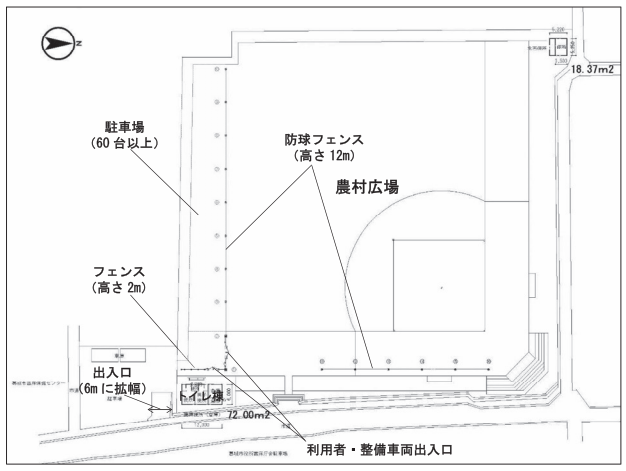
同市では、旧當麻庁舎跡地と當麻図書館及び當麻庁舎跡地に、複合施設及び農村広場利用者に必要な駐車場や防球フェンス等の整備。また、民間施設を誘致するため今回のエリア活用事業を実施する。

計画地は竹内長尾89―1他で敷地面積1万2015平方㍍。主な施設設備の条件は次の通り。

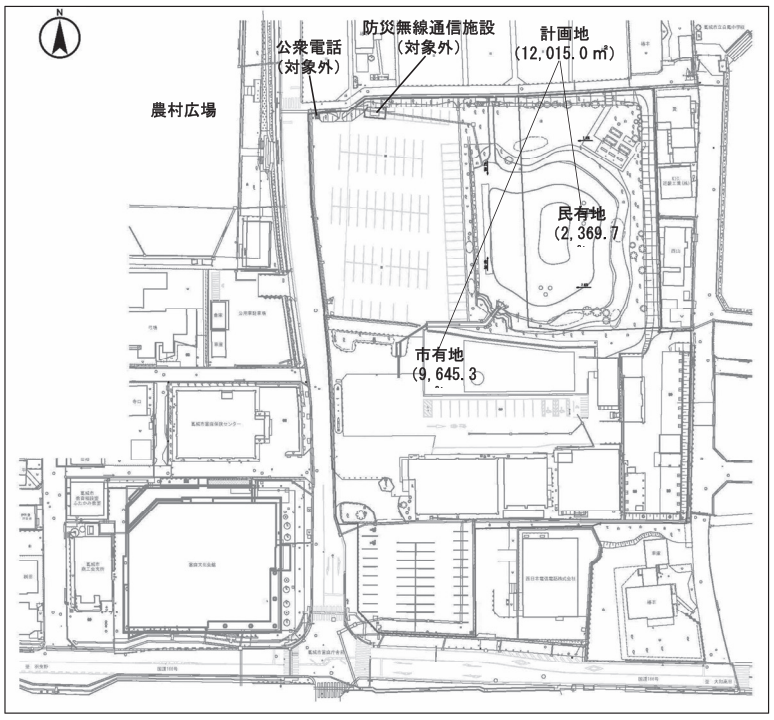
▽民間施設＝①地域のにぎわいや交流を創出する施設、複合施設との連携が図れる施設、コミュニティの活性化が図られる施設、地域の子どもたちが使いやすい施設等にすること②市は民間施設におけるATMの設置を期待しているため、設定の是非を検討すること③民間施設用地は、解体・撤去せずに残置する既存施設や工作物、植栽等を含め善良な管理者の注意義務をもって管理すること④外観や外構は、複合施設や市の歴史・風土、周辺環境に調和したデザインとすること―など。

▽市の駐車場＝駐車場は、計画地と農村広場の2カ所とし、地上平面駐車で105台(普通乗用車85台、軽乗用車20台)以上で事業者が提案する駐車マスを整備。また、駐車場のうち、100平方㍍程度を駐車場利用以外にイベント等で利用できるエリアとして計画。カラー舗装等のイベント等での利用に配慮した舗装にするとともに、各種イベントやキッチンカー等のサービス提供に対応した屋外コンセントや給排水設備を整備する。

▽農村広場（防球フェンス等を含む）＝農村広場南側に、地上平面駐車場として、普通乗用車60台以上で事業者が提案する駐車マスを整備。駐車場とグラウンドの境界となる駐車場北側には高さ12㍍の防球フェンスを、駐車場東側には高さ2㍍のフェンスを設置する。あわせて農村広場東面に高さ12㍍の防球フェンスを設置する。



農村広場整備の市のイメージ



計画地位置図

御所市

生涯学習の推進・スポーツの振興
健康増進スポーツ施設整備事業

御所市は「御所市健康増進スポーツ施設整備事業」をKGFAグループ（代表：鍛治田工務店、構成員：ゴセケン、福本設計、アクティック）に委託して進めている。事業期間は令和20年9月30日。

同市では「スポーツ交流拠点としての環境整備」を施策として掲げており、現在は市の体育施設は屋外型中心であるため天候にかかわらず利用でき、健康づくりや生涯学習、コミュニティに資する健康増進スポーツ施設の整備が望まれていること。市民意識調査において、市の弱みとして娯楽の場（憩いの場や公園、スポーツ施設等）が少ないという項目が挙げられ、健康増進スポーツ施設の設置が求められていることが挙げられている。これらのことから「生涯学習の推進、スポーツの振興」のための施策として健康増進スポーツ施設を整備する方針。

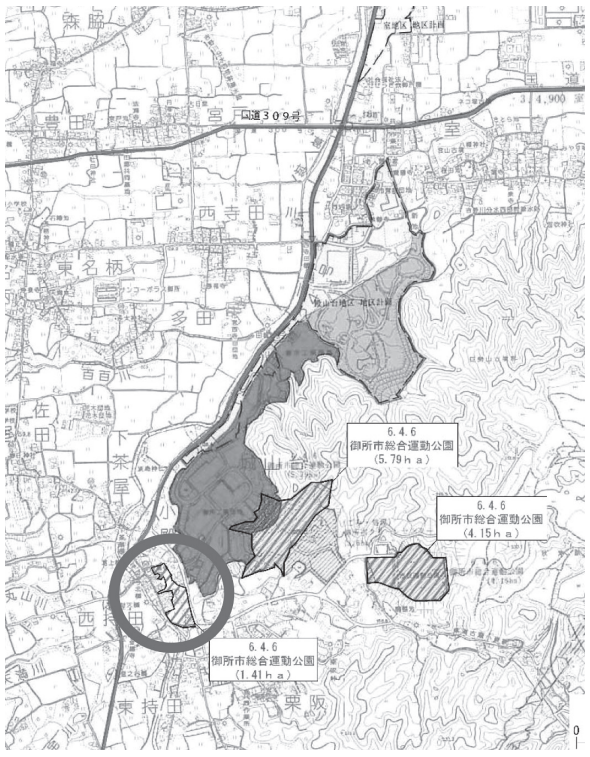
同事業は、スポーツ振興や健康増進、コミュニケーション向上や地域活性化などの推進、ひいては同市が目指す将来都市像の実現に向けて、健康増進やコミュニティ形成の拠点づくりの実現を目指すもの。

同施設の基本コンセプトは「自然と調和し、周辺環境に溶け込みながら、子どもから高齢者までの誰もが安心・安全・快適に利用できる、健康増進やコミュニティ形成の拠点づくり」。スポーツ振興や健康増進、福祉向上、コミュニケーション、地域活性化の5点を施設の基本方針とし、事業者はこれらを十分に踏まえた施設とする。

事業者が行う業務は設計・建設業務のほか、事前調査や工事監理、周辺対策、竣工検査など。設計・建設は10年6月まで、開業準備期間が維持管理・運営事業者提案日～10年9月、供用開始日が10月1日。

主な諸室はトレーニングルームや多目的室、25㍍×6コースを有するプールのほか、シャワーを含むドライスペース、脱衣室等。スタッフ用の更衣室やプール監視室・救護室等を設けた合計1500平方㍍程度となる。

施設外構は車椅子優先駐車区画や大型バスの駐車が可能となるよう計画する駐車場、送迎者用の乗降場等を設ける予定。



事業用地

田原本町

8年度～9年度に施工監理業務
学校給食C設計施工監理

田原本町は「田原本町学校給食センター設計施工監理業務」を綜企画設計に委託して進めている。委託期間は9年6月30日。

同町では、給食施設の自校方式を採用しており、各学校に給食室を併設している。しかし、半数以上の給食施設は老朽化が進んでおり、調理員の健康や食材の安全性から早急に空調設備の設置が必要。厨房機器も20年を超えて使用しているものもあり、更新が必要な状況。今回の設計施工監理業務は、小学校を対象とした調理・配送等を行う共同調理場（学校給食センター）を整備するもの。9年度中の供用開始を目指して7年度に設計業務、8年度～9年度に施工監理業務を行う。

敷地は旧田原本町立東幼稚園敷地（大字伊与戸193番地1他）で、敷地面積約5000平方㍍。施設条件はS造1階若しくは2階建で延べ床面積2000平方㍍程度。耐震安全性は構造体Ⅱ類建築非構造部材B類建築設備乙類、外構工事1式ドライ方式の施設とする。必要諸室は、給食エリアや事務・来客用エリア、その他エリア別にそれぞれ設けられる。

概算工事費は約20億円込で、8年3月までに基本設計及び実施設計、8年6月～9年6月に施工監理・建設工事を予定。主な業務範囲は設計業務（①一般業務〈基本・実施設計〉②追加業務〈建築積算や電気設備積算、透視図の作成等〉）、監理業務（①設計内容の意図伝達及び工事監理に関する業務②工事監理に関するその他の業務③追加業務〈関連工事の調整、完成図の確認等〉）。

桜井市

遺跡を活かしたまちづくりを
まちづくり基本構想策定支援

桜井市は「纒向遺跡周辺地区まちづくり基本構想策定支援業務」を地域計画建築研究所大阪事務所に委託して進めている。委託期間は3月31日。

同業務は、史跡纒向遺跡交流館（仮称）基本計画に掲げる史跡纒向遺跡交流館（仮称）を核として、遺跡を活かしたまちづくりを行うべく隣接する駅前広場の設置及び周辺のインフラ整備等も併せて検討。史跡活用の利便性向上や纒向地域のまちづくりの充実のために、地域振興や観光振興等様々な角度から地元人口流出を防ぎ、関係人口の増加を図り地域の活性化を目指して、基本構想を策定するもの。主な業務内容は次の通り。

▽対象地区の現況と課題把握。

▽課題解決の方法性と基本構想の策定＝①まちづくりの将来像と目標②まちづくりの取り組み方針③まちづくり構想図④まちづくりの実現化に向けて。

▽実施すべき取り組みと地域にもたらす波及効果＝設置する史跡纒向遺跡交流館（仮称）や環境を整備する周遊ルートの移動に利用した公共交通機関及び周遊先の宿泊・食事・土産等各施設がもたらす波及効果。

▽その他必要な業務＝①本事業の実施に当たって必要となる打合せ、協議等②受注者が提案する効果的な事項（独自提案）③庁内会議に係る補助④パブリック・コメント実施に係る補助⑤必要な市役所内の協議調整にかかる資料作成及び補助。

奈　良　市

改修必要箇所の精査、課題の抽出等

なら100年会館改修基本計画

総合的な調査を実施

奈良市は「なら100年会館改修基本計画策定支援業務委託」を安井・ディーディーティー・環境エンジニアリングJVに委託して進めている。委託期間は3月31日。

同業務は、なら100年会館について館全体の現況を総合的に調査し、建築面や設備面等の改修必要箇所の精査、課題の抽出等を行うもの。適切な施設の維持管理を通じて、今後とも継続して利用もらうため、なら100年会館改修基本計画の策定を行うことが目的。主な業務内容は次の通り。

▽施設・設備等の現況調査＝①施設に対するニーズ調査②現況調査③事例分析。

▽施設改修の検討に関する支援業務＝施設の現況を確認したうえで、施設改修の考え方整理したうえで提供するなどの支援を行う。

▽なら100年会館改修基本計画（案の作成＝「なら100年会館改修基本計画（案）」について検討。受注者は各項目及びその他の事項において市の検討過程に参加し、必要な情報やデータを収集・整理したうえで提供するなどの支援を行う。

▽なら100年会館改修基本計画（案）の作成を行い提出。提出後に市から修正の指示があった場合は、速やかに対応をする。

桜　井　市

エリアの現況把握や課題整理など

駅南口広場再整備基本計画策定支援

桜井市は「桜井駅南口広場再整備基本計画策定支援業務委託」をパシフィックコンサルタンツに委託して進めている。委託期間は9年3月5日。

同業務は、これまで地区内で策定されたまちづくりに関する計画等の趣旨やウォーカブル推進事業の実施結果から見える地区及び駅前広場空間における課題を踏まえ、調査・検討を行いつつ桜井駅南口広場の再整備を行うための基本計画策定が目的。

公告時のスケジュール案では基本計画の策定業務を令和8年度までとし、パブリックコメントを8年度末に実施する予定。主な業務内容は次の通り。

▽計画準備＝対象区域内での既存計画に基づき、整備の目的や位置づけを整理。また、業務実施方針やスケジュールの検討など業務の全体計画の立案を行う。

▽桜井駅南口及び周辺エリアの現況把握＝①桜井駅南口及び周辺エリアの現況を調査、地区の社会経済動向を把握②交通実態の把握。

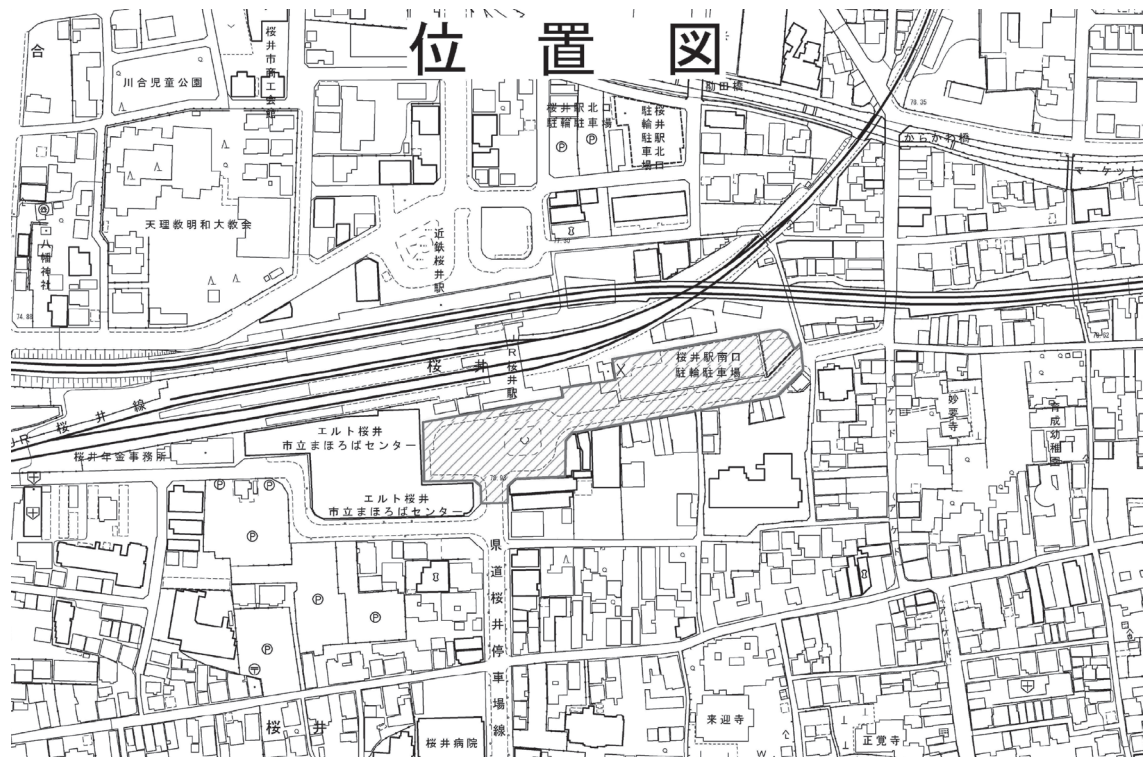
▽これまでの取り組み状況の整理＝上位関連計画等に記載されている計画及び調査結果、駅周辺施設の利用状況等について整理。

▽今後の動向に関する把握＝整理した取り組み状況の今後及び「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録に向けた動きについて把握。

▽整備に向けた課題整理。

▽整備の方針検討＝①整備の基本方針②必要規模の算出③施設配置の検討④基本方針案の絞り込み。

▽報告書の作成。



明　日　香　村

機能充実を目指して

飛鳥駅前整備計画策定

明日香村は「飛鳥駅前整備計画策定業務委託」をパシフィックコンサルタンツに委託して進めている。委託期間は3月27日。

飛鳥駅前は、道の駅飛鳥を中心に飛鳥観光のゲートウェイまたは「明日香まるごと博物館」のエントランスとして、観光情報や交通環境の提供を行っている。しかし、飛鳥駅前の交差点を中心とする渋滞、あすか夢販売所の出入口の安全性といった様々な課題を抱えている。また、令和8年には「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録を目指しており、9年には宿泊施設の開業により、今後来訪者が増加する見込みから、機能充実を図っていく必要がある。そのため、同業務では飛鳥駅前の課題を整理・解決し、周辺を含めた機能充実を図るために、基本計画を策定する。主な業務内容は次の通り。

▽必要な与条件の整理＝①法規制の整理②現地調査と課題整理③利用状況の把握・整理（鉄道駅や公共交通機関利用、直売所売上等の利用状況を把握・整理）。

▽整備計画の策定＝①整備コンセプトの決定（飛鳥駅前、あすか夢販売所、民間施設の各エリアが一体となった飛鳥駅前整備のコンセプト決定やコンセプトが分かりやすいイメージ図を作成等）②飛鳥駅前エリアの整備③あすか夢販売所エリアの整備（あすか夢販売所及び周囲の駐車場の必要性を含め、整備案を作成、現在存在している民間施設を含めて整備案を作成等）④民間施設エリアの整備⑤整備・管理手法の検討。

▽概算事業費の算出＝①イニシャルコストの算出②ランニングコストの検討。

▽「飛鳥駅前の機能充実等に関する検討会」の資料作成。

▽その他＝打合せ協議、照査、報告書作成。

王　寺　町

基本条件の整理など

小学校跡地等活用検討

王寺町は「王寺町小学校跡地活用及び体育館指定避難所活用検討業務委託」をアトラスワークスに委託して進めている。委託期間は3月31日。

同町では令和5年度に、王寺北小学校は緑地公園や利用者駐車場などを整備（体育館は体育施設や地域の指定避難所として継続利用）。王寺小学校については、イベント広場や利用者駐車場などを整備する今後の方針を示した。

6年度には庁内プロジェクトチームにより、王寺北小学校については民間事業者の活力を導入した福祉系施設の整備及び体育館を地域の指定避難所として継続利用。王寺小学校は商業施設や将来的な町役場庁舎移転の候補地として検討を進めるという活用方針を策定。

同業務は、王寺北小学校跡地及び王寺小学校跡地の活用方法並びに王寺北小学校体育館の指定避難所としての活用方法検討が目的。

対象となる跡地の概要は王寺北小学校（舟戸3丁目7番18号）敷地面積約2万800平方㍍、王寺小学校（本町2丁目6番16号）敷地面積約1万6015平方㍍。主な業務内容は次の通り。

▽王寺北小学校体育館＝①課題の整理及び対応策の検討②指定避難所としての必要機能の検討③事業スケジュールの検討。

▽王寺北小学校跡地＝①跡地活用方法の検討②事業手法の導入可能性調査（事業手法の整理や事業スキームの検討、民間事業者の参入意向調査など）。

▽王寺小学校跡地＝王寺小学校跡地に係るこれまでの町における検討経緯、活用方針、王寺小学校跡地における法令の規制等、王寺北小学校跡地活用を検討するにあたっての基本条件を整理するとともに、類似事例等を参考に整備方針や導入機能等を複数案検討した後に、参入可能性のある民間事業者（候補者）を選抜。

五　條　市

管理の引継ぎを目的に

クリーン・オアシス等包括業務

五條市は「クリーン・オアシス等包括業務委託」をテスコに委託して進めている。契約期間は10年3月31日。

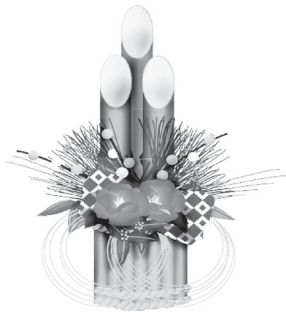
同業務は、同市が包括業務委託している五條市クリーン・オアシス及びみどり園最終処分場浸出水処理施設の管理を安定して継続させるため委託するもの。

対象となる施設はクリーン・オアシス（し尿処理施設）とみどり園（浸出水処理施設）の2施設。主な業務内容は次の通り。

▽クリーン・オアシス＝①し尿、浄化槽汚泥の受入業務②運転操作監視業務③保守点検業務④設備点検等業務⑤計画修繕業務⑥水質検査業務⑦清掃業務⑧除草業務⑨水槽の清掃⑩投入槽清掃汚泥、貯留槽清掃汚泥の運搬費の支払い代行業務⑪清掃汚泥処分費の支払い代行業務⑫脱水汚泥管理及び運搬処分費の支払い代行業務⑬し渣運搬費の支払い代行業務⑭物品等調達管理業務⑮機械警備業務⑯リンの管理⑰見学者対応業務⑱多目的広場維持管理業務。

▽みどり園＝①巡回点検業務②運転操作監視業務③保守点検業務④薬注設備の薬品調合と溶解及び薬品の残量管理⑤処理工程の水質管理⑥脱水汚泥及び清掃汚泥の搬出。

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

心と技術で明日を築く

村本建設株式会社

代表取締役社長　久米生泰
常務執行役員 本店長　南條秀和

本　　社　大阪市天王寺区上汐4－5－26
〒543-0002　TEL06－6772－8201
奈良本店　北葛城郡広陵町大字平尾11－1
〒635-0822　TEL0745－55－1151
URL https://www.muramoto.co.jp/

設計に縁を、ゆとりのライフプランニング

ISHIZUE　株式会社 礎建築事務所
一級建築士事務所

本社/奈良県橿原市葛本町835-1
TEL 0744-23-6927(代表)
http://ishizue-ao.co.jp

村本道路株式会社
Muramoto

代表取締役　長尾正己

2025年度 優 国土交通省 工事成績優秀企業 近畿地方整備局

奈良県北葛城郡広陵町大字平尾11－1
TEL(0745)55－6671　FAX(0745)55－2678
橿原合材センター：奈良県橿原市曲川町6－1－1
TEL(0744)22－1025　FAX(0744)22－1516
支　　店：大阪支店

豊かな地域社会を創出
総合建設業

鳳隆建設株式会社

代表取締役社長　佐々岡　均

本　社　宇陀市大字陀五津25－1
☎(0745)83－1364㈹
FAX(0745)83－0856

<エネルギー・環境・情報> 設備の未来を拓く

Kinden きんでん

本　　店　大阪市北区本庄東2－3－41
〒531-8550　TEL06-6375-6000
奈良支店　奈良市大安寺6－20－8
〒630-8133　TEL0742-62-8781
https://www.kinden.co.jp

SHIBUTANI
株式会社 渋谷

Escrit GROUP 東証スタンダード市場 証券コード2196

〒633-0007　奈良県桜井市外山186-1
0120-37-7733
TEL:0744-43-1567　FAX:0744-45-1915
URL https://www.shibutani-group.co.jp/

総合設備工事　設計／施工
(電気・計装・通信情報・太陽光発電・防災・防犯・空調・給排水・衛生)

松田電気工業株式会社

ASR ISO9001 ISO14001 ANAB
Q4608　E2119
本社・本店
通信・情報事業部　大阪支店
奈良支店　四日市営業所

本　　社　(〒635-0064)　大和高田市栄町4番33号　電話 0745(52)1115〔代〕　FAX 0745(23)7720
通信・情報事業部　(〒635-0067)　大和高田市春日町2丁目4番28号　電話 0745(23)1113〔代〕　FAX 0745(23)1116
大阪支店　(〒556-0022)　大阪市浪速区桜川4丁目8番1号　電話 06(6562)1200〔代〕　FAX 06(6562)2345
奈良支店　(〒630-8441)　奈良市神殿町698番地の3　電話 0742(61)5781〔代〕　FAX 0742(61)0965
四日市営業所　(〒510-0064)　四日市市新正1丁目11番17号　電話 059(359)1550〔代〕　FAX 059(359)1552

URL　https://www.matuda-dnk.co.jp

総合建設業

畠山建設株式会社
HATAKEYAMA

代表取締役　畠山龍晃

MSA JAB MS CM024 ISO.9001・14001 土木元請・本社認証取得

〒637－0116
五條市西吉野町和田415－12
TEL(0747)32－0104
FAX(0747)32－0106

センチュリ記念館

人々の暮らしのまわりで
私たちの取り扱い製品は活躍しています。
より良い住まいと暮らし
より豊かな人間環境の創造に貢献する。
それが私たちのテーマです。

【主要取扱商品】
●住宅設備機器 ●配管資材 ●建築資材
●空調機器 ●機械・電動工具
●OA機器、家電 ●太陽光発電システム 等
【事業所】
奈良支店・東大阪支店・北大阪支店
南大阪支店・泉南支店・センチュリ記念館

より豊かな人間環境を目指して・・・
株式会社 ナカガワ
【本社・本店】〒635-0065　大和高田市東中2-12-25
TEL. 0745-53-5558　FAX. 0745-53-6771
https://www.kk-nakagawa.co.jp/

総合建設業
将来世代へ継ぐ懸け橋を守る

DAIKO ダイコー建設株式会社

代表取締役　大西誠二

■関西支店　〒634－0817　奈良県橿原市寺田町113－1
TEL:0744－35－1336　FAX:0744－35－3702
■本　　社　〒639－2154　奈良県葛城市兵家1441－4
TEL:0745－48－7707　FAX:0745－48－6881
メールアドレス：daiko-kensetu@leto.eonet.ne.jp
https://daikokensetsu.jp/

自然にやさしい良好な環境めざす

GOSEIEN 御所興産株式会社

代表取締役　西本正昭

本　　社　〒639-2277 奈良県御所市室 1193-1
TEL 0745-62-5053　FAX 0745-62-5057
西寺田砕石場　〒639-2316 奈良県御所市西寺田 480
TEL 0745-62-1730　FAX 0745-62-5057
今木採石場　〒638-0841 奈良県吉野郡大淀町今木 471-1

総合解体業・建設業

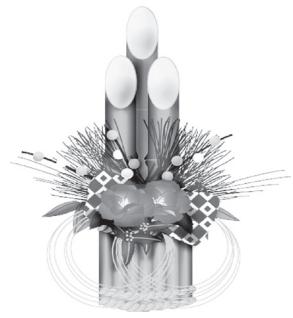
N SHIKAWA GROUP Co.
act on rather than words.

株式会社 西川組

代表取締役　西川容規

〒639-2257　奈良県御所市小殿222番地の2　TEL.0745-44-3754
E-mail:nishikawagumi322@basil.ocn.ne.jp　FAX.0745-44-3756

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

アルミ住宅建材、販売・施工

アイフル産業

代表者　藤本倫男

大和郡山市宮堂町92番地の4
TEL（0743）56-6087
FAX（0743）56-6092

総合建設業

鈴川建設株式会社

代表取締役　鈴川福守

香芝市尼寺1-6-1
TEL（0745）76-8255
FAX（0745）78-4443

総合建設業・一級建築士事務所

株式会社 田原建設

代表取締役社長　弓場雅之

本社　奈良県五條市二見一丁目1番4号
TEL0747—22—3591
和歌山支店　和歌山県橋本市東家1—367—5
TEL0736—32—8117
https://taharakensetsu.co.jp/

「安さ」「安全」を兼ね揃えた新基準の土留工法
Industrial method that achieves safety and low price at the same time
KR工法
※特許工法
ISO 9001/14001/45001 認証取得

株式会社 クラハラ

代表取締役　倉原定

〒639-1104　奈良県大和郡山市井戸野町124-2
TEL:0743-53-4182 FAX:0743-52-5530
URL https://www.kurahara.co.jp

総合建設業
土木・舗装工事一式

株式会社 柳原組

代表取締役　柳原伸光

香芝市上中59
TEL（0745）77-3832
FAX（0745）61-7779

100年先、またその先へ 未来を創造する
ISO 9001/14001 認証取得

M.G.C.
Moriokagumi Co.,Ltd.

株式会社 森岡組
代表取締役　川田昌宏

■本社：〒637-0014　奈良県五條市住川町91番地の5
TEL.0747-23-5111　FAX.0747-23-5118
http://www.moriokagumi.com
E-mail:morioka@fine.ocn.ne.jp
■営業所：東京・大阪・ベトナム

豊かな生活の創造をめざして
総合建設業

和光建設株式会社

代表取締役　峠　隆雄

■本社：大和郡山市今国府町109番地7
■問合せ：☎ 0743-23-1127㈹ 📠 0743-23-1137
■営業所：大阪府大阪市城東区永田2丁目6番22
■URL：https://www.wako-kensetsu.co.jp/
MSA-ES-1842 MSA-QS-4820 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SHIMAX
金属製建具・シャッター・パーテーション・ガラス

島田工業株式会社

代表取締役会長　島田敏弘
代表取締役社長　島田健司

〒639-0226　香芝市五位堂3丁目590-2
TEL（0745）76-5577㈹
FAX（0745）78-2214

奈良県社員・シャイン 職場づくり推進企業
総合建設業

株式会社 ニシヨシ

代表取締役　西田吾一

〒637-0035 五條市霊安寺町2157番地の2
TEL（0747）24-5901
FAX（0747）24-5902
E-mail nishiyoshi@kcn.jp
URL https://nishiyoshi.com/
MSA-QS-4569 MSA-ES-1883 JAB MS CM024 MSA-SS-435

総合建設業

株式会社 田中組

代表取締役　田中正昭

大和郡山市矢田町4685
TEL（0743）52-4904
FAX（0743）52-4906

総合建設業

松井建設

代表者　松井正樹

奈良県生駒市西松ヶ丘25-31
TEL（0743）74-3732
FAX（0743）74-3756

okushin
総合建設業

株式会社 オクシン

代表取締役　奥田信広

〒637-0093　奈良県五條市田園1-19-8
TEL0747-24-0090
FAX0747-22-3020

給排水衛生設備・消火設備・空調換気設備

鹿間設備株式会社

代表取締役　鹿間弘之

〒639-1058
奈良県大和郡山市矢田町5745-3
TEL 0743-53-9767
FAX 0743-53-9768

《創業67年》信頼と実績
リフォーム工事・給排水衛生空調設備工事
水道本管工事・下水切り替え工事・水回り修理
許可・登録　奈良県知事許可（特-4）830号

仲野水道設備株式会社

代表取締役　中野恵司

〒630-0251　奈良県生駒市谷田町808番地
TEL0743-74-6800㈹
FAX0743-75-3599
http://www.nakano-suidou.com

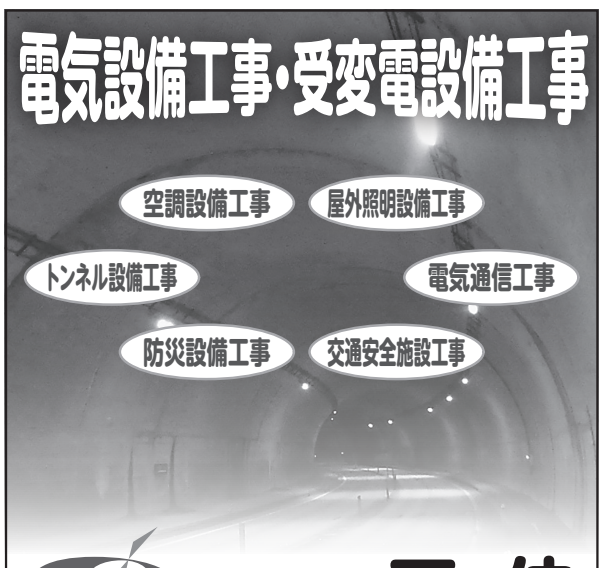
各種組立ハウス・トイレの総合デパート
エクステリア、物置、施工販売
LEASE and SALE

YAMATO HOUSE ヤマトハウス工業

代表者　大和哲夫

五條市三在町601-2
TEL0747-23-1337
FAX0747-23-1305

電気設備工事・受変電設備工事



GOSHIN 株式会社 五伸

本社：〒637-0038 五條市野原東5-3-25
TEL:0747-22-5653
FAX:0747-23-5656
MSA-QS-4479 MSA-ES-1645 認証範囲:電気設備工事の施工 JAB MS CM024

謹賀新年

旧年中は格別のご厚情を賜り有り難く厚く御礼申し上げます
本年も一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます
令和８年　元旦

理事長　磯　田　龍　治

奈良県生コンクリート工業組合
Nara Prefectual Ready mixed Concrete Industrial Association

〒633-0017 桜井市慈恩寺８１９－１
事務局 TEL0744－49－2285 FAX0744－49－2286
技術センター TEL0744－49－2287 FAX0744－49－2286

㈱今西組 十津川生コン工場
〒637-1103 吉野郡十津川村上野地362－2

㈱WESTコーポレーション
〒630-8441 奈良市神殿町６８３

㈱ウエヒラ
〒634-0072 橿原市醍醐町３３８－１

㈱関鉄
〒639-2126 葛城市南花内２５２－１

㈱北山開発
〒639-3806 吉野郡下北山村下池原855

㈲コーシンコーポレーション 山政生コン奈良工場
〒635-0816 北葛城郡広陵町中２６８－１

五條生コン㈱
〒637-0002 五條市三在町１４２１

御所生コンクリート㈱
〒639-2244 御所市柏原１４２６

さくら生コン㈱
〒630-2223 山辺郡山添村三ヶ谷シヨト1320－2

㈱サンコーレミテック
〒639-3324 吉野郡吉野町香束５

㈱大紀
〒638-0041 吉野郡下市町下市２０１８

天川コンスト
〒638-0315 吉野郡天川村澤原４８－１

㈱中谷工業
〒639-3701 吉野郡上北山村河合３７７－１

奈良生駒生コン㈱
〒630-0135 生駒市南田原町７８３

奈良レミコン㈱
〒639-1039 大和郡山市椎木町３１１－４

㈱フジ建生コンクリート
〒633-2113 宇陀市大宇陀下竹１９０－１

藤村商事㈱
〒637-1213 吉野郡十津川村野尻２４６

㈱吉田建材生コン
〒639-3441 吉野郡吉野町矢治３８５

㈱吉田生コンクリート
〒630-8422 奈良市横井７－５０９－３

（50音順）

迎春

旧年中は大変お世話になり
心よりお礼申し上げます
本年もどうぞよろしくお願い致します
二〇二六年　元旦

会長　多根井則博
会員一同

一般社団法人・奈良県建設コンサルタント業協会

事務局 橿原市久米町５４０－３
TEL ０７４４－２７－３０９７
FAX ０７４４－２８－２７６９

㈱アルプス
代表取締役 吉田宗玄
吉野郡吉野町六田一二六四―二
☎〇七四六―三二―一五四五

㈱インテコ
代表取締役 山下修
奈良市三条本町一―八六―四
☎〇七四二―三〇―五六五五

㈱ウィズテック
代表取締役 松本健
生駒郡三郷町勢野東四―四―一八
☎〇七四五―三二―一一二三

㈱英晃コンサルタント
代表取締役 武田統治
五條市今井三―六―四三
☎〇七四七―二二―二三三〇

㈱三協エンジニア
代表取締役 上村真之
大和郡山市額田部北町九二三
☎〇七四三―五六―三六九六

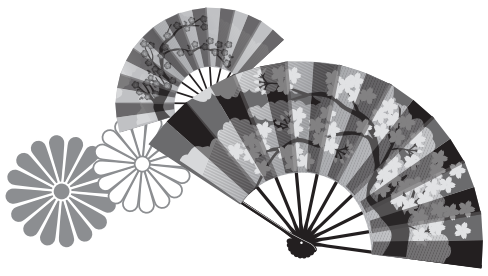
㈱三和コンサルタント
代表取締役 阪本恭央
奈良市大宮町五―一―二―一号
☎〇七四二―三〇―〇〇五五

㈱スキャドロン
代表取締役 多根井則博
橿原市久米町五四〇―三
☎〇七四四―二七―三〇九七

㈱大和測量設計事務所
代表取締役 山口孝昌
橿原市内膳町一―一―二二
☎〇七四四―二〇―一五六一

天理技研㈱
代表取締役 手塚明宏
天理市田井庄町五六九―一
☎〇七四三―六三―二二六八

以上9社（50音順）



謹賀新年

旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます
本年も一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます
令和8年1月1日

一般社団法人奈良県設備設計事務所協会
会長　辻　邦昭
会員一同

一般社団法人奈良県設備設計事務所協会

事務局 奈良市西ノ京町101－1(㈱桝谷設計内)
☎(0742)34－2356　FAX(0742)34－3218
https://www.narasetu.com/

カモン設備設計
所長 歌門寿仁
〒六三四―〇〇〇六 橿原市新賀町三二五―三
TEL・FAX〇七四四―四八―〇四二〇

建築設備設計オフィス・ING
所長 林田絹代
〒六三〇―〇一三三 生駒市真弓二―九―一八
TEL・FAX〇七四三―七九―九七一七

㈱辻建築設備研究所
代表取締役 辻邦昭
〒六三四―〇八三一 橿原市曽我町一〇三三―四二
☎〇七四二―三四―〇〇一三 FAX〇七四二―三四―〇〇二〇

㈱桝谷設計
取締役設備部長 竹田晴行
〒六三〇―八〇四二 奈良市西ノ京町一〇一―一
☎〇七四二―三四―四六一 FAX〇七四二―三四―二二二

㈱ミナミ設備事務所
代表取締役 南良和
〒五三一―〇〇〇三 大阪市淀川区宮原五―九―三九
TEL・FAX〇六―六三九二―七八七八

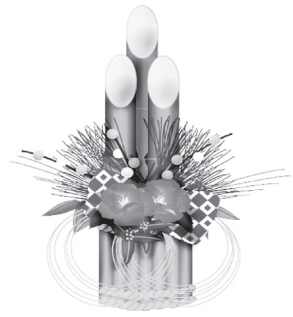
㈲ヤマト協同設備事務所
代表取締役 石井勉
〒六一九―一一〇四 京都府木津川市加茂町河原中垣内五九
☎〇七七四―七六―七三八三 FAX〇七七四―七六―七三〇〇

㈲ユーティ設備
代表取締役 植村武司
〒六一九―〇二一四 京都府木津川市木津南垣外四六―二
TEL・FAX〇七七四―七二―六六三〇

森田設備設計事務所
所長 森田敏夫
〒六三一―〇八一七 奈良市西大寺北町二―一―二二
TEL・FAX〇七四二―四四―九一六四

㈲エイチ・ケー設備設計事務所
代表取締役 金田裕光
〒六三九―一〇四三 大和郡山市西田中町五八五―一二
☎〇七四三―五一―五一九一 FAX〇七四三―五一―五一九二

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

To be a good “Corporate Citizen”

株式会社 隼都
土木・建築工事
〒633-0243 奈良県宇陀市榛原雨師407-1
TEL 0745-82-2467
FAX 0745-82-7613
【Web Site】

信頼と実績　明日の街づくりに貢献する
株式会社 西岡組
総合建設業・産廃中間処理・収集運搬・リサイクル資材販売
代表取締役　西岡浩之
〒633−2103 奈良県宇陀市大字陀野依２７６の１
ＴＥＬ０７４５―８３―０３３０
ＦＡＸ０７４５―８３―２８１０

総合建設業
株式会社 岡田工務店
代表取締役　岡田　満
弊社ホームページはこちらから
〒633−2138 宇陀市大字陀白鳥居４４
ＴＥＬ（０７４５）８３−１５７３
ＦＡＸ（０７４５）８３−３３８２
https://www.okadakomuten.net/

道路・水路は生活者を支える動脈　信頼に基づく確かな製品
日本産業規格表示認証工場　奈良県リサイクル認定製品
コンクリート二次製品製造販売、土木資材一式販売
榛原コンクリート工業株式会社
代表取締役　岡本　浩
〒633−0235 奈良県宇陀市榛原比布８１７−１
ＴＥＬ０７４５−８２−４１７９㈹
ＦＡＸ０７４５−８２−１６８５
E-mail:haicon@kcn.jp

あなたの街の法律家
無料相談・講習会受付中（お気軽にご相談下さい）
行政書士平櫛法務事務所
平櫛恵美子　ファイナンシャルプランナー　終活アドバイザー
行政書士　宅地建物取引士　福祉住環境コーディネーター
YouTube 平櫛行政書士事務所　検索
経営事項申請、指名願、収集運搬、建設業許可、遺言、相続手続など
終活相談に関する講座も随時お受けしております
宇陀市榛原天満台東３−１６−７
ＴＥＬ０７４５−８２−５８９７
ＦＡＸ０７４５−８２−０９８８

総合建設業
株式会社 三貴工業
代表取締役　笹尾　保
〒633-0315 奈良県宇陀市室生大野3136-2
TEL 0745-92-3533
FAX 0745-92-3537
E-mail:sanki@kcn.jp

謹賀新年

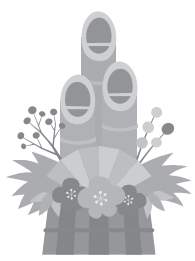
旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます
本年も会員一同一層の精進をして参る所存ですので
何卒倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます

私たちは高度な技術の習得に努め 県土整備推進に貢献しています

公益社団法人 奈良県測量設計業協会
〈事務局〉 奈良市二条大路南一丁目２番１１号　第二松岡ビル３０２号
TEL0742−32−4100　FAX0742−32−4101
URL http://www.nasokyo.jp　E-mail nasoku@world.ocn.ne.jp

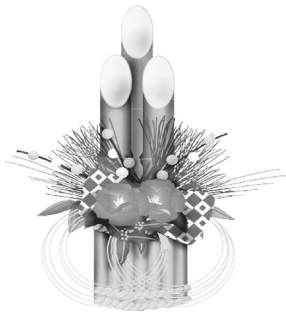
ＡＣ設計企画㈱ 香芝市下田西2-348-1-2　☎(0745)78-9801	サンディスト㈱ 大和高田市神楽3-3-13　☎(0745)22-7279	タクミ測量㈱ 吉野郡吉野町大字上市245　☎(0746)32-0232
ＩＴ測量 御所市伏見３８８　☎(0745)66-1894	㈱シードコンサルタント 奈良市芝辻町2-10-6　☎(0742)33-2755	㈱タケダ技研 橿原市曽我町５４９　☎(0744)23-2728
㈱ＮＧＣ 奈良市左京1-13-25　☎(0742)93-9811	親光㈱ 五條市霊安寺町１６４１　☎(0747)20-0021	㈱谷本測量設計事務所 吉野郡下市町阿知賀1084　☎(0747)52-4993
㈱アリオン 生駒郡安堵町岡崎538-1　☎(0743)57-2551	㈱すぎた測量設計事務所 吉野郡川上村北和田28　☎(0746)54-0747	天理技研㈱ 天理市田井庄町569-1　☎(0743)63-2268
㈱アルプス 吉野郡吉野町六田1264-2　☎(0746)32-1545	スキャドロン㈱ 橿原市久米町５４０−３　☎(0744)27-3097	㈱西奈良測技 奈良市中町２４９１−１　☎(0742)48-1654
㈱井上測量設計事務所 宇陀市榛原山辺三1396　☎(0745)82-0277	㈱セイワコンサル 生駒郡平群町西宮2-6-21　☎(0745)45-0710	㈱ノア技術コンサルタント 桜井市川合２７２−４　☎(0744)45-3300
井前建設㈱ 桜井市大字初瀬4573-1　☎(0744)47-7388	清和㈱ 五條市下之町６５　☎(0747)25-1323	㈱原田測量 吉野郡大淀町桧垣本2093-128　☎(0747)52-7673
㈱エイコー測量設計事務所 香芝市磯壁2-1090-30　☎(0745)78-8110	㈱大門測量設計事務所 宇陀市榛原比布1178-1　☎(0745)82-1626	古川測量㈱ 宇陀市榛原萩原1947-1　☎(0745)82-0198
㈱コーダ技研 御所市朝妻２７１−１　☎(0745)66-2005	太洋エンジニアリング㈱ 奈良市大宮町6-7-3(新大宮第5ビル4F)　☎(0742)33-6660	㈱本田測量設計 奈良市法華寺町1-5(奈良バイパスビル3F)　☎(0742)34-6638
五洋設計㈱ 奈良市大宮町６−３−７　☎(0742)34-7793	㈱大和測量設計事務所 橿原市内膳町1-1-22(K&Kビル2F)　☎(0744)20-1561	㈱松嶋測量 御所市三室６８０　☎(0745)62-7721
㈱三栄測量設計 生駒市山崎町12-13(幸前第2ビル)　☎(0743)73-0880		

水野測量設計事務所 吉野郡下市町善城1070　☎(0747)52-8815	㈲森本測量社 御所市大字林２４３　☎(0745)66-2022
三輪測量設計事務所㈱ 磯城郡川西町結崎390-17　☎(0745)42-0038	㈲ヤマウラ 桜井市粟殿１０３０−１　☎(0744)42-7828
	㈱ヨシノコンサルタント 吉野郡吉野町平尾42-2(Kビル)　☎(0746)32-8935
	㈱ライト 生駒郡三郷町立野南3-4-1　☎(0745)33-3470
	㈲和州測量設計事務所 大和高田市北本町7-22　☎(0745)22-8010
	㈱ワーク 五條市岡口１−９−２４　☎(0747)26-1189
	㈱ワタベ測量 大和高田市礒野北町15-3　☎(0745)23-1873



（50音順）

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

公益社団法人 日本建築家協会
The Japan Institute of Architects
近畿支部奈良地域会

地域会長　山本光良
副地域会長　中元綱一
副地域会長　金井　亮

事務局　〒630−8115 奈良市大宮町2−5−7（奈良県建築士会館）
TEL/06-6229-3371 FAX/06-6229-3374（近畿支部）

一般社団法人
奈良県建築士事務所協会

会長　中西治夫

事務局　〒630−8115
奈良市大宮町２−５−７奈良県建築士会館
ＴＥＬ（０７４２）３４−８８５０
ＦＡＸ（０７４２）３４−８８８６

一般社団法人 奈良県建築士会

会長　中尾七隆

奈良市大宮町2−5−7（奈良県建築士会館）
ＴＥＬ（０７４２）３０−３１１１
ＦＡＸ（０７４２）３３−４３３３

一般財団法人
なら建築住宅センター

理事長　伊伏堅太郎

本　　店　奈良市大森町57−3（奈良県農協会館5F）
〒630−8131　ＴＥＬ０７４２−２７−６５０１
中和支店　大和高田市大字大中16−4（竹村ビル6F）
〒635−0095　ＴＥＬ０７４５−２１−５７２１

空気と水で地域社会に貢献する
一般社団法人
奈良県空調衛生工業協会

会長　森村彰博

事務局　奈良市法華寺町２１２−３
〒630-8001　ＴＥＬ（０７４２）３３−２８８１
ＦＡＸ（０７４２）３３−２８８３

大和郡山市建設業組合

組合長　倉原　定

大和郡山市北郡山町６９５−２０
ＴＥＬ（０７４３）５３−２３４３

西日本建設業保証株式会社
奈良支店

支店長　尾木佐知夫

奈良市林小路町８番１号
（ニッセイ奈良若草ビル）
ＴＥＬ（０７４２）２２−８０９３

橿原商工会議所

会頭　佐藤　進

橿原市久米町６５２−２
ＴＥＬ（０７４４）２８−４４００
ＦＡＸ（０７４４）２８−４４３０

一般社団法人 日本塗装工業会
奈良県支部

支部長　林　秀典

事務局　天理市東井戸堂町４１２−１０
ＴＥＬ（０７４３）６３−０８００
ＦＡＸ（０７４３）８４−８２２８

奈良の観光情報まとめサイト
NARABURA

HP
NARABURA

X
(旧Twitter)

共同精版印刷株式会社　奈良ぶら事業部　奈良ぶら
TEL. 0742−33−1221　検索

謹賀新年

旧年中は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます
本年も会員一同一層の精進をして参る所存ですので
何卒倍旧のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます

令和８年１月１日

@KASHIHARA.830

確かな水、繋ぎ続けて郷土に貢献
令和7年度 事業継続力強化計画 認定 経済産業省

橿原市上下水道協同組合

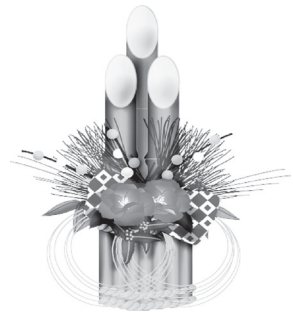
理事長　山下善一

地元工事店としての誇りを胸に、
郷土橿原のさらなる発展に尽力してまいります。

㈱米田	㈱博電工業
沢設備工事㈱	長谷川設備
㈱島田水道設備	平田水道工業所
㈱ＺＥＲＯ	福田電気水道商会
㈱創造工舎	㈲松下設備工業
㈱田中設備	㈱松本組
大東建設㈱	㈱吉田水道工業所
東輝設備	㈱冷熱技研

〒634-0075 奈良県橿原市小房町８の30番地　☎0744-24-5028
Mail：beautiful.w@proof.ocn.ne.jp

謹賀新年



本年も何卒宜しくお願い申し上げます　1月1日

建築、開発設計、監理

株式会社 永井設計事務所

代表取締役　永 井 亮 祐

北葛城郡広陵町みささぎ台８－１７
ＴＥＬ（０７４５）５５－６８６８
ＦＡＸ（０７４５）５５－６８６９

OGAWA Architects Office　|設計||監理|

株式会社
尾川建築設計事務所

代表取締役　尾 川 佳 永

〒639-1160 奈良県大和郡山市北郡山町273
TEL:0743 52 5220　FAX:0743 52 5033
URL http://ogawa-ao.com

きれいな街を創造する

ars 井上建築工房アルス

主　宰　井 上 慶 治

大和郡山市北郡山町１５８－６ 大和第３ビル
ＴＥＬ（０７４３）５１－０２８６
ＦＡＸ（０７４３）５１－０２８７

構造設計 ・ 監理

株式会社 中西構造設計

代表取締役　中 西 治 夫
構造設計一級建築士 / 一級建築士 / 建築構造士

〒634-0006 橿原市新賀町235-6 橋本ビル3階
TEL(0744)24-6537 FAX(0744)24-6549
E-mail:HQL03341@nifty.com

一級建築士事務所 奈良県知事登録 第2022(よ)77号

小林建築事務所

所　長　小 林 暁 男
副所長　庄 田 尚 代

事務所／奈良県天理市柳本町1519番地　〒632-0052
TEL.0743(66)2511　FAX.0743(67)2636
E-mail:akc@pearl.ocn.ne.jp

Iwagishi Sekkei　一級建築士事務所
株式会社 岩岸設計

代表取締役　岩 岸 雅 浩

〒639-2143　奈良県葛城市南道穂１５０－３
ＴＥＬ.０７４５（６９）５９１５㈹
ＦＡＸ.０７４５（６９）４１１４
ＵＲＬ http://www.iwagishi.co.jp
E-mail info@iwagishi.co.jp

－ 建 築 設 計 ・ 監 理 －

FUKUMOTO　株式会社 福本設計

代表取締役社長　小 寺 弘 泰

本社奈良事務所　奈良市大宮町4丁目281-1（新大宮センタービル5F）
ＴＥＬ０７４２（３４）２８００㈹
ＦＡＸ０７４２（３４）２８７８
http://fukumoto-arch.jp/

建 築 設 計 ・ 工 事 監 理

株式会社 城田設計

取締役会長　城 田 全 康
代表取締役社長　城 田 全 嗣

〒630-8003 奈良市佐紀町1番地 ヴァンクール城田ビル3F
ＴＥＬ（０７４２）３３－５５８５㈹
ＦＡＸ（０７４２）３５－４１８６
ＵＲＬwww.shirota-sekkei.co.jp

建築企画・設計・監理

株式会社岩崎建築設計事務所

代表取締役　岩 崎　　健

本 社　奈良市法蓮町１０４６番地の２
☎（０７４２）㉒２２８３㈹
ＦＡＸ（０７４２）㉔５０１１

建築企画・設計・監理

株式会社 北和設計

代表取締役　髙 杉　　明

〒630-8001　奈良市法華寺町１２６－１
ＴＥＬ（０７４２）３０－４６２１
ＦＡＸ（０７４２）３０－４６２２

奈良県設備設計事務所協会会員
二級建築士事務所・建築設備士事務所

建築設備設計・監理
株式会社 辻建築設備研究所

代表取締役会長　辻　　邦昭
代表取締役社長　辻　　和祥

〒634-0831　奈良県橿原市曽我町１０３３－４２
ＴＥＬ：０７４４－２４－４０１３
ＦＡＸ：０７４４－２４－４０２０

INTECO International Technical Consultant　株式会社 インテコ

人々の快適で安心な暮らしを支える。
地域のお客様に愛される。
良質なサービス提供に日々努力する企業に。

建設コンサルタント／測量／地質調査・土質調査
土壌汚染対策法に基づく指定調査機関／リフォーム

	郵便番号	所在地	電話番号
本社	630-8122	奈良県奈良市三条本町1番86-4号	0742-30-5655
大阪営業所	543-0001	大阪府大阪市天王寺区上本町6丁目6番2号	06-6881-0670
堺営業所	590-0078	大阪府堺市堺区南瓦町1番20号	072-242-3460
兵庫営業所	658-0047	兵庫県神戸市東灘区御影3丁目2番11-2号	078-821-5066
京都営業所	619-0215	京都府木津川市梅美台2丁目7番地15	0774-73-3449
中丹営業所	623-0066	京都府綾部市駅前通33番地	0773-45-3583

総合企画 / 設計 / 監理
品質保証ISO9001認証取得

株式会社 桝谷設計

代表取締役　中 元 綱 一

〒630-8042　奈良市西ノ京町101－1
TEL (0742) 34－1461㈹
FAX (0742) 34－3218

総合建設コンサルタント　ISO 9001 JAC JAB QC03J0121

TENRI GIKEN　天理技研株式会社

代表取締役　手 塚 明 宏

本　社　〒632-0071 天理市田井庄町５６９－１
ＴＥＬ（０７４３）㊸２２６８
ＦＡＸ（０７４３）㊸５２７６
営業所　大阪・奈良・橿原・兵庫

建設コンサルタント・地質調査・測量

EIKO.C　株式会社英晃コンサルタント

代表取締役　武 田 統 治

〒637-0004 五條市今井３丁目６番４３号
ＴＥＬ（０７４７）２２－２３３０
ＦＡＸ（０７４７）２２－２３０１
E-mail:eiko.c@eiko-con.jp

(公社)奈良県測量設計業協会会員
測量・設計・補償コンサルタント
国土交通省登録　測量業 第(5)-27729号　補償コンサルタント業 補3-4549号

survey　株式会社 松嶋測量

代表取締役　松 嶋 秀 典

〒639-2306　奈良県御所市三室６８０番地
ＴＥＬ（０７４５）６２－７７２１
ＦＡＸ（０７４５）６２－７７２９
E-mail:survey@pearl.ocn.ne.jp

建築設計・監理・測量・土木設計

TOSHI KIKAKU　株式会社 都市企画設計コンサルタント

代表取締役　前 川 浩 二

本　　社　奈良県橿原市北八木町1－1－8(橿原中央ビル)
〒634-0005　☎（０７４４）㉓７７１７㈹
ＦＡＸ（０７４４）㉔３２５２
天理営業所　奈良県天理市兵庫町３０７
〒632-0044　☎（０７４３）㊻３３１３

企画・設計・監理

Ohkura Architecture & Engineering
株式会社 オークラ設計

代表取締役　大 倉 孝 之
取締役　大 倉 克 之

桜井市大字外山３１６－１
☎（０７４４）４２－１１２２㈹
ＦＡＸ（０７４４）４２－００７７
夜間☎（０７４４）４２－２６０６

あけましておめでとうございます

私達は、今年も新しい発想で飛躍発展を目指します。

(一社)奈良電業協会は(一社)日本電設工業協会に所属し国交省他関係省庁並びに一般顧客の御指名を受け電設業を以って社会に貢献している団体です。

2026年 年頭所感

(一社) 奈良電業協会
会長　奥村雅英

会員企業が連携し、業界と地域へ貢献

令和八年年頭に当り、謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は当協会に対しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍で棚上げされていた民間設備投資が持続する一方、公共インフラの整備・更新事業や防災・減災対策、省エネ関連などの公共投資も比較的旺盛に推移し、建設業の一端を担う我々電気工事業界としても、先ず先ず順調な一年ではなかったかと考えております。

しかしながら、現下の円安や世界情勢に端を発する資源・エネルギーを始めとする輸入物価の高止まりは、資機材の高騰をもたらしており、会員企業の収益性にも大きな影響を及ぼしております。また、構造的人手不足に加えて、時間外労働の上限規制等の働き方改革の進展は、労働力確保という点で、業界にとっては大きな課題となっており、一定の案件量が確保された中でも決して手放しで喜ぶことはできない状況にあります。人材の確保と育成が最重要かつ喫緊の課題であり、加えて今後一層、ICT等の活用による業務の効率化を進め生産性を向上させることが求められることとなります。

このような、先行き不透明な状況の中、奈良電業協会としましては、会員企業相互の連携を深め、それぞれの会社の繁栄と業界全体の発展を目指すとともに、一層の地域社会の発展に貢献してまいる所存です。本年も当協会に対しまして、一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和八年　元旦

一般社団法人 奈良電業協会
事務局　〒六三〇―八二四　奈良市三条桧町二九―三
TEL(〇七四二)三四―六二〇〇　FAX(〇七四二)三四―六二〇七

(株)アスカ電工　奈良市六条二―二〇―三五　☎(〇七四二)四一―二二一一
(株)ウエダ電機設備　五條市今井一―一〇―二七　☎(〇七四七)二二―三三三八
(株)岡島電設工業　磯城郡田原本町宮古六九五―一　☎(〇七四三)八五―五六五二
学園前電気商会　奈良市登美ヶ丘六―一〇―一　☎(〇七四二)四四―五八五四
片岡電氣(株)　大和郡山市丹後庄町三九六　☎(〇七四三)五六―五一五一
関西電工(株)　奈良市池田町七六―一〇　☎(〇七四二)六一―二九五〇
クウケン(株)奈良営業所　大和高田市栄町二―二　☎(〇七四五)五二―〇五五二
(株)五伸　五條市野原東五―三―二五　☎(〇七四七)二二―五六五三
小寺電業(株)奈良支店　奈良市大安寺六―二―一三　☎(〇七四二)六二―一五九一

小南電気工業(株)　生駒市小平尾町一五六七　☎(〇七四三)七七―八二〇一
新栄電設工業(株)　磯城郡川西町結崎二一六―七　☎(〇七四五)四三―〇一〇〇
(株)太子電機　生駒郡斑鳩町法隆寺南二―五―二〇　☎(〇七四五)七四―二九〇一
タカダデンキ(株)　大和高田市根成柿二三八―一　☎(〇七四五)二二―一二三四
(株)タケガミ電気水道　橿原市久米町五五二―二　☎(〇七四四)二八―一〇〇一
武部商会(株)　奈良市西木辻町二〇〇―六一　☎(〇七四二)二四―〇八五五
竹村電気(株)　奈良市南永井町四〇五　☎(〇七四二)六二―〇八六一
日光電気工事(株)　桜井市川合二六五―五　☎(〇七四四)四三―〇〇七一
日進電工(株)　大和郡山市小泉町二四二八―一　☎(〇七四三)五四―一八〇五

藤原電気工業(株)　奈良市西九条町二―五―一四　☎(〇七四二)五〇―三〇〇〇
松田電気工業(株)　大和高田市栄町四―三三　☎(〇七四五)五二―一一一五
松田電気工業(株)奈良支店　奈良市神殿町六九八―三　☎(〇七四二)六一―五七八一
宮原電気(株)　御所市茅原一九七―九　☎(〇七四五)六三―一七七一
森電設工業(株)　橿原市葛本町九五　☎(〇七四四)二三―六六二三
森川産業(株)　北葛城郡広陵町平尾六三九―三　☎(〇七四五)五四―六五三〇
和田エンジニアリング(株)　橿原市飯高町二一五―一　☎(〇七四四)二四―四八七三

迎春

旧年中は格別のご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます
本年も倍旧のご指導ご鞭撻の程
お願い申し上げます

令和八年　元旦

年頭所懐

(一社)奈良県解体工事業協会
会長　竹島常裕

持続可能な社会の実現へ

新年明けましておめでとうございます。平素から当協会の事業活動に多大なご支援、ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

さて解体工事業界は全国的に建築物や土木構造物の老朽化が進み高度経済成長期から60年程度を経る中で都市開発の進行、少子化による学校の統廃合、不要になった公共施設の解体工事等もあり、法改正などを背景に市場規模も拡大すると予測されます。2024年から始まった働き方改革、人件費や資機材費、諸経費の高騰や人手不足、また一方では「解体工事業」が独立したことにより業者数が大幅に増加し異業種からの参入も相次ぎ価格競争も厳しくなる可能性もあります。

更にアスベストの規制強化や廃棄物の分別制度の向上、最近では全国的に再生砕石の停滞によりコンクリート塊の受け入れ規制等で現場での業務負担も増加傾向にあり、このような状況下で、(公社)全国解体工事業団体連合会の委員会では建設リサイクル法の改正、労務費基準作成の検討等、国土交通省に要望しております。

解体工事協会は業界の健全な発展と地域社会への貢献を目指し「解体施工技士」を増やし高度な技術と専門知識、安全能力を備えた人材の育成に力を入れ行政と連携し環境保全と環境経営が両立する持続可能な社会の実現を目指し活動してまいりますので本年も関係各位の皆様はご指導ご協力をお願い申し上げます。

(一社)奈良県解体工事業協会
事務局　橿原市内膳町四―四―五(かとうビル三F)
TEL(〇七四四)二〇―〇三〇二
FAX(〇七四四)二〇―〇三〇五

相談役　中川茂宣
会長　竹島常裕
副会長　山本昭博
副会長　米川誠郎
理事　國岡奈保也
理事　米田篤司
理事　山地智道
理事　辰巳和也
理事　川井守生

(株)アズマヤ　代表取締役　東屋雅浩　橿原市土橋町一七二―一五　☎(〇七四四)四九―二三五五
(株)上西総業　代表取締役　上西崇史　橿原市曲川町七―七―三―二　☎(〇七四四)二三―三八二六
(株)オクダ　代表取締役　奥田真規　高市郡明日香村飛鳥五一　☎(〇七四四)二三―五四一四
関西解体技工(株)　代表取締役　仲田優里香　葛城市染野二五二―一　☎(〇七四五)四八―五五五二
(株)清一建設　代表取締役　平瀬一二三　大和郡山市美濃庄町五五一―一　☎(〇七四三)八五―六〇九一
(株)グッドライズ　代表取締役　藤井紀幸　橿原市東池尻町二五五―三　☎(〇七四四)四七―三九七七
(株)國岡工務店　代表取締役　國岡奈保也　奈良市今在家町二五―一　☎(〇七四二)二四―三六七二
(有)ケーウィンズ　代表取締役　畑山庫一　大和郡山市筒井町六五六―一　☎(〇七四三)五七―六〇五八
(株)せき　代表取締役　関将之　高市郡明日香村岡三七九―一　☎(〇七四四)五四―四五八五
(株)大樹　代表取締役　米田篤司　北葛城郡上牧町上牧三二七―三　☎(〇七四五)七七―一九九二
(株)竹島組　代表取締役　竹島常裕　磯城郡田原本町薬王寺三一四―二　☎(〇七四四)三二―四七九四

(株)中川組　代表取締役　中川茂宣　橿原市飯高町一一三―一　☎(〇七四四)二五―八七八七
(株)中作　代表取締役　中西宏和　宇陀市菟田野古市場一四三八―三　☎(〇七四五)八四―二三三〇
(株)西川組　代表取締役　西川容規　御所市小殿二二二一―二　☎(〇七四五)四四―三七五四
(株)ホウワ　代表取締役　北森康史　大和郡山市横田町五九五一―一　☎(〇七四三)五七―八〇〇〇
(有)森川産業　代表取締役　森川和則　北葛城郡広陵町平尾六三九―三　☎(〇七四五)五四―六五三〇
森高建設(株)　代表取締役　森高美樹　奈良市柏木町三八三　☎(〇七四二)三五―三〇〇〇
(株)山崎産業　代表取締役　山崎和英　北葛城郡広陵町大字三吉一七三二―一　☎(〇七四五)五五―六八八〇
(株)山地組　代表取締役　山地智道　北葛城郡広陵町百済一七一七　☎(〇七四五)六一―六七二八
山本組(株)　代表取締役　山本昭博　大和高田市神楽三―九―三　マッダビル二F　☎(〇七四五)四四―九一〇五
(株)米川組　代表取締役　米川誠郎　高市郡明日香村奥山六三〇　☎(〇七四四)五四―二三九

(五十音順)

年頭所懐

市民第一で進める市政

葛城市長　**阿古和彦**

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととと、心からお慶び申し上げます。旧年中は本市に対しまして温かいご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

本市は、奈良県北西部に位置し、豊かな自然、歴史・文化のまちとして訪れる人を魅了し続けております。相撲発祥ゆかりの地でもあり、昨年開催された「大阪・関西万博」では、『SUMO EXPO 2025』に参加し本市の魅力を広く世界に発信いたしました。

一方、市民の皆様の暮らしを支える基盤整備も着実に進めております。昨年10月より、當麻文化会館の改修工事を行っており、令和9年春には、市民活動センターや図書館、庁舎の機能を併せた複合施設へ生まれ変わります。さらに複合化の対象となる當麻庁舎、図書館の跡地には、スーパーマーケットの整備を計画しており、利便性の向上と、地域の賑わい創出に大きく寄与するものと期待しております。

さらに、地域の安全・安心を長期的に支える基盤づくりとして、受援施設の整備を進めております。近年頻発している災害への備えを強化し、実効性のある防災体制を整え、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

本年も、市民の皆様方のご期待にお応えすべく、変わらぬ情熱をもって市民第一の目線に立った市政運営を行って参ります。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます
旧年中は格別のお引き立てを賜り有難く厚く御礼申し上げます
本年も建設業を通して地域社会の活性化、発展に資するよう
企業体質や経営基盤の強化に努めるため、会員一同一層の
精進を致す所存でございますので倍旧のご指導ご鞭撻のほど
お願い申し上げます

令和8年　元旦

葛城市建設業協会
会長　杉本　幸一　会員一同

地域社会の発展に貢献します

葛城市建設業協会

会長	杉本幸一	理事	窪田哲規	監事	中島祐史
副会長	吉井久尚	理事	杉田好清	監事	西川　朗
会計	高橋泰行	理事	吉村晃一		

(株)生野建設
代表取締役　生野辰幸
葛城市北花内932／☎0745－69－2224

植本造園
代表者　植本佳孝
葛城市當麻205／☎0745－48－2256

(株)関鉄
代表取締役　北田雄大
葛城市南花内252－1／☎0745－69－3567

(株)北田組
代表取締役　北田　淳
葛城市林堂94－1／☎0745－69－6008

(株)窪田建設
代表取締役　窪田哲規
葛城市尺土131－1／☎0745－48－0180

三容建設(株)
代表取締役　杉本幸一
葛城市八川131－7／☎0745－48－6708

(株)松樹園
代表取締役　中島祐史
葛城市北花内563－1／☎0745－69－6825

新和建設(株)
代表取締役　吉川忠博
葛城市長尾245－1／☎0745－48－3538

(株)翠芳園
代表取締役　植本芳美
葛城市當麻390－1／☎0745－48－2157

(株)杉田工務店
代表取締役　杉田好清
葛城市新庄4／☎0745－69－3150

当麻建設
代表者　桝井健一
葛城市當麻176／☎0745－48－2432

ダイコー建設(株)
代表取締役　大西誠二
葛城市兵家1441－4／☎0745－48－7707

(有)高橋造園
代表取締役　高橋泰行
葛城市中戸565／☎0745－69－2508

(株)巽造園土木
代表取締役　巽　康四郎
葛城市當麻43－3／☎0745－48－2525

(株)中造園
代表取締役　中　邦暁
葛城市西辻352－1／☎0745－65－2451

(有)西建
代表取締役　西川　朗
葛城市太田462－1／☎0745－48－5390

(株)西島組
代表取締役　西島充雄
葛城市太田919／☎0745－48－6788

(株)白鳳建設
代表取締役　葛井啓右
葛城市當麻589－2／☎0745－48－5220

花佐造園(株)
代表取締役　中島和子
葛城市北花内114／☎0745－69－5555

松村建設(株)
代表取締役　松村和子
葛城市木戸195／☎0745－48－2545

矢羽田建設(株)
代表取締役　郷司正文
葛城市八川188－3／☎0745－48－5939

(株)ヤマト建設
代表取締役　村田弘樹
葛城市竹内562／☎0745－48－4000

吉井建設(株)
代表取締役　吉井久尚
葛城市北花内735－1－2／☎0745－69－3365

吉村土木
代表者　吉村晃一
葛城市染野310／☎0745－48－2259

(株)米田組建設
代表取締役　米田宗弘
葛城市疋田628－1／☎0745－60－8169

（50音順）

奈良県広域生コンクリート協同組合

Nara wide area Ready mixed concrete Cooperative Association

〒632−0032
奈良県天理市杣之内町391番地3
TEL0743−69−6668
FAX0743−69−6651
http://nara-namakyo.or.jp/

迎春

旧年中のご厚情に心より感謝申し上げます。
本年も一層のご愛顧の程お願い申し上げます。

理事長　船　尾　好　平

令和８年　元旦

組合員	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
株式会社WESTコーポレーション	630−8113	奈良市法蓮町744番地の1	0742−22−6966	0742−22−7685
株式会社ウエヒラ	634−0072	橿原市醍醐町338番地の1	0744−24−3071	0744−22−3217
株式会社関鉄	639−2126	葛城市南花内252番地の1	0745−69−3567	0745−69−7540
有限会社コーシンコーポレーション	635−0816	北葛城郡広陵町大字中268番1	0745−57−3901	0745−57−3301
五條生コン株式会社	637−0002	五條市三在町1421	0747−24−2525	0747−24−4910
御所生コンクリート株式会社	639−2244	御所市柏原1426	0745−65−0221	0745−65−0223
さくら生コン株式会社	630−2223	山辺郡山添村三ヶ谷シヨト1320−2	0743−87−0390	0743−87−0539
株式会社サンコーレミテック	639−3324	吉野郡吉野町大字香束5番地	0746−35−9035	0746−35−9036
奈良生駒生コン株式会社	630−0135	生駒市南田原町783番地	0743−78−1710	0743−78−2236
奈良レミコン株式会社	639−1039	大和郡山市椎木町311番地の4	0743−56−3121	0743−56−3123
株式会社フジ建生コンクリート	633−2113	宇陀市大宇陀下竹190−1	0745−83−3378	0745−83−1288
株式会社吉田生コンクリート	630−8422	奈良市横井7丁目509番地の3	0742−62−3618	0742−62−3619
株式会社吉田建材生コン	639−3437	吉野郡吉野町大字南大野516番地の2	0746−36−6732	0746−36−6223

賛助会員	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号
株式会社今西組	637−1103	吉野郡十津川村大字上野地362−2	0746−68−0331	0746−68−0333
有限会社山水生コン	648−0402	和歌山県伊都郡高野町大字東富貴713	0736−53−2244	0736−53−2332
株式会社大紀	638−0041	吉野郡下市町大字下市2018	0747−52−7888	0747−52−7885
天川コンスト	638−0315	吉野郡天川村沢原48−1	0747−63−0254	0747−63−0406
株式会社中谷工業	639−3701	吉野郡上北山村大字唖河合377−1	0746−83−0075	0746−83−0211

HAPPY NEW YEAR 2026

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
2026年もECPグループは、自然と社会の現場に真摯に向き合い、
一つひとつの仕事を積み重ねてまいります。
本年も変わらぬご指導・ご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。

ECC
ECP

株式会社E.C.Pグループ

株式会社ネクサス
フォレスト総建株式会社
株式会社伊賀林業
株式会社ルプラス

森を扱う。街を支える。
資源を循環させる。
価値を生み出す。
必要な仕事を、
必要な場所で。

代表取締役　岡田憲博

檜尾建設株式会社
代表取締役　檜尾洋希

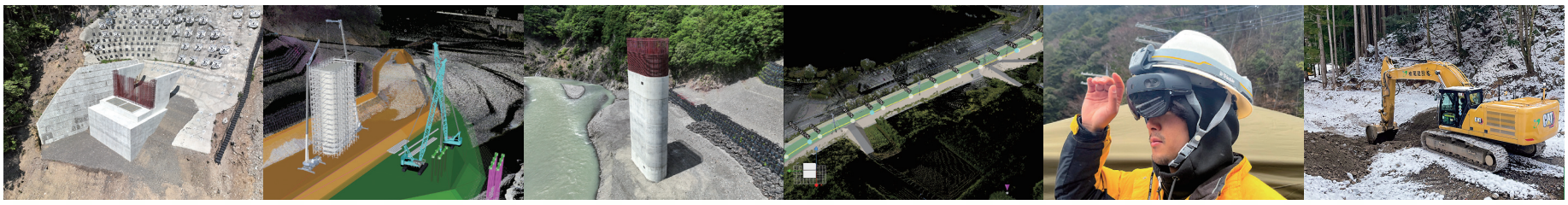
経験と革新の融合による技術の彩りを

あけましておめでとうございます。新年を迎え、謹んで皆様に心よりのご挨拶を申し上げます。本年も皆様にとって幸多き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は国土交通省　近畿地方整備局請負工事成績評定ランキングにおいて奈良県史上初の1位となることができました。発注者の皆様や工事関係者の皆様の多大な協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。また、不断の努力により絶えず進化に努めている弊社社員には感謝と慰労以外の言葉が見つかりません。

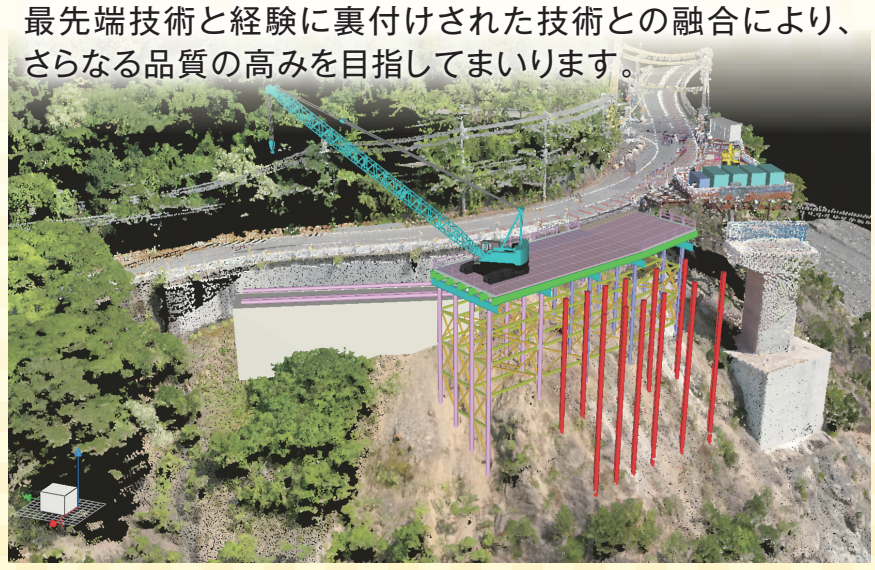
弊社は1951年に法人化されてから、本年で75年目を迎えます。ここまでの道のりは決して平坦なものではなく、様々な困難がありました。それらを乗り越えてきた経験と、それに裏付けられた技術の蓄積は決して嘘をつきません。その経験は先進技術との融合で大きな彩りを築くことができます。これからも研鑽を重ね、今まで以上の成果を皆様に届けられるよう、全社一丸となって取り組んでまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

Going Beyond the Technology
― 技術のさらなる向こう側へ ―

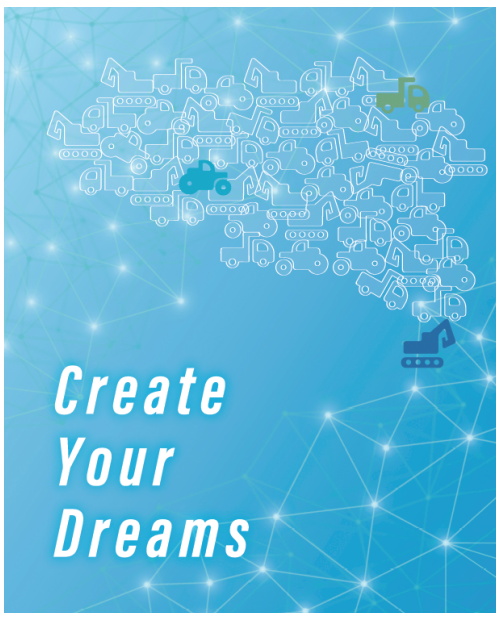


ICTの完全内製化、BIM／CIMのフル活用などデジタル技術において最新のトレンドを取り入れ、高精度な成果を収めるとともに、省力化を実現しています。
これまでも奈良県内で初めてとなる技術を多種多様に取り入れてまいりましたが、本年はさらに加速化させることにより、高品質かつ高効率な施工を目指してまいります。

橋梁、堰堤、擁壁などに代表されるコンクリート構造物に求められる技術は、檜尾建設にとって「永遠の課題」と言えます。
より美しく、より強く。
紙からデータへ、2Dから3Dへ、3Kから新4Kへ。
最先端技術と経験に裏付けされた技術との融合により、さらなる品質の高みを目指してまいります。



発行所　株式会社建設新報社　〒634―0006　橿原市新賀町201―2（NAKAGAWAビル3階）　電話0744―23―2507㈹　https://shinpou-nara.com



hinokio

檜尾建設株式会社
HINOKIO Co., LTD.

代表取締役　檜尾洋希

本　店
〒637―0405　奈良県五條市大塔町宇井99番地
TEL.0747―36―0041　FAX.0747―36―0361

五條本社
〒637―0004　奈良県五條市今井3丁目6－38
TEL.0747―26―0041　FAX.0747―26―0040

https://hinokio.co.jp

2025年度 優 近畿地方整備局